

確認とご注意

安全上のご注意	4
使用上のご注意	8

基礎知識

各部の名称と働き	11
1. 付属品のご案内	12
2. 別売品のお知らせ	12
3. 付属品・別売品の追加購入について	14
レイについて	15
本機について	17
1. 測位可能な衛星の種類	17
2. GPS の測位機能について	17
3. リラックスチャイム	18
4. 時報	18
5. 受信可能な電波	18
6. トンネル内の警報・警告について	18
7. 画面の明るさ調整 (フレックスディマー)	19
取締のミニ知識	20
1. スピード違反の取締方法	20
2. 取締レーダー波について	20
3. 取締レーダー波 / レーザー光を受信しにくい場合	21
4. ステルス型取締について	21

オービス・取締系&コンテンツ データ更新について	21
公開取締情報について	22

取り付け

取り付けについて	23
本体の取り付け	23
A. ダッシュボード取り付け用ブラケットで取り付ける	24
B. ダッシュボード取り付け用ステーで取り付ける	27
電源コードの配線	28
A. シガープラグコードによる配線	29
B. 電源直結コード (OP-E832) による配線	29
C. OBD II アダプターによる配線	30
配線処理について	31
メンテナンス (ヒューズの交換)	32
1. シガープラグコードのヒューズを交換する	32
2. 電源直結コードのヒューズを交換する	32
3. OBD II アダプターのヒューズを交換する	33
安全運転支援機器	34
1. 衝突警報システム (FCW-L1)	34
2. わき見・居眠り運転警報器 (OP-EWS4)	36

音声外部出力機器	38
----------	----

1. 音声外部出力付き電源ユニット (OP-ADP02) 38
2. 音声外部出力付き電源ユニット (OP-ADP02) と
安全運転支援機器 (FCW-L1 / OP-EWS4) 39

操作方法

電源 ON/OFF について	40
----------------	----

1. 電源 ON する 40
2. 電源 OFF する 40

操作方法	41
------	----

1. ジャンプウィンドウ 41
2. 音量の調整 41
3. 公開取締情報の表示 41
4. 警報音のミュートについて 42

登録について	43
--------	----

マイエリアについて	44
-----------	----

1. マイエリアを登録する 44
2. マイエリアを解除する 44

キャンセルエリアについて	45
--------------	----

1. キャンセルエリアを登録する 45
2. キャンセルエリアを解除する 45

待受について

待受画面について	46
----------	----

待受画面の種類について	47
-------------	----

1. マップ 47
2. OBD1 49
3. OBD2 49
4. OBD3 49

項目 / 配置変更のしかた	50
---------------	----

1. 表示項目を変更する 50
2. 項目設定一覧 52

警報について

警報画面について	56
----------	----

1. 警報画面の説明 56
2. メッセージウィンドウについて 57

警報ボイスについて	58
-----------	----

1. GPS ターゲット 55 識別 58

レーザー式取締について	63
-------------	----

取締レーダー波について	64
-------------	----

1. レーダー波 5 識別 (iDSP) について 64
2. 後方受信について 64
3. 反対車線オービスキャンセル機能 64

設定について

設定変更のしかた	65
設定項目について	66
1. システム設定について	66
2. 警報設定について	68
3. オプション設定について	70
WLAN 設定 (無線 LAN) について	71
1. 新規登録 (検索)	71
2. 手動登録	73
3. 削除	74
4. My Yupiteru 設定	75
データのダウンロードについて	77
1. 自動ダウンロード	77
2. 手動ダウンロード	78
Bluetooth® について	79
1. Bluetooth スピーカーとペアリングする	79
2. 接続先 Bluetooth スピーカーを切り替える	81
3. Bluetooth スピーカーとの接続を解除 / 削除する	82
初期化する	83
1. 初期化する	83
警報モードについて	84
カスタム詳細設定について	86
OBD について	90
1. 満タンスタートをする	90
2. 満タン補正をする	92
3. 係数補正をする	93
音声外部出力について	94
1. 音声出力先を変更する	94
スマホアプリ連携について	96
1. 専用アプリをインストールする	96
2. 本機とスマートフォンを WLAN に接続する	96
3. ペアリング開始	97
4. 本機と専用アプリを同期する	99
5. ギャラリーを表示する	100
6. ペアリング解除	101
レイの部屋について	102
1. レイの部屋に入る	102
2. レイの設定を変更する	103
3. Bluetooth の音声タイミングを調整する	104

その他

故障かな?と思ったら	105
地図データ	110
仕様	111
アフターサービスについて	112

別売品 (OP-EWS4)

安全上のご注意	113
使用上のご注意	113
各部名称と働き	114
ドライバーモニタリングについて	115
1. キャリブレーション	116
2. わき見警告	117
3. 居眠り警告	117
取り付けについて	118
A. フロントガラスに取り付ける	119
B. ルームミラーに取り付ける	121
電源コードの接続	123
動作一覧	124
1. ランプについて	124
2. 警告について	124
仕様	124

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

● 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

 注 意：「軽傷を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容です。

 警 告：「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

■ 絵表示について

 必ず実行していただく「強制」内容です。

 してはいけない「禁止」内容です。

 気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

 関連するページを示します。

● 安全上お守りいただきたいこと

警 告

 異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。

そのまま使用すると火災や発火、感電のおそれがあります。

＜ 異常な状態の例 ＞

- ・ 内部に異物が入った
- ・ 水に浸かった
- ・ 煙が出ている
- ・ 変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。( P.112)

 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

 持病をお持ちの方や妊娠の可能性のある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。

 サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

 本機を次のような場所に保管しないでください。

変形や故障の原因となります。

- ・ 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・ 湿気やほこり、油煙が多い所
- ・ ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

 本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。破裂、発火や火傷の原因となります。

-  穴やすき間にピンや針金などの金属を入れないでください。
感電や故障の原因となります。
-  病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。
電子機器などが誤作動するおそれがあり、重大な事故の原因となります。
-  本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。
爆発や火災の原因となります。
-  本機を改造しないでください。
故障の原因となり保証を受けることができません。また、それによって生じた損害に関しまして当社は一切の責任を負いません。

 付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んでしまうおそれがあります。

注 意

-  結露したまま使い続けしないでください。
故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります)
-  濡れた手で操作しないでください。
感電の原因となります。
-  落としたり、強いショックを与えないでください。
破損、故障の原因となります。
-  各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。
故障の原因となります。
-  本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。
故障の原因となります。

 本機は精密機械です。
静電気 / 電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

●取り付けについて

警 告

-  取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。
誤った取り付けは、交通事故の原因となります。
-  粘着マット、粘着シートの貼り付け位置は、汚れ・ホコリを十分に落としてください。
粘着力を弱め、本機が脱落するおそれがあります。
-  エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。
万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。
-  一部の運転支援システム装着車の場合、取り付け位置によっては制御に影響を及ぼすおそれがあります。
取り付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

注意

-  **取り付けは確実に行ってください。**
本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物損的損害をこうむるおそれがあります。
-  **突起部分などにご注意ください。**
取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをするおそれがあります。
-  **接続部は確実に奥まで挿し込んでください。**
動作しない、火災や感電、故障の原因となります。
-  **本機は車外に取り付けしないでください。**
本機は防水構造ではありません。

●電源コードについて

警告

-  **電源コードは確実に挿し込んでください。**
接触不良を起こして火災の原因となります。
 -  **お手入れの際は、電源コードを抜いてください。**
感電の原因となります。
 -  **シガーライターソケットは単独で使ってください。**
タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。
 -  **シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。**
接触不良を起こして火災の原因となります。
 -  **指定以外のヒューズは使用しないでください。**
指定以外のヒューズを使用すると異常加熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。
-  **指定された電源電圧車以外では使用しないでください。**
火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
 -  **コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。**
故障や感電の原因となります。

注意

-  **エンジンを止めてもシガーライターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。**
-  **シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。**
コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずコードを持たずに抜いてください。
-  **Lei01/Lei02/Lei03/Lei03+/Lei04 付属のシガープラグコードや、対応していない別売品から電源を供給しないでください。**
-  **USB 充電器から電源を供給しないでください。**
火災や感電、故障の原因となります。特に USB PD (Power Delivery) や QC (Quick Charge) など、5V 以外の電圧を供給する機器を使用すると大変危険です。

●本機の操作・運転について

警告

-  **走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。**
このような行為は道路交通法第 71 条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。
-  **海外ではご使用にならないでください。**
本機は日本国内仕様です。
-  **急発進したり急ブレーキをかけないでください。**
安全運転上、大変危険です。また、本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむるおそれがあります。
-  **運転者は走行中に操作しないでください。**
走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

●本機のお手入れについて

注意

-  **本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。**
内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
-  **ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。**
塗装面を傷めます。

●その他

注意

-  **車両から離れるときや使用しないときは、電源 OFF してください。**
バッテリー上がりの原因となります。

●OBD II アダプター(別売品)について

注意

-  **OBD II アダプターを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、アダプター本体を持って抜いてください。**
コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。
-  **お手入れの際は、OBD II アダプターを抜いてください。**
感電の原因となります。

本機は安全運転を促進するためのものです。本機を取り付けての違法行為(スピード違反など)に関し、当社では補償いたしかねます。

使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からスピードの出し過ぎに注意し、安全運転を心がけてください。
- 電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)の場合、電波が受信しにくくなり、GPS 測位機能がはたらかない場合や、取締レーダー波の探知距離が短くなる場合があります。
- 一部の車種に採用されている UV、IR カットガラスのなかには、レーザー光の透過率が低く取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。

- ・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品の取り付けによるダッシュボードおよび車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■レーダー / レーザーアラームに関する注意

- ・走行環境や測定条件などにより、取締レーダー波 / レーザー光の探知距離が変わることがあります。
- ・狙い撃ちの取締機(ステルス型取締機)は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ・レーダー波を使用しない速度取締(光電管式など)の場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。
- ・レーザー式車両検知器 / 自動車用先進運転支援システムの周辺では、取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。
- ・取締レーザー光以外でも以下の周辺では反応する場合がありますが、これは誤動作ではありませんのでご了承ください。(レーザー式車両検知器 / 自動車用先進運転支援システムの一部)
- ・周波数帯の変更を伴う取締機の仕様変更により、探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。

■GPS 測位機能に関する注意

- ・本機を初めてご使用になる場合は、GPS 測位が完了するまで 20 分以上時間がかかる場合があります。
- ・新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS 警報できませんのであらかじめご了承ください。
- ・本機の警報はあらかじめ登録されたオービスや取締エリアなどの GPS ターゲットとお客様が登録した位置のみ警報します。

■表示部に関する注意

- ・表示部を強く押したり、衝撃を与えないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。

■他社製品との組み合わせに関する注意

- ・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

■車内温度に関する注意

- ・車内が高温の場合、冷房を使用して車内の温度を下げてください。

■専用アプリ使用時のインターネット接続について

- ・専用アプリのご使用にはインターネット接続が必要です。専用アプリご使用時のパケット通信料はお客様のご負担となりますので、携帯電話会社が提供するパケット定額サービスへの加入を強くお勧めします。
- ・パケット定額サービスに加入されずに多額のパケット通信料が発生した場合でも、当社は一切の責任を負いません。
- ・パケット定額サービスへの加入方法・パケット通信料などについては、ご利用の携帯電話会社にお問い合わせください。

■取り付けに関する注意

- ・ GPS 衛星からの電波やレーダー波 / レーザー光を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。
- ・ 車載されている他の電装機器のアンテナの近くなど、他の電装機器の電波干渉により GPS 衛星の電波を受信できない場合があります。本機を取り付ける場所は、他の電装機器との間隔を十分取ってください。
- ・ 水がかかったり、熱風があたる場所には取り付けないでください。
- ・ 本機あるいは電源コードが、ドアの開閉部などにあたったり、はさまれないようにしてください。
- ・ 本機を道路に対して水平に、またレーダー / アンテナ部が進行方向に取り付けていないと、G センサー / ジャイロセンサーが正しく動作しないことがあります。
- ・ 取り付け位置によっては、本機のフレックスディマーを [照度センサ + 衛星情報] にした場合にフレックスディマーが常時作動することがあります。その場合は、取り付け位置を変更するか、フレックスディマーの設定を [衛星情報] にしてご使用ください。
- ・ 本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。
- ・ 車両等の USB 端子を使って、本機へ電源を供給しないでください。本書記載以外の方法で電源を供給した場合の動作や故障に関しては保証いたしかねます。

■収録データに関する注意

- ・ 収録されているオービス・取締系 & コンテンツデータおよび地図データは、製品製造時のデータとなります。
- ・ 制限速度は普通自動車に対する表示となります。
- ・ 本機の制限速度は、本機購入時以降に制限速度が変更されたなどの理由により、実際の制限速度と異なる場合があります。運転する際は、スピードを出し過ぎず交通規則に従い走行してください。
- ・ 事故や天候、時間帯などで変化する制限速度には対応しておりません。状況に応じた制限速度で走行してください。

■保証に関する注意

- ・ 本製品にはお買い上げ日から 3 年間の保証がついています。(ただし、電源コードなどの付属品ならびに、消耗品は保証の対象となりません)

■画面表示に関する注意

- ・ 日付および時刻は、GPS 測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります)
- ・ 時刻の表示は、24 時間表示です。12 時間表示に変更することはできません。
- ・ 走行速度や GPS ターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPS や G センサー、ジャイロセンサー、気圧センサー、マップマッチングシステムにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- ・ 車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
- ・ 渋滞や低速走行時(発進直後を含む)は、速度表示を正しく表示しないことがあります。
- ・ 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。

■シガープラグコードに関する注意

- ・ シガープラグコードは、必ず付属品をご使用ください。
- ・ シガープラグコード内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販品の新しいヒューズ(2A)と交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグコードを抜いて、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご相談ください。
- ・ 一部のアイドルリングストップ車で、アイドルリングストップ後のエンジン再始動時にシガーソケットなどへの供給電圧が低下することがあるため、本体の電源が落ちる場合があります。

■電源直結コード(別売品)で接続した場合

- ・ 電源直結コードには、ヒューズホルダーが接続されています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販品の新しいヒューズ(3A)と交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、本機から電源直結コードを抜いて、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにご相談ください。

■OBD II アダプター (別売品) で接続した場合

- ・取り付ける車両によっては表示できない待受画面の項目があります。
- ・イグニッションを OFF にしてから本機を電源 OFF するまで、数秒から数十秒かかります。
- ・車検、点検等の後は、故障診断装置接続の為本機の OBD II アダプターが抜けている場合があります。その際は再度 OBD II コネクターへ本機の OBD II アダプターを挿し込んでください。

■電波干渉について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線設備として技術基準適合を受けています (受けた部品を使用しています)。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。海外で使用するすると各国の電波法に抵触する可能性があります。

本機の使用周波数帯 (2.4GHz) では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局)、および特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)、およびアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。

- ・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用を中止してください。
- ・その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、お客様ご相談センターへお問い合わせください。(P.112)

■無線 LAN

2.4 DS/OF 4

- | | |
|-------|------------------------------|
| 2.4 | ： 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。 |
| DS/OF | ： DS-SS、OFDM 変調方式です。 |
| 4 | ： 電波干渉距離は 40m です。 |
| ■■■■ | ： 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。 |

■Bluetooth®

2.4 FH1

- | | |
|------|------------------------------|
| 2.4 | ： 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。 |
| FH | ： FH-SS 変調方式です。 |
| 1 | ： 電波干渉距離は 10m です。 |
| ■■■■ | ： 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。 |

■電波法に関する注意

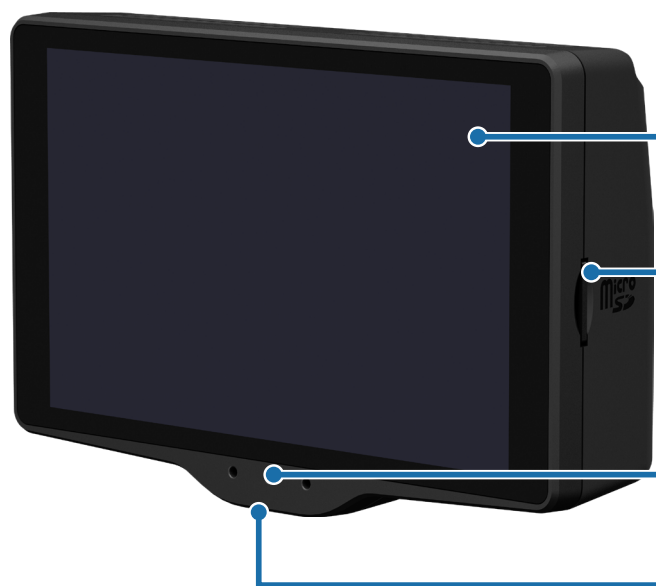
- ・海外では使用しないでください。
- ・分解したり改造したりすることは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は電波法により罰せられる可能性があります。

■技術基準適合証明(技適)について

- ・本機を改造した場合、電波法 / 電気通信事業法に抵触します。
- ・本機は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則の認証を受けています。その証として「技適マーク 」が本機の電子銘板に表示されています。
- ・「技適マーク 」は、以下の操作で表示することができます。
待受画面をタッチ→設定→システム→認証とライセンス情報 (P.67)

各部の名称と働き

■ 正面



4.0 インチ液晶ディスプレイ

タッチパネルで設定の変更などを行います。

micro SD カード挿入口

ファームウェア、オービス・取締系&コンテンツデータ更新の際に、micro SD カードを挿入します。(P.21)

マイク

レイの質問に応えるときに使用します。

シリアルナンバー(本体底面)

製造番号 / 機種名が印刷されています。問い合わせの際に必要になります。

■ 背面



スピーカー

音声を出力します。

GPS アンテナ

衛星からの電波を受信し、自車位置の特定や日時の修正を行います。

レーザー受光部(エスフェリックレンズ)

取締レーザー光を受光します。(P.63)

WLAN / Bluetooth アンテナ

無線 LAN アクセスポイント / Bluetooth スピーカーなどと通信を行います。

レーダーアンテナ

取締レーダー波を受信します。

照度センサー

周囲の明るさを検知し、画面の輝度を調整します。

電源スイッチ [PWR]

本体の電源を ON/OFF します。

DC ジャック

本体に電源を供給するのに使用します。
付属のシガープラグコードなどを接続します。(P.28)

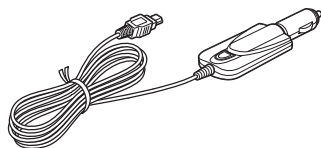
⚠ 注意

- ・ 本体の DC ジャックは USB 端子ではありません。故障の原因となりますので、本体をパソコンなど他の機器の USB 端子と接続しないでください。
- ・ 車両等の USB 端子を使って、本機へ電源を供給しないでください。

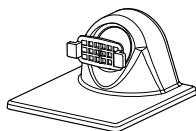
1. 付属品のご案内

製品には万全を期しておりますが、欠品等ございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。

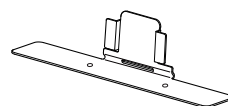
- 5V コンバータ付シガープラグコード
[ストレート USB プラグ DC5V 出力]
(約 3m) 1



- ダッシュボード取り付け用ブラケット 1



- ダッシュボード取り付け用ステー 1



- 粘着シート 1
- 粘着マット 1
- 両面テープ 1
- レイモード マニュアル 1
- 電源配線マニュアル 1
- 保証書 1

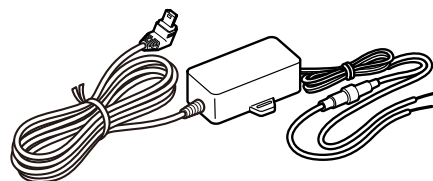
2. 別売品のお知らせ

- 保護フィルム OP-PF40 1,650 円

画面の反射や指紋などを防止するフィルムです。詳しくは、こちらの URL でご確認ください。
<https://www.yupiteru.co.jp/direct/OP-PF40>

- 電源直結コード (約 4m) OP-E832 3,300 円

シガーライターソケットを使わずに、車内のアクセサリ系端子から直接電源を取り出します。



- OBD II アダプター OBD12-FPL Ⅲ (約 3m) 8,800 円

国産 8 社に対応 (トヨタ (ハイブリッド車含む)、日産、ホンダ、三菱、ダイハツ、スバル、マツダ、スズキ)

付属のシガープラグコードのかわりに本機への電源供給を行うと同時に、OBD II コネクターから車両に関する情報を取り出して画面に表示させたり、より正確な警告を行うことができるようになります。

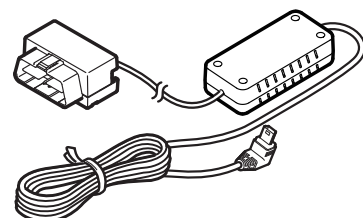
本機は、OBD12-FPL Ⅲ の OBD II アダプターに対応しています。

本書では、個別の機種名を表記せず、OBD II アダプターと表記します。

※ 適応車種については、店頭もしくは弊社ホームページの OBD II アダプター適応表にてご確認ください。

※ 適応車種であっても取り付けを推奨していない自動車メーカーもありますので、お客様のご判断で取り付けを行ってください。

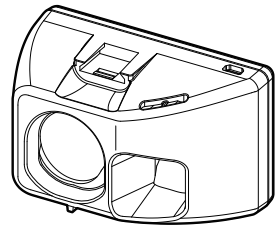
※ ディーラーに入庫する際は、OBD II アダプターを取り外してください。ディーラーによっては入庫を断られることがあります。



⚠ 注意

- ・ OBDIIアダプター使用時、車種によっては画面に表示できない情報があります。詳細については、販売店の店頭や弊社ホームページで OBDIIアダプター適応表をご確認ください。
- ・ OBDIIアダプターには、適応表が指定されています。販売店の店頭や弊社ホームページで OBDIIアダプター適応表をご確認いただいてからお求めください。

■ 衝突警報システム FCW-L1 本体 オープン価格



ブラケット.....	1	通信ケーブル (約 4m)	1
シガープラグコード (約 4m)	1		

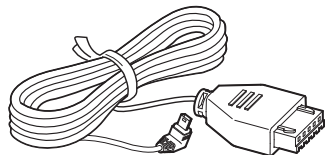
レーザー光により先行車との距離を測定し、衝突警告やスタートインフォメーションなどをお知らせします。オプションアダプター (OP-ADP20) で本機 (レーダー探知機) と接続すると、本機にて警報を表示します。

衝突警報システム接続時に必要なもの

衝突警報システム (FCW-L1).....	1
オプションアダプター (OP-ADP20)	1
シガープラグコード (オプションアダプター (OP-ADP20) 付属)	1
通信ケーブル (OP-CB5M)	1
通信ケーブル (衝突警報システム (FCW-L1) 付属)	1

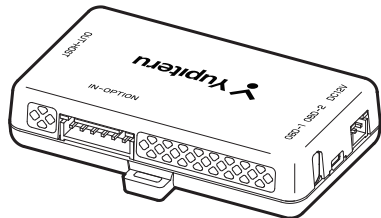
※ 衝突警報システム (FCW-L1) とわき見・居眠り運転警報器 (OP-EWS4) は同時に使用できません。

■ 通信ケーブル (約 4m) OP-CB5M 2,200 円



本機、または音声外部出力付き電源ユニット (OP-ADP02) とオプションアダプター (OP-ADP20) を接続します。

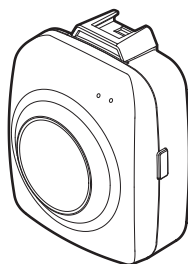
■ オプションアダプター OP-ADP20 15,950 円



シガープラグコード (約 1.5m).....	1	結束バンド.....	2
両面テープ.....	1		

別売品の衝突警報システム (FCW-L1) を接続するためのアダプターです。OBD II アダプターと同時に使用でき、OBD 情報の表示もできます。

■ わき見・居眠り運転警報機器 OP-EWS4 オープン価格



フロントガラス取り付け用ブラケット……………	1	通信ケーブル……………	1
ルームミラー取り付け用ブラケット……………	1	両面テープ……………	1
六角レンチ……………	1	結束バンド……………	4
アダプター……………	1	シガープラグコード……………	1
接続ケーブル……………	1		

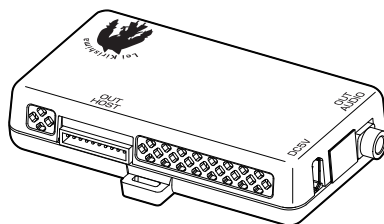
フロントガラス、またはルームミラーに設置した本体（カメラ）で撮影した映像を画像処理し、顔の向きとまぶたの開閉を検出します。通信ケーブルで本機（レーダー探知機）と接続すると、本機で警報表示します。
OBDⅡアダプターと同時に使用することもでき、OBD 情報の表示もできます。

わき見・居眠り運転警報器接続時に必要なもの

わき見・居眠り運転警報器 (OP-EWS4) ……………	1
------------------------------	---

※ わき見・居眠り運転警報器 (OP-EWS4) と衝突警報システム (FCW-L1) は同時に使用できません。

■ 音声外部出力付き電源ユニット OP-ADP02 6,600 円



接続ケーブル（約 3m）……………	1	結束バンド……………	2
両面テープ……………	1		

外部スピーカーへ音声出力できます。

音声外部出力付き電源ユニット接続時に必要なもの

3.5mm ステレオミニプラグケーブル（3 極）（市販品）……………	1
------------------------------------	---

わき見・居眠り運転警報器 (OP-EWS4) と接続する場合に必要なもの

アダプター (OP-EWS4 付属品) ……………	1
接続ケーブル (OP-EWS4 付属品) ……………	1

衝突警報システム (FCW-L1) と接続する場合に必要なもの

オプションアダプター (OP-ADP20) ……………	1
通信ケーブル (OP-CB5M) ……………	1

3. 付属品・別売品の追加購入について

- ・ 付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用〇〇(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・ 弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

Yupiter スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

レイについて

本機はジャンプウィンドウ (P.41) の [レイモード] または [通常モード] にタッチすることで、モードを切り替えることができます。「通常モード」では、画面上にレイが表示されません。

また、本機では特にことわりのない場合、[通常モード] での表示で説明します。

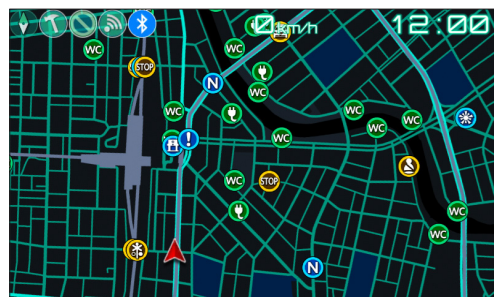
※「レイモード」でもレーダー波などの警報を行います。

※通常モード中の走行はインジケータ値などに影響しません。

※本機が起動した状態でモードを切り替えます。モードを切り替えると、次回起動時もモードが維持されます。



<レイモード>



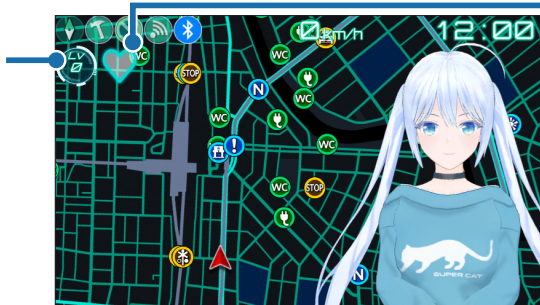
<通常モード>

1. レイモード

親密度レベル

レイとあなたの親密度を表しています。

※ 親密度はレベル 999 が上限です。



インジケータ表示

レイがあなたに対して好意的かどうかを表しています。

ハート型とバー型の 2 種類から選択できます。

安全運転を心がけて高く維持し続けると、親密度のレベルアップが早くなります。

●インジケータ表示について

ハート型



-100%



-50%



0%



50%



100%

バー型



●レイと会話

レイがあなたに質問することがあります。＊あなたの言葉で応えてください。

🗣️: マイクアイコンが表示されている間、レイはあなたの返事を待っています。

※ 停車中と判断したときのみレイが質問します。



マイクアイコン

声の大きさに反応して紫のバーの大きさが変わります。

●レイとおしゃべりするコツ

- ・ 発音が不明瞭だと、聞き取れないかもしれません。落ち着いてゆっくりと簡単な言葉で応えてください。
- ・ カーオーディオなどで車内が騒がしいと、あなたの声が聞こえないかもしれません。静かな環境で応えてください。

●速度インジケータ表示について

速度超過の状況に応じて、速度インジケータの色が青、黄、赤と変化します。

※レイモードで待受画面に [マップ] を選択した場合のみ表示します。

※制限速度のデータが収録されていない路線では速度インジケータは表示されません。

※待受け画面に [OBD1/2/3] を選択した場合は、[速度] の項目のメーターやバーの色が変化します。

※表示している制限速度は本機に収録されているデータに基づいて表示しており、実際の制限速度とは異なる場合があります。実際の制限速度に従って走行し、安全運転を心がけてください。

速度インジケータ

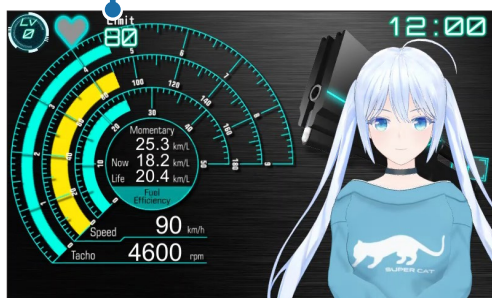
現在の車速と速度超過状況を表示します。



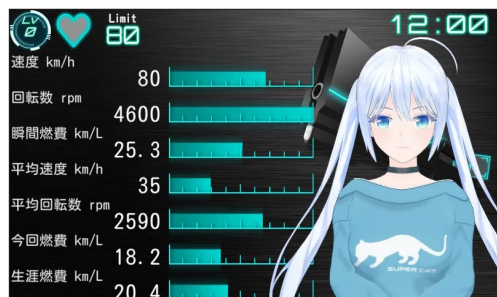
<マップ>

制限速度

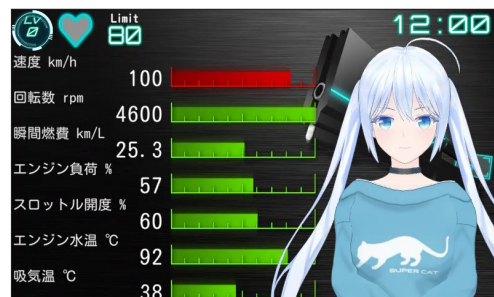
本機に収録されている制限速度を表示します。



<OBD1>



<OBD2>



<OBD3>

本機について

本書では、特にことわりのない場合、「GPS」「みちびき」「グロナス」「GAGAN」「GALILEO」を総称して「GPS」と表記しています。

1. 測位可能な衛星の種類

衛星システム 5 種、全 90 基に対応しています。

※ 今後打ち上げられる、下記の測位システム衛星にも受信対応

■ GPS(Global Positioning System)

アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計算するシステムです。

■ 準天頂衛星「みちびき」

準天頂軌道の衛星が主体となって構成されている日本の衛星測位システムです。

GPS のみによる測位に比べ、山間部や都心部の高層ビル街などでもより正確な測位をします。

■ グロナス(Global Navigation Satellite System)

ロシアの衛星を利用し、地上での現在位置を計算するシステムです。

■ GAGAN(GPS Aided GEO Augmented Navigation)

インドの静止衛星型衛星航法補強システムです。

■ GALILEO(Global Navigation Satellite System)

EU(ヨーロッパ連合)の衛星を利用し、地上での現在位置を計算するシステムです。

2. GPS の測位機能について

GPS を利用して、取締レーダー波を発射しないループコイル、LH システムのオービス(無人式自動速度取締装置)にも警報します。

また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムや N システム、そして過去に取締や検問が行われていた場所など、55 種類のターゲットを識別してお知らせします。[GPS55 識別]

■ マップマッチングシステム

GPS・G センサー・ジャイロセンサーで自車の進行状態を検知し全国地図と照合して、ルートのはずれを補正します。

※ トンネル内のマップマッチングシステムは、全国の高速道路ならびに国道のトンネルではたらかず。

※ 新しい道路などではマップマッチングしない場合もあります。

※ 状況によってはマップマッチングがはたらかない場合があります。



■ クイック測位

前回電源 OFF した時刻と自車位置情報を基に、GPS 衛星位置を予測し、現在の自車位置をすばやく測位することができます。



■ ジャイロセンサー & G センサー & 気圧センサー & 照度センサー

ジャイロセンサーで、自車の進行方向の変化を計測します。

G センサーで、自車の加減速の変化を計測します。

気圧センサーで、気圧の変化による高度変化を計測します。

照度センサーで周囲の明るさを計測します。



■ OBD II 車速検知 (※別売品の OBD II アダプターで接続)

GPS 電波を受信できないトンネル内でも、正確な車速情報を得ることができます。



マップマッチングシステム、ジャイロセンサー & G センサー & 気圧センサー、別売品の OBD II アダプターを接続することによる OBD II 車速検知により、GPS 電波の受信状態が良くない場所でも、高精度な警報を行うことが可能となります。ただし、次の場合はクイック測位が機能しません。

- ・最後に本機を電源 OFF してから 6 日間以上経過した場合。
- ・最後に本機を電源 OFF した時と、次に電源 ON した時の GPS 衛星の状況が異なる場合。
- ・GPS 電波の受信を妨げる遮へい物や妨害波がある(存在する)場所で本機を電源 ON した場合。

3. リラックスチャイム

安全運転をしていただくために、休憩を促す機能です。初期値では電源 ON 後、2 時間経過するたびにお知らせします。
※ リラックスチャイムはお知らせする時間を選択できます。(P.66 [音設定] ⇒ [リラックスチャイム])

4. 時報

毎正時に時刻をお知らせします。
※ 時報は ON/OFF することができます。(P.66 [音設定] ⇒ [時報])

5. 受信可能な電波

レーザー光、GPS、取締レーザー波の X・K ツインバンドの 4 バンド受信できます。

$$\boxed{\text{レーザー光}} + \boxed{\text{GPS}} + \boxed{\begin{array}{c} \text{Xバンド} \\ \text{Kバンド} \end{array}} = \text{4 BAND}$$

6. トンネル内の警報・警告について

本機は、G センサー、ジャイロセンサーおよびマップマッチングシステムにより、GPS の電波を受信できないトンネル内のオービスや取締エリアをお知らせします。さらに別売品の OBD II アダプターで接続した場合は、OBD II 車速検知により高精度な警報を行います。

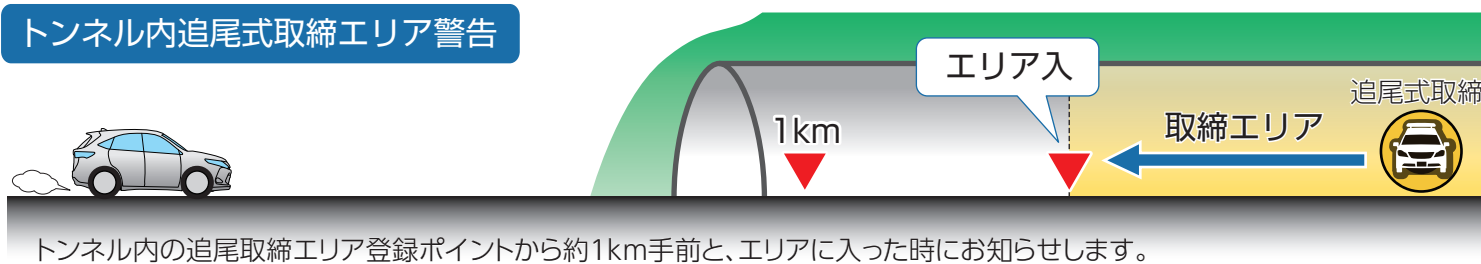
※ 走行状況によっては警報できない場合があります。

OBDIIアダプターで接続するとGPS受信できなくても速度情報を得ることができます。

トンネル内オービス 3 段階警報



トンネル内追尾式取締エリア警告



トンネル出口直後速度式取締エリア警告



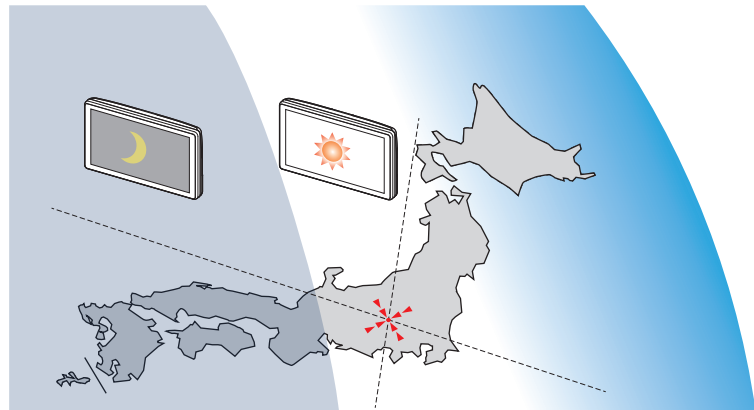
7. 画面の明るさ調整 (フレックスディマー)

夜間やトンネルなど周囲が暗いときは、画面表示の明るさを抑え、眩しさを防ぎます。

GPS 情報等により、それぞれの地域および季節などに応じ自動的に画面表示の明るさを調整します。また、照度センサーを搭載しているので、トンネルなどの急激な照度の変化にも対応しています。

また、OBD II アダプター (OBD12-FPL III) を接続し、イルミ信号を取得すると、本機の設定がイルミ連動になり、トンネルなどの急激な明るさの変化にも対応できます。

※ すべての車両でイルミ信号を受信することはできません。あらかじめご了承ください。



※ 図は説明のためのイメージです。
実際の画面の明るさとは異なります。

取締のミニ知識

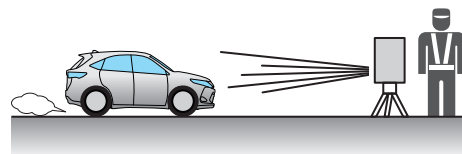
本書では取締方法について、以下を想定して説明しています。

1. スピード違反の取締方法

取締の方法や種類をよく理解して、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。スピード違反の取締は大きく分けて 4 つの方法があります。

■ レーザー光を使って算出する方法(レーザー方式)

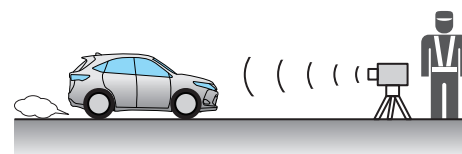
レーザー光を対象の車両に向けて発射し、その反射光で速度を算出します。



■ レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)

取締レーダー波を対象の車両に向けて発射し、その反射波の周波数変化（ドップラー効果）で速度を算出します。

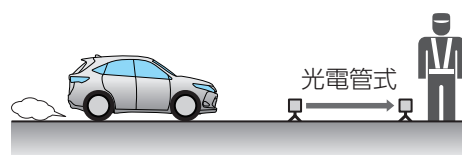
※ 対象の車両が近くに来るまで、取締レーダー波を発射しないステルス型の場合、事前に探知できません。



■ 距離と時間で算出する方法(光電管・ループコイル式オービス)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

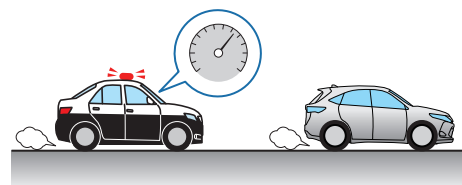
※ この方式は取締レーダー波を発射しておりません。GPS ターゲットとして登録されている場合のみ、警報することができます



■ 追走して測定する方法(追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車両を追走して速度を測ります。

※ 追尾方式等で取締レーダー波を発射しない機械式の計測方法の場合は、探知することができません。



2. 取締レーダー波について

取締の方法や種類をよく理解して、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。取締レーダー波は大きく分けて 3 つの種類があります。

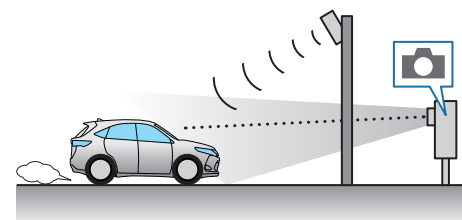
■ 定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。取締レーダー波は、直進性が強いので、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



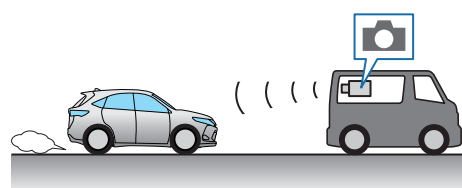
■ 自動速度取締機(新 H システム、レーダー式オービス)

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



■ 移動式

測定装置を車両に搭載して、移動しながら測定を行います。

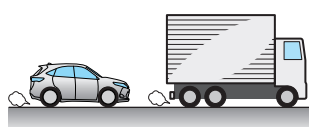


3. 取締レーダー波 / レーザー光を受信しにくい場合

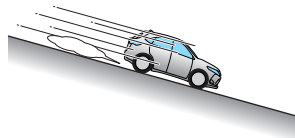
取締レーダー波 / レーザー光の発射方法や周囲の環境、条件などにより受信しにくいことがあります。

※ 対象の車両が近くに来るまで、取締レーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締ができるステルス型のスピード測定装置があります。

※ 前に走行している車両(とくに大型車)がある場合や、坂道、コーナーでは、電波やレーザー光が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。



(前方に走行中の車両がある場合)



(坂道)



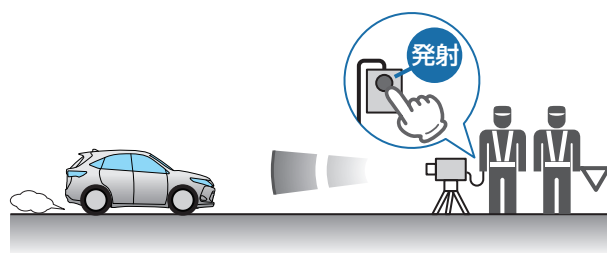
(コーナー)

4. ステルス型取締について

他の取締機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締機です。

※ ステルス型取締機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締には電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

※ 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。



オービス・取締系&コンテンツデータ更新について

本機内蔵の無線 LAN によるダウンロード (☛ P.77「データのダウンロードについて」)、micro SD カードをお送りするお届けプラン、本体お預かり更新サービスで本機のオービス・取締系&コンテンツデータの更新を行っていただけます。

※ 本サービスは有料になります。詳しくは下記ホームページをご確認ください。

無線 LAN によるダウンロード、micro SD カードをお送りするお届けプランをご利用の際には、下記ホームページよりご利用の機種を選択のうえ、お申込み手続きを行ってください。

ity.クラブ / POWERED BY ユピテル <https://ity.yupiteru.co.jp/>

電話でのお問い合わせは下記のフリーコールにてお願いします。

◆ユピテル ity. クラブ窓口

受付時間 9:00~17:00 月曜日～金曜日(年末年始等、当社指定期間を除く)

 **0120-958-955**

※ 本体お預かり更新サービスをご要望される場合は、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにご依頼ください。

公開取締情報について

走行中の市区町村に沿った、各都道府県警察署発表の公開取締情報を、画面上に表示することができます。本機には公開取締情報のデータが入っていますが、最新のデータに無料で更新することができます。詳しくは、弊社ホームページ (<https://www.yupiteru.co.jp/>) をご覧ください。

※ 公開取締情報を表示している場合でも、レーダー警報など優先度の高い警報が優先されます。

※ GPS の日時情報により、日付の過ぎたものは表示されません。

※ 公開取締情報が発表されていない地域では表示されません。

※ 公開取締以外でも各都道府県にて取締を実施しております。

※ 本機の公開取締情報が最新ではない場合、正しくお知らせすることができないことがあります。本機の公開取締情報を「バージョン情報」(P.67) で確認し、最新の情報に更新してください。(P.77「データのダウンロードについて」)

■ 速度管理指針について

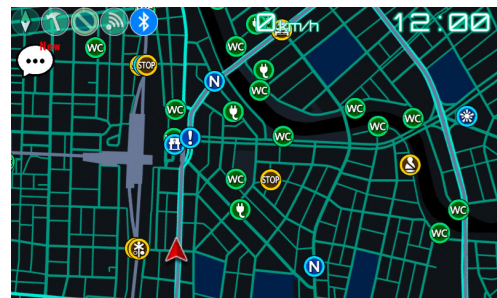
速度管理指針とは、交通事故発生状況等の交通実態や速度抑制の必要性などを基に各都道府県内における速度制限や交通取締の方針を示したものです。警察本部でまとめられた指針になります。

■ 速度取締指針について

速度管理指針に示す方針のもと、各警察署管内の一般道路及び高速道路について、交通事故発生状況の分析や地域住民からの要望等を基に、速度取締を重点的に行う路線、時間帯等を明らかに示したものです。警察署単位でまとめられた指針になります。

■ 取締情報の表示について

取締情報がある路線に進入した場合、 に New と表示します。初期値は [OFF] です。(P.68 [警報設定] ⇒ [公開取締情報])



取り付けについて

「本体の取り付け」「電源コード」「配線処理」の手順に従って説明します。

⚠ 注意

- ・取り付けにより、ダッシュボードに跡が残ったり、変色や変形が生じることがあります。ご使用の有無に関わらず、車両への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ダッシュボードから外す場合は、ダッシュボード取り付け用ブラケットの下部を持って、ゆっくりと行ってください。本体やダッシュボード取り付け用ブラケット上部を持つと、破損の原因となります。
- ・GPS 衛星からの電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。
- ・レーザー光を受信しやすくするため、本体のレーザー受光部付近に障害物が入らないように取り付けてください。
- ・WLAN / Bluetooth アンテナの近くに障害物があると、通信の妨げになる場合があります。
- ・水がかかったり、温度差が激しい場所(エアコンの吹き出し口付近など)には、取り付けないでください。
- ・本体あるいはコードが、ドアの開閉部などにあたったりはさまれないようにしてください。

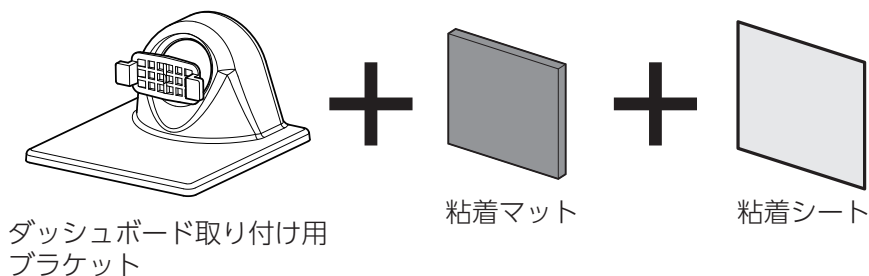
本体の取り付け

下記の 2 通りの取り付け方法があります。いずれかの方法で取り付けてください。

※ あらかじめ、ダッシュボードの取り付け面のホコリ・汚れをよく落とし、慎重に取り付けてください。

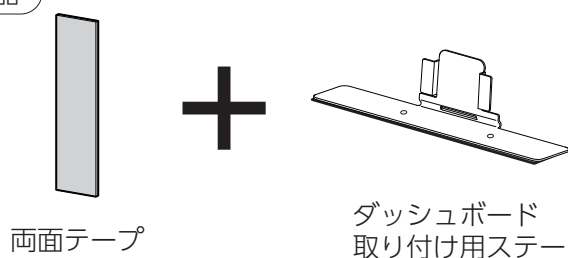
A. ダッシュボード取り付け用ブラケットで取り付ける (☛ P.24)

付属品



B. ダッシュボード取り付け用ステーで取り付ける (☛ P.27)

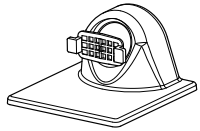
付属品



A. ダッシュボード取り付け用ブラケットで取り付ける

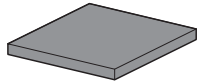
⚠ 注意

- ・ 振動によるブレ防止のため、アーム部は固くなっています。取り付け / 調整時は、けがやブラケットの破損に十分気をつけて行ってください。
- ・ アーム部を取り外した際は、紛失に注意してください。



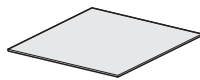
ダッシュボード取り付け用ブラケット [特許 第 6078725 号]

自由自在な角度調整が行えるボールジョイント方式のブラケットです。



粘着マット

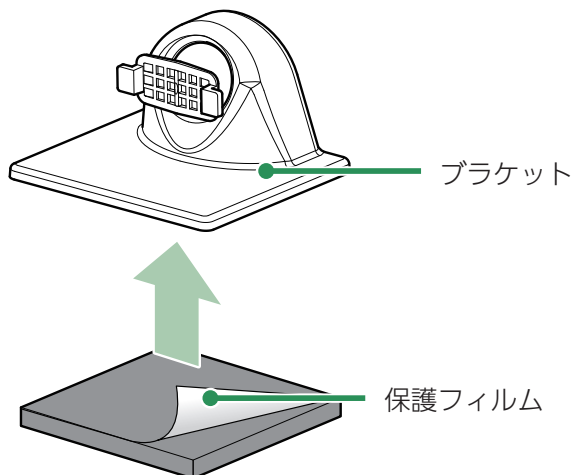
国土交通省の保安基準改正によるフロントガラスの取り付け規制に伴い、新素材の粘着マットを採用し、ダッシュボードへの取り付けをスマートにしました。強力な粘着力により、ダッシュボードに安定して設置できます。



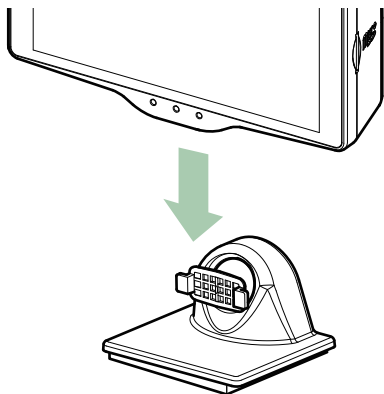
粘着シート [特許 第 5958927 号]

ダッシュボードに粘着シートを貼り付けた上に粘着マットを貼り付けます。粘着シートは、はがして再度貼り付けることができます。それでも安定した取り付けができない場合は市販品の強力型両面テープ (厚さ 2mm 以上) を使用し取り付けてください。

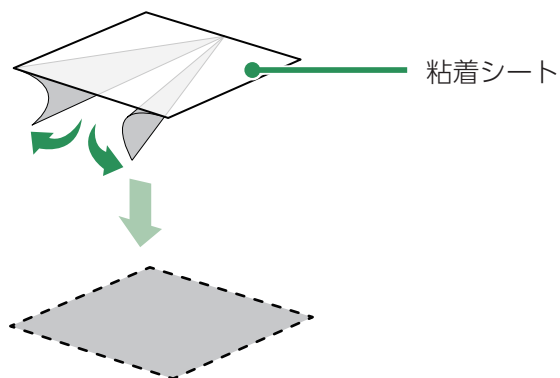
A-1 粘着マットの保護フィルムを片面だけはがし、粘着マットをブラケットに貼り付ける



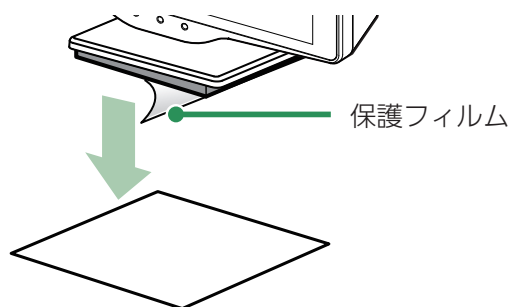
A-2 本体の溝をブラケットに合わせ取り付ける



A-3 粘着シートをダッシュボードの取り付け面に貼り付ける



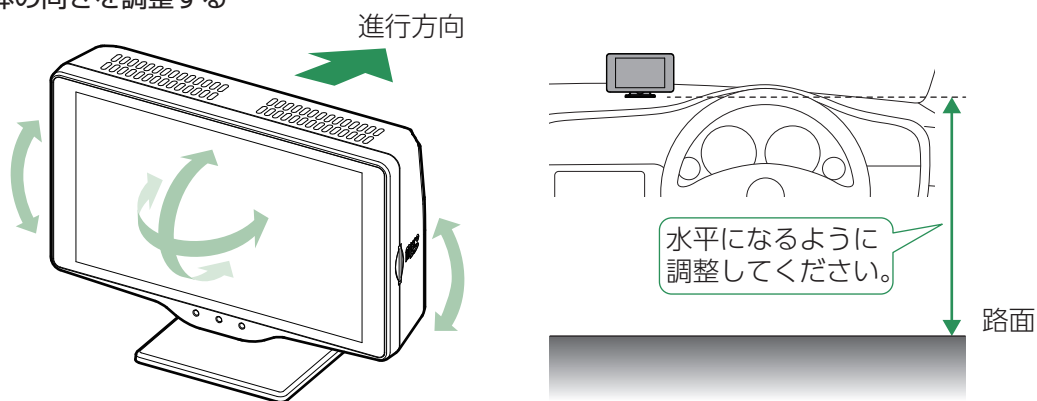
A-4 残りの保護フィルムをはがし、ダッシュボードの粘着シートを貼った場所に貼り付ける



粘着マットは水洗いできます

ホコリや汚れなどで粘着力が弱くなった場合は、中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元します。

A-5 本体の向きを調整する



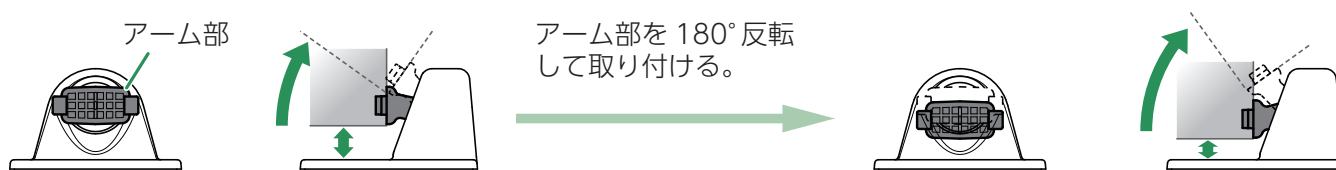
G センサーやジャイロセンサーが正しく動作するように、本体の背面が車両進行方向を向くようにし、画面が見やすいように調整してください。

※ 本体の背面を進行方向以外に向けた場合、誤警報や警報しないことがあります。

■ ダッシュボード取り付け用ブラケットの高さ調整

ダッシュボード取り付け用ブラケットは、アーム部の取り付け向きを 180° 変えることで、本機の実取り付け高さを抑えることができます。

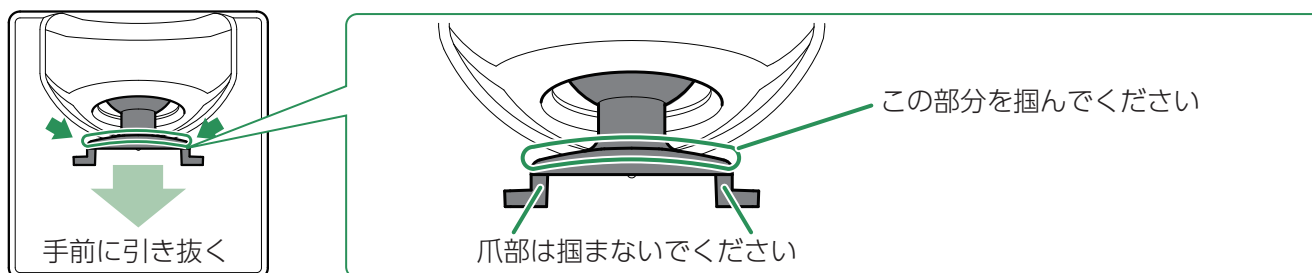
アームの向きを変えると、本機を起す方向は、より広い取り付け角度に対応することができますが、左右に倒す方向の取り付け角度は狭くなります。ダッシュボードの実取り付け面の角度に応じて調整してください。



■ アーム部取り外し

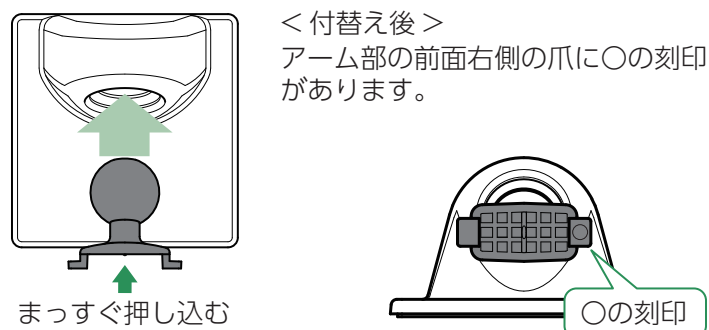
アーム部ツバの部分に布などで保護し、手前に引き抜きます。ラジオペンチなどを使用すると、簡単に抜けます。爪部をつかむと爪が折れる場合があります。

※ 必ず布などの柔らかいもので保護してください。



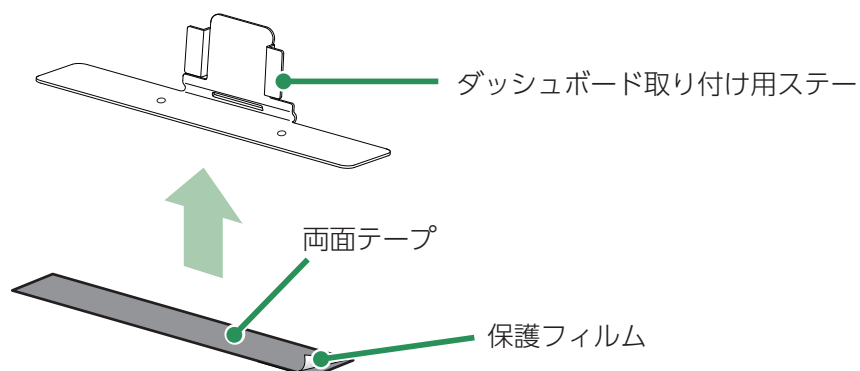
■ アーム部取り付け

アーム部を 180° 反転し、アーム部の中央をブラケットの穴に向かって、まっすぐ押し込んでください。

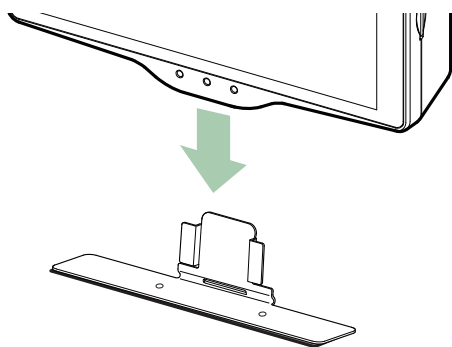


B. ダッシュボード取り付け用ステーで取り付ける

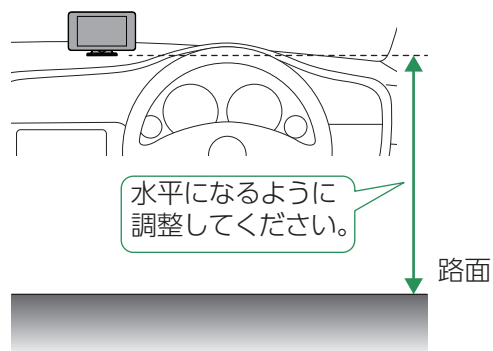
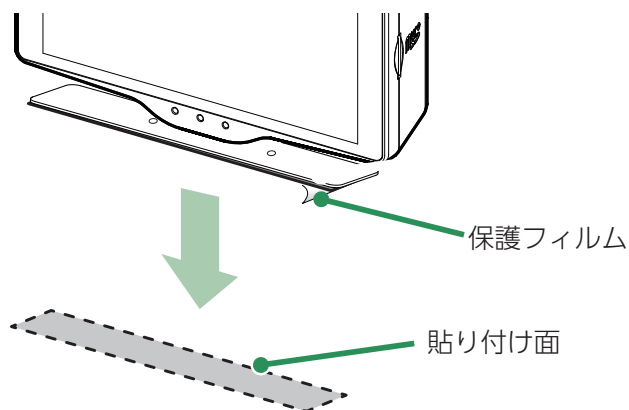
B-1 両面テープの保護フィルムを片側だけはがし、ダッシュボード取り付け用ステーに貼り付ける



B-2 本体の溝をダッシュボード取り付け用ステーに合わせ取り付ける



B-3 残りの保護フィルムをはがしダッシュボードの取り付け面に貼り付ける



G センサーやジャイロセンサーが正しく動作するように、本体の背面が車両進行方向を向くようにし、画面が見やすいように調整してください。

※ 本体の背面を進行方向以外に向けた場合、誤警報や警報しないことがあります。

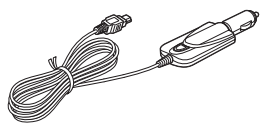
※ 取り付け後、はがすと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ（市販品）をご用意ください。

電源コードの配線

3種類の配線方法があります。いずれかの方法で配線してください。

A. シガープラグコードによる配線 (P.29)

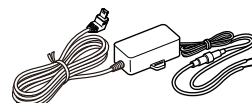
付属品



① シガープラグコード

B. 電源直結コードによる配線 (P.29)

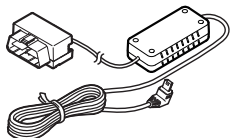
別売品



② 電源直結コード
(OP-E832)

C. OBD II アダプターによる配線 (P.30)

別売品



③ OBD II アダプター
(OBD12-FPL Ⅲ)

⚠ 注意

- ・ OBD II アダプター使用時、車種によっては画面に表示できない情報があります。詳細については、販売店の店頭や弊社ホームページで OBD II アダプター適応表をご確認ください。
- ・ OBD II アダプターには、適応表が指定されています。販売店の店頭や弊社ホームページで OBD II アダプター適応表をご確認いただいてからお求めください。

■ ご注意ください

特定の配線経路はありませんが、運転中の視界や操作の邪魔になったり、ドアやペダルなどの可動部に本機やコードが挟み込まれたり、当たったりしないようにしてください。



シフトレバー
操作の邪魔



ハンドル
操作の邪魔

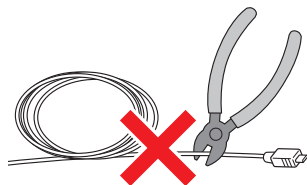


ペダル
操作の邪魔

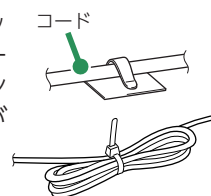


コードの
挟み込み

- ・ コードが長くて、切って短くしないでください。



市販品のコード固定クリップでコードをダッシュボードに固定したり、結束バンドでコードを束ねることができます。

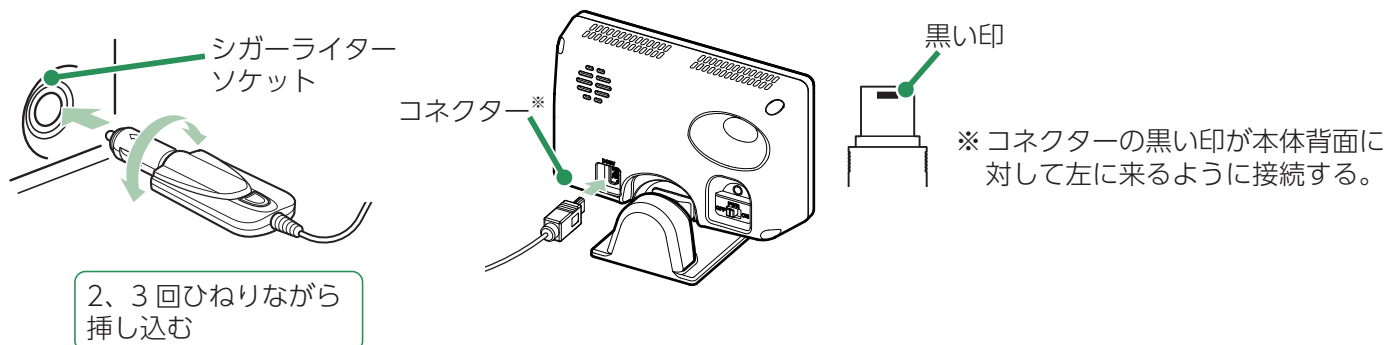


A. シガープラグコードによる配線 (付属品)

⚠ 注意

- 一部の車種において、シガーライターソケットの形状が合わないことがあります。その場合は、別売品の電源直結コード(OP-E832)、または OBD II アダプター(● P.12)をご使用ください。

A-1 シガープラグコードを接続する



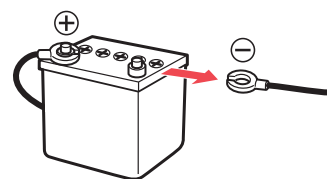
付属のシガープラグコードを本体の DC ジャックと車両のシガーライターソケットに接続します。

※シガープラグコードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

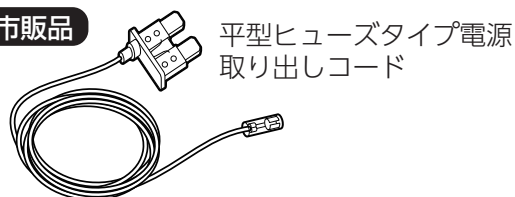
B. 電源直結コード (OP-E832) による配線 (別売品)

⚠ 警告

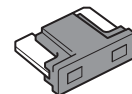
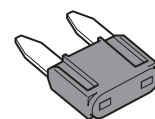
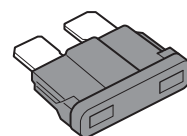
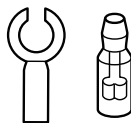
- 作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- 平型ヒューズタイプ電源取り出しコードの取扱説明書をよくお読みになり、接続手順や注意事項などを守ってください。



市販品

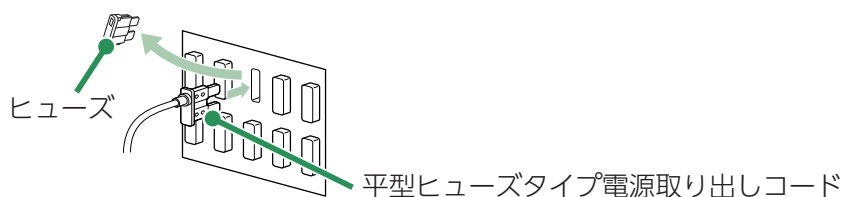


端子金具



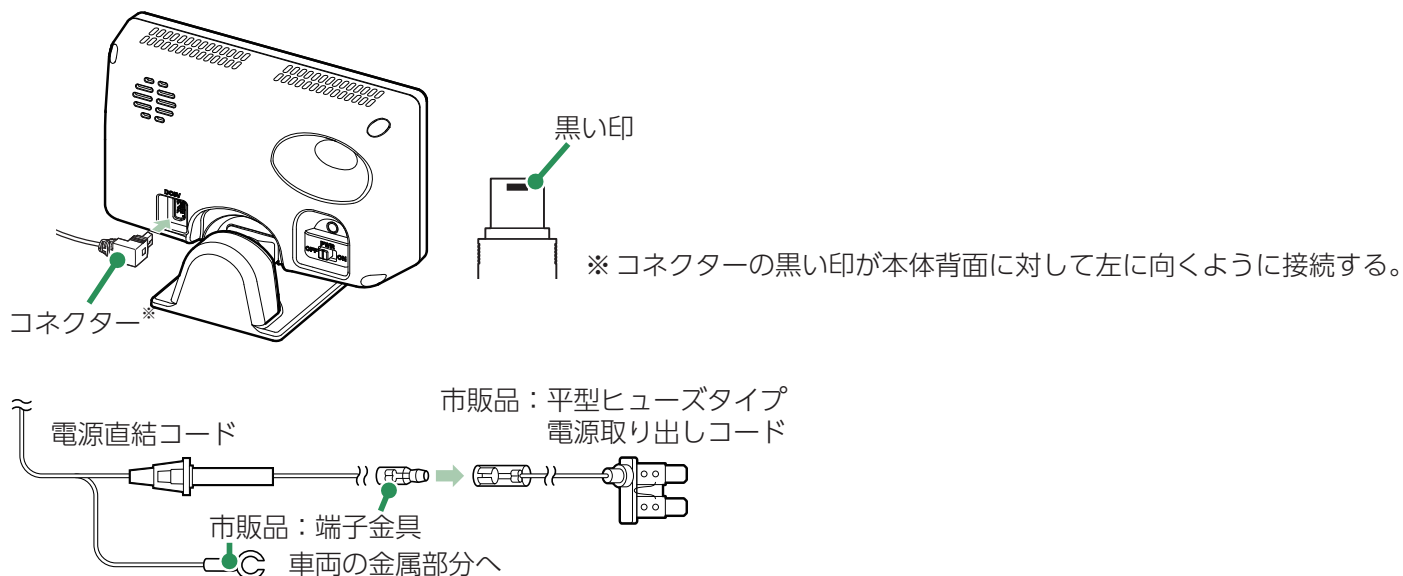
※ヒューズボックスから電源をとることができる「平型ヒューズタイプ電源取り出しコード(市販品)」を使用します。(ノーマルタイプ、ミニタイプ、低背タイプがありますので、あらかじめヒューズボックス内でサイズと容量をご確認の上、ご用意ください。)

B-1 ヒューズを抜き、市販品の平型ヒューズタイプ電源取り出しコードを挿し込む



ヒューズの交換先は必ず、エンジンキーを ACC の位置にした時に電圧が 12V、OFF で 0V になるヒューズと交換してください。

B-2 電源直結コードを接続する



電源直結コードを本体の DC ジャックと市販品の平型ヒューズタイプ電源取り出しコードに接続します。
 ※電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

C. OBD II アダプターによる配線 **別売品**

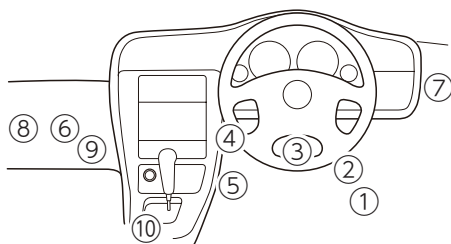
OBD II アダプターのディップスイッチの設定が必要です。ディップスイッチの設定方法は、OBD II アダプターの取扱説明書をご確認ください。対応車種については、店頭もしくは弊社ホームページより最新の OBD 適応表を必ずご確認ください。

⚠ 警告

・故障の原因となりますので、必ず車両が停止 (ACC OFF) していることを確認してから、配線を行ってください。

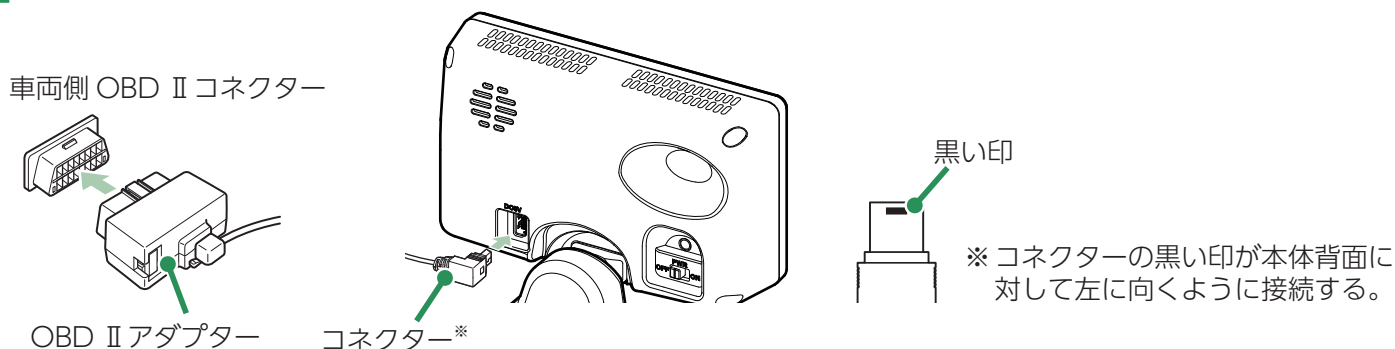
■ OBD II アダプター設置箇所

※カバーやコンソールなどの内側になっている場合があります。



- ① アクセルペダル脇
- ② 運転席足元右側
- ③ 運転席足元中央
- ④ 運転席足元左側
- ⑤ センターコンソール右側
- ⑥ 助手席足元右側
- ⑦ ステアリング右脇パネル裏側
- ⑧ 助手席足元左側
- ⑨ センターコンソール左側
- ⑩ センターコンソール下

C-1 OBD II アダプターを接続する



別売品の OBD II アダプターを本体の DC ジャックと車両の OBD II コネクタに接続してください。
 ※OBD II アダプターのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

配線処理について

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。

正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

■次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・ 運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・ エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・ 直射日光の当たる場所。
- ・ 不安定な場所。
- ・ 配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・ 車両の電装機器（アンテナ等含む）などの近く。
- ・ 水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

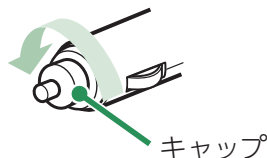
メンテナンス（ヒューズの交換）

接続状態で車両始動 (ACC ON) し、本機の電源スイッチが ON の状態でも電源 ON にならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

1. シガープラグコードのヒューズを交換する

準備するもの：管ヒューズ 2A(20mm × 5.2mm)

1-1 キャップを外す



キャップを矢印の方向に回し、キャップを外します。

1-2 ヒューズを交換する



交換したあとは、外す時と逆方向に回してキャップを閉めてください。

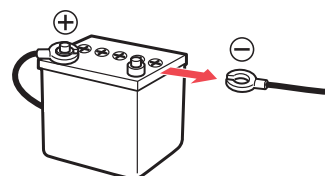
※スプリングの紛失に気を付けてください。

2. 電源直結コードのヒューズを交換する

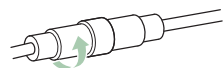
準備するもの：管ヒューズ 3A(20mm × 5.2mm)

⚠ 警告

- 作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- 平型ヒューズタイプ電源取り出しコードの取扱説明書をよくお読みになり、接続手順や注意事項などを守ってください。

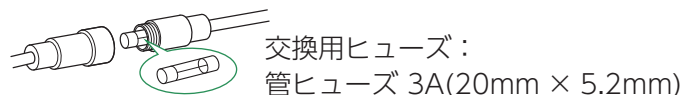


2-1 ヒューズホルダーを開ける



矢印の方向に回してヒューズホルダーを開けてください。

2-2 ヒューズを取り外し交換する



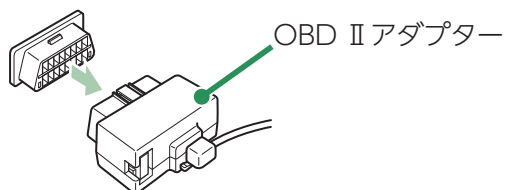
交換したあとは、外す時と逆方向に回してしっかりと閉めてください。

3. OBD II アダプターのヒューズを交換する

準備するもの：低背ヒューズ 3A

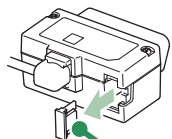
3-1 OBD II アダプターを車両側 OBD II コネクターから外す

車両側 OBD II コネクター



OBD II アダプター

3-2 新しいヒューズと交換する



交換用ヒューズ：
低背ヒューズ 3A

ペンチなどでヒューズを取り出し、新しいヒューズを挿し込んでください。

前方車との接近・発進遅れを警報したり、顔の向き、まぶたの開閉を検出してお知らせするなど安全運転をサポートします。必要に応じてご購入ください。

1. 衝突警報システム (FCW-L1)

本機能は、赤外線レーザーを前方に照射し先行車両からの反射により車間距離を測定することで先行車両との接近、発進遅れを警告します。衝突警報システム (FCW-L1) を接続する場合には、オプションアダプター (OP-ADP20) が必要です。オプションアダプターには、OBD 端子があり、OBD II アダプターと同時に使用できます。

衝突警報システムが警告すると、本機で警告を行います

※ 別売品のわき見・居眠り運転警報器 (OP-EWS4) とは同時に使用できません。

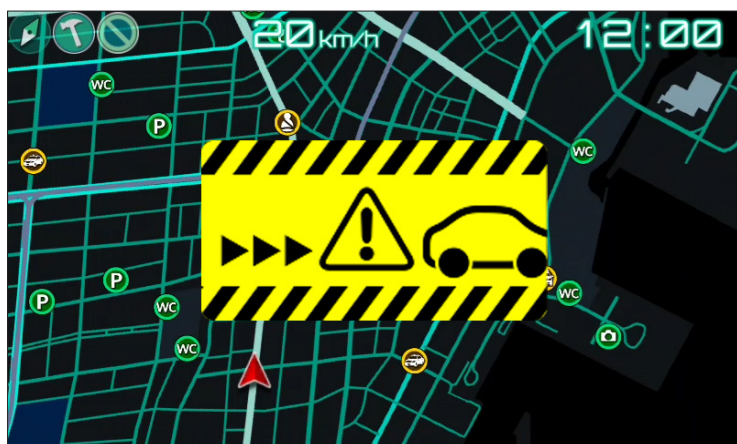
※ 本機と衝突警報システム (FCW-L1) の両方で警告できます。

※ 本機では衝突警報システム (FCW-L1) の設定を変更することはできません。変更する場合は、衝突警報システム (FCW-L1) で行ってください。詳細は衝突警報システム (FCW-L1) の取扱説明書を参照してください。

※ 設定メニュー内 (P.65) では、警告を行いません。あらかじめご了承ください。

※ 警報システム (FCW-L1) のブザー音は衝突警報システム (FCW-L1) の取扱説明書を参照してください。

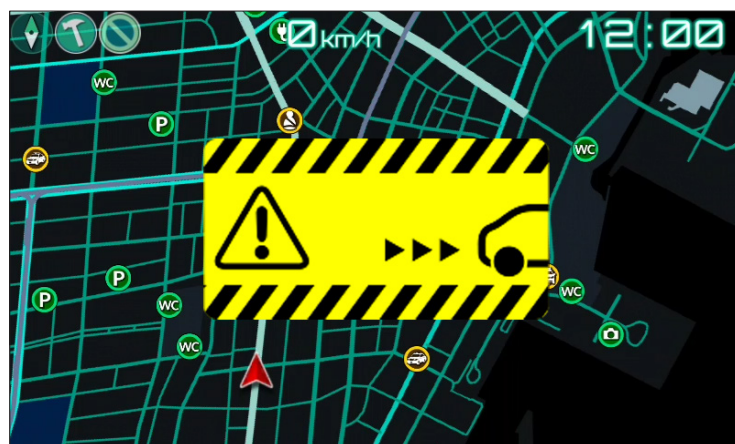
■ 衝突警告



停止している先行車両に接近した場合に警告します。

※ 低速域では警告しません。

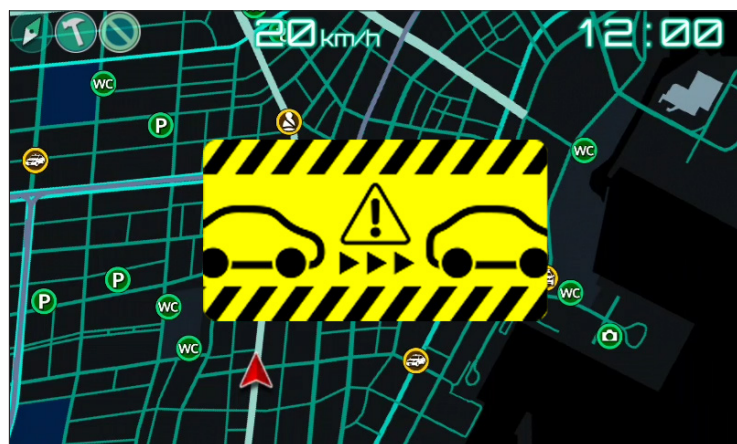
■ スタートインフォメーション



先行車両が発進し、自車が止まったままの場合に警告します。

■ 接近し過ぎ警告

※ OBD II アダプター併用時のみ警告します。



走行中に先行車両と自車の車間距離が短い場合に警告します。

※ 低速域では警告しません。

本機および衝突警報システムに付属しているシガープラグコードは使用しません。
オプションアダプターに付属している、オプションアダプター専用シガープラグコードを使用します。

----- 必ず接続してください。

————— 必要に応じて接続してください。(P.34「接近し過ぎ警告」)

コネクタは正しい向きで
接続してください。

コネクタ*

黒い印

※ コネクタの黒い
印が本体背面に対
して左に向くよう
に接続する。

シガーライターソケット

2、3 回ひねりながら挿し込む

別売品

通信ケーブル
(OP-CB5M)(P.13)
コード長：約 4 m

オプションアダプター専用シガープラグコード
(オプションアダプター付属品)
コード長：約 1.5m

OUT-HOST

別売品

オプションアダプター
(OP-ADP20)
(P.13)

凸部分が上面

通信ケーブル
(衝突警報システム付属品)
コード長：約 4m

凸部分が上面

別売品

衝突警報システム
(FCW-L1)
(P.13)

別売品

OBD II アダプター
(OBD12-FPL Ⅲ)(P.12)
コード長：約 3 m

※ OBD-1 に接続します。

車両側 OBD II コネクタ

※ 取り付けや設定に関しては、衝突警報システム (FCW-L1) の
取扱説明書を参照してください。

P.30 を参照して車両側の OBD II コネクタを
探してください。

2. わき見・居眠り運転警報器 (OP-EWS4)

本機能は、顔の向きやまぶたの開閉を検出して各種危険を警告します。

OP-EWS4 に付属するアダプターには OBD 端子があり、OBD II アダプターと同時に使用できます。わき見・居眠り運転警報器が検知すると、本機で警告を行います。

※ 別売品の衝突警報システム (FCW-L1) とは同時に使用できません。

※ 本機と接続時は本機のみで警告します。わき見・居眠り運転警報器 (OP-EWS4) では警告しません。

※ 設定メニュー内 (P.65) では、警告を行いません。あらかじめご了承ください。

■ わき見警告



時速 10km/h 以上で運転中に約 3 秒以上わき見をしている場合に、警告します。

※ GPS 非測位時は、速度に関係なく警告します。

※ 別売品の OBD II アダプターで接続している場合、GPS 非測位時でも速度情報を得ることができるので、時速 10km/h 以上で警告します。

■ 居眠り警告 (1 回目)



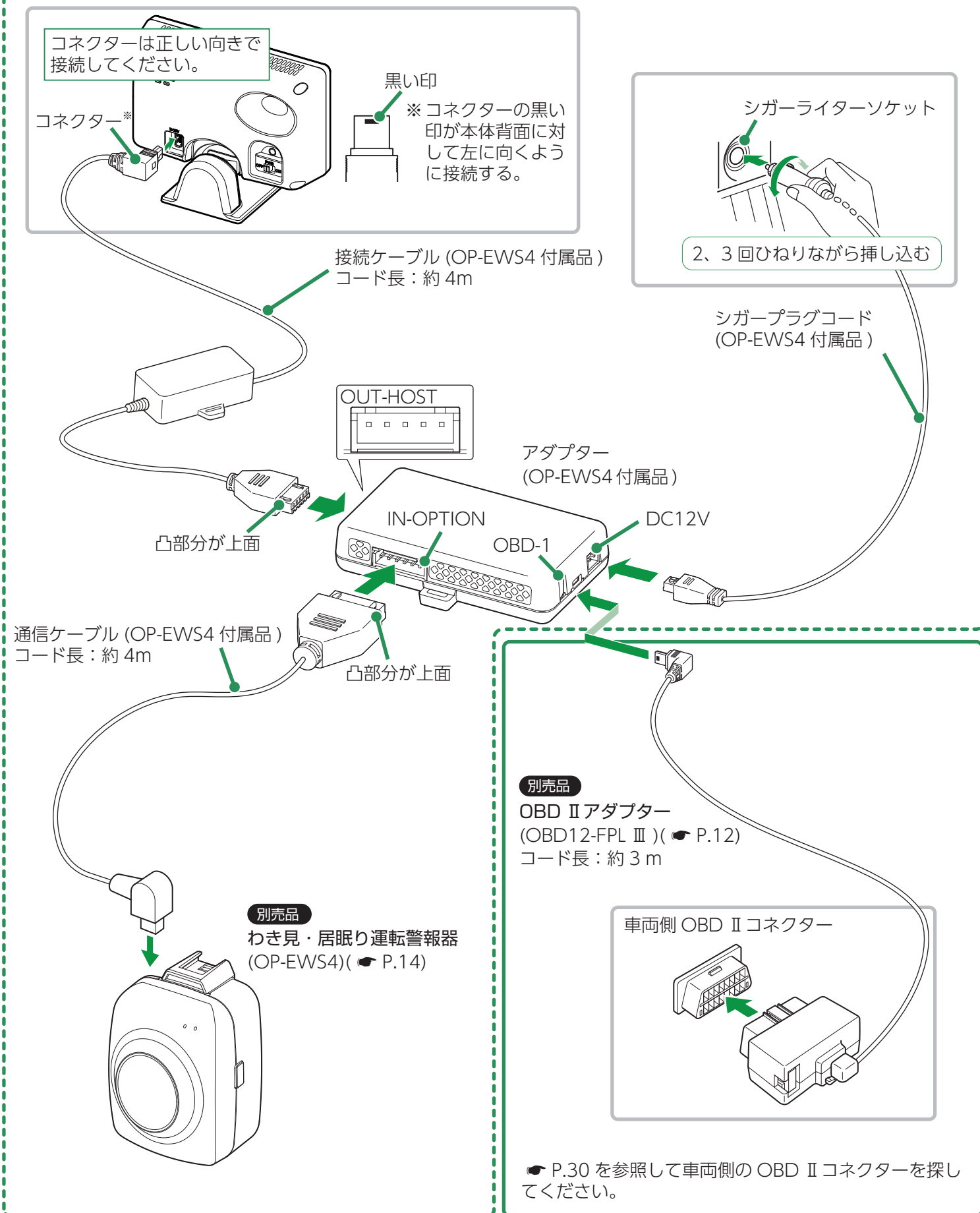
時速 10km/h 以上で運転中にまぶたを閉じている (両目を約 1 秒以上閉じている状態) 場合に、警告します。

■ 居眠り警告 (2 回目以降)



1 回目の居眠り警告後も両目を閉じている場合に、警告します。

- 必ず接続してください。
- 必要に応じて接続してください。



本機能は、外部スピーカーから音声出力できます。初回接続時は自動で外部スピーカーから音声が出ます。出力先の変更は  P.94 を参照してください。

※ 音声外部出力付き電源ユニット (OP-ADP02) からは音声は出ません。

※ 車両の環境や、接続するオーディオ機器によっては、ノイズが入る場合があります。

※ 外部からのノイズ混入を防止するため、本製品を車両ハーネスから離して設置してください。

※ 接続するケーブルのプラグは根元まで確実に挿し込んでください。

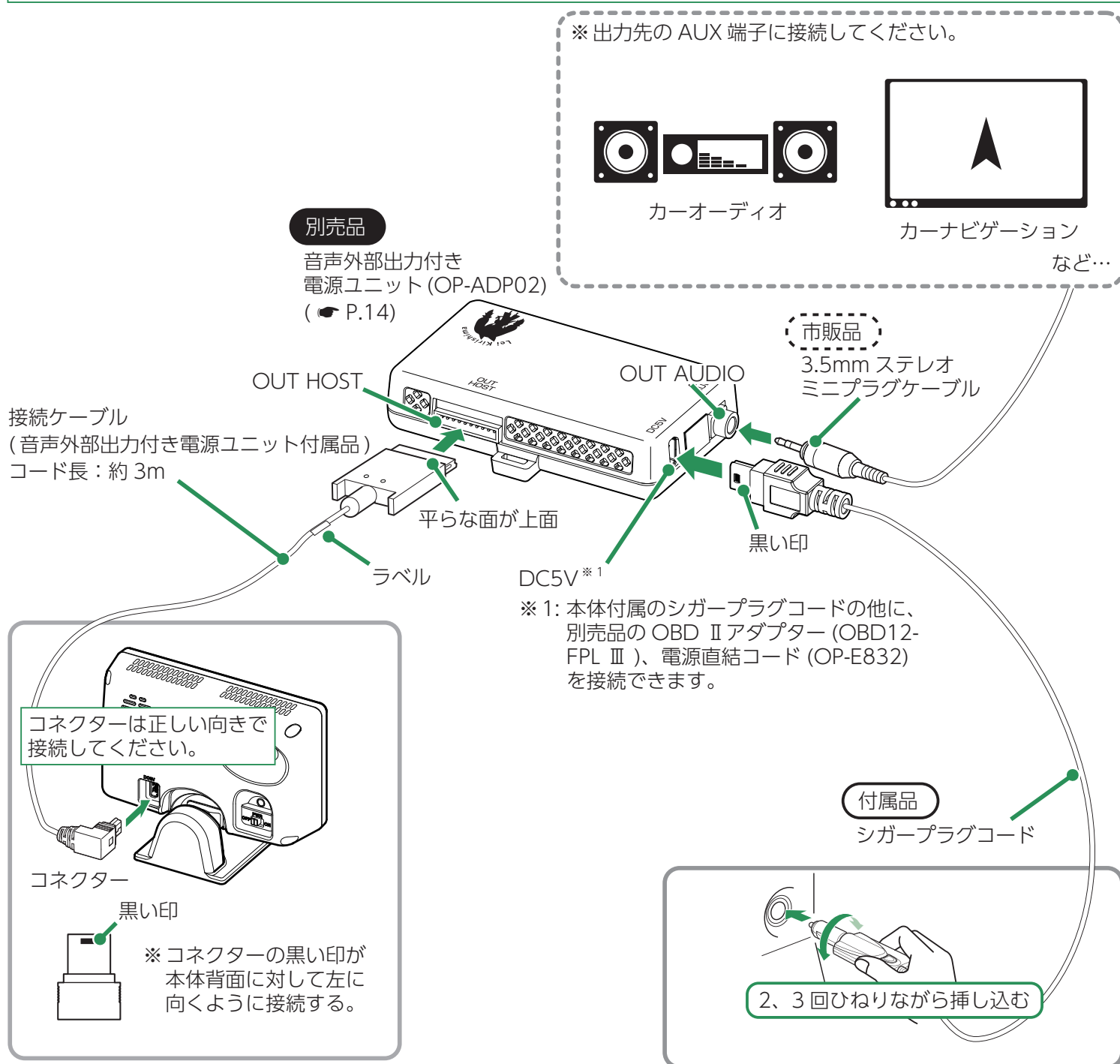
※ エンジン ON/OFF 時に、ポップ音 (ボンツという音) が出る場合があります。

※ 接続後は、音声外部出力付き電源ユニット付属の両面テープや結束バンドで本体、ケーブル類を固定してください。

1. 音声外部出力付き電源ユニット (OP-ADP02)

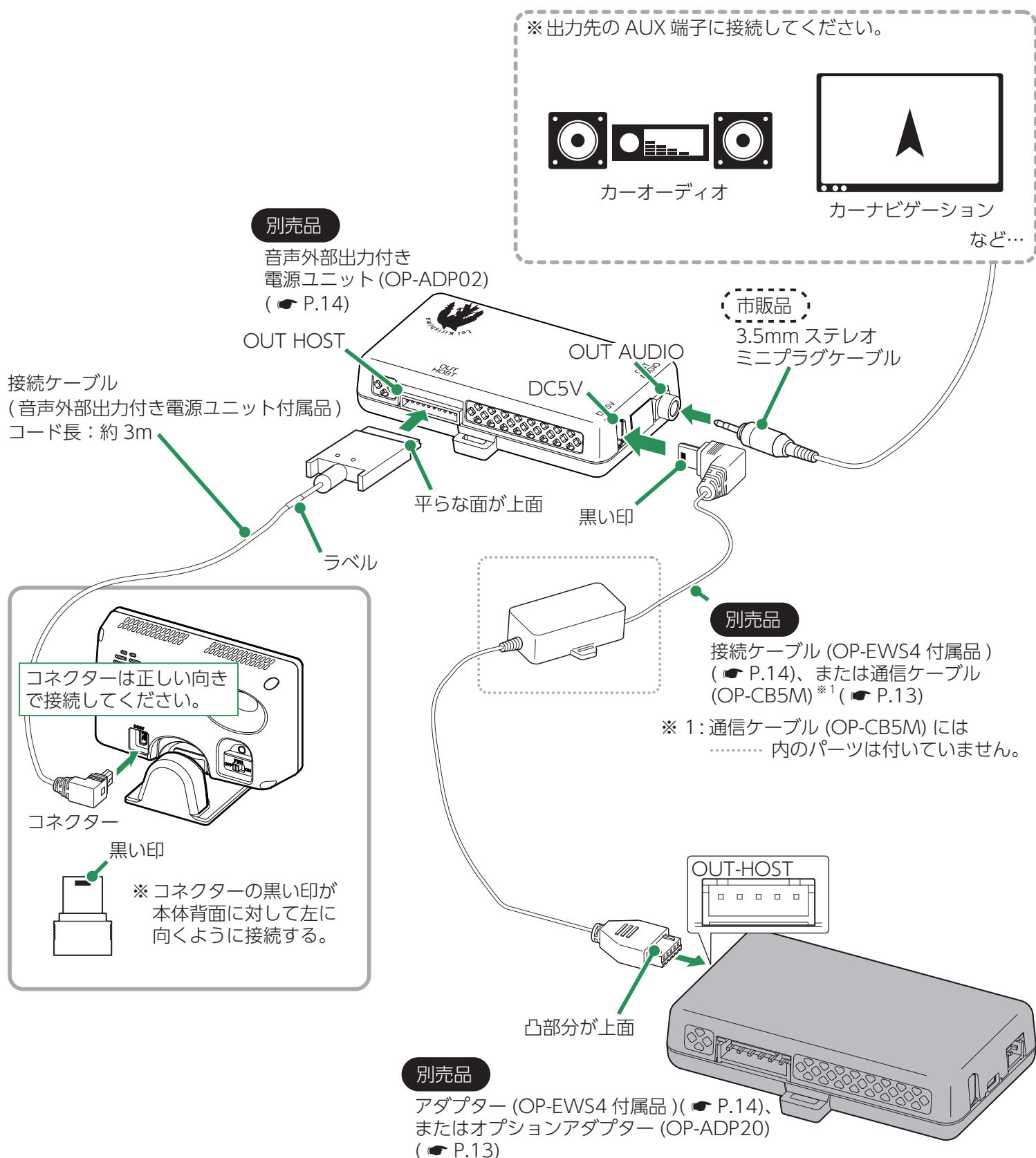
音声外部出力付き電源ユニット (OP-ADP02) を接続する場合には、本機の付属品、または対応のオプション品を必ず使用して本機と接続してください。

電源コードは本機付属のシガープラグコード、または対応のオプション品を必ず使用してください。出力先の音量に注意してください。大音量によって出力先を破損するおそれがあります。



2. 音声外部出力付き電源ユニット (OP-ADP02) と安全運転支援機器 (FCW-L1 / OP-EWS4)

わき見・居眠り運転警報器 (OP-EWS4)、または衝突警報システム (FCW-L1) と接続する場合は、アダプター (OP-EWS4 付属品)、またはオプションアダプター (OP-ADP20) を音声外部出力付き電源ユニット (OP-ADP02) の「DC5V」に接続してください。

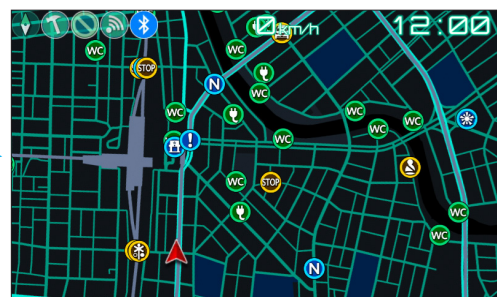
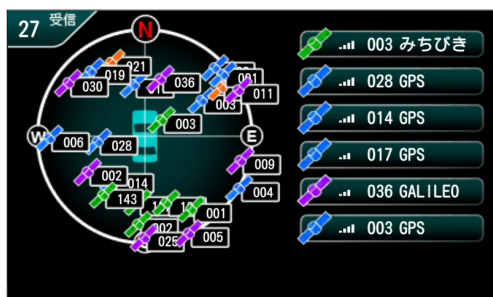
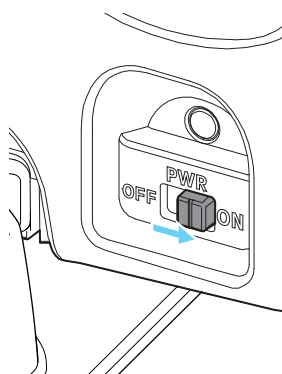


※ わき見・居眠り運転警報器 (OP-EWS4)、またはオプションアダプター (OP-ADP20) と衝突警報システム (FCW-L1) の接続方法は各接続ページを参照してください。

電源 ON/OFF について

1. 電源 ON する

1-1 本体の電源スイッチを ON にし、車両を始動 (ACC ON) する



車両始動 (ACC ON) と連動して電源 ON になります。
必ず表示画面が切り替わったことを確認してから走行してください。
※ 本機の起動には 1 分程度要します。
※ GPS の測位状況によっては待受画面が表示されず、いきなり警報画面が表示される場合があります。
※ GPS が非測位時は測位するまで衛星情報を表示します。
※ 初めて OBD II アダプターを車両に取り付けた場合、本体の起動に数分かかることがあります。

■ 次のような場合、本機を電源 ON してから表示画面が切り替わるまで時間がかかる、もしくは測位できない場合があります

その場合は、障害物や遮へい物のない視界のよい場所へ移動し、車両を停車してください。



2. 電源 OFF する

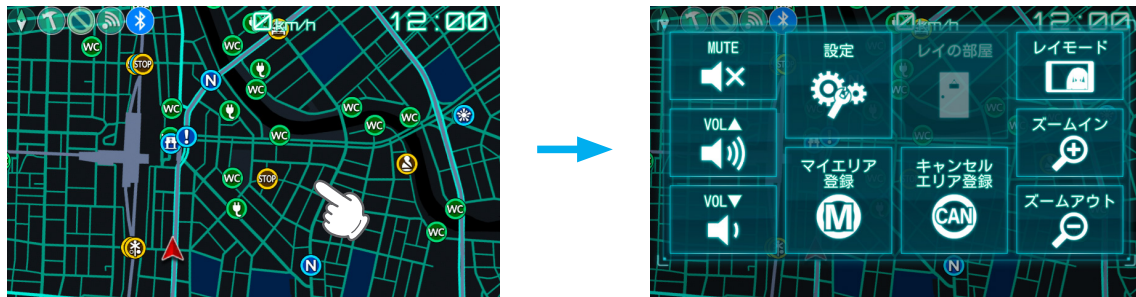
2-1 車両を停止 (ACC OFF) する

車両停止 (ACC OFF) と連動して電源 OFF になります。
※ 車種によっては車両停止 (ACC OFF) しても、本体が電源 OFF にならない場合があります。その場合は、本体の電源スイッチを操作して電源 OFF にしてください。
※ OBD II アダプターで配線を行った場合、車両停止 (ACC OFF) したあと、本体が電源 OFF になるまで車種によって数秒から数十秒かかります。また、OBD II アダプターで接続した場合は、本体の電源スイッチで電源 OFF しないでください。
※ 設定やレイモードのセーブデータを正常に保存するため、必ず待受画面表示で電源 OFF してください。
※ 電源 OFF して画面が消えるまで十数秒かかる場合があります。

操作方法

1. ジャンプウィンドウ

待受画面にタッチするとジャンプウィンドウが表示されます。各操作はこの画面から行います。



<ジャンプウィンドウ>

※ 無操作時、約 10 秒で待受画面に戻ります。

2. 音量の調整

ジャンプウィンドウの [VOL ▲], [VOL ▼] にタッチで音量を調整できます。『ピッ』という確認音で音量を確認してください。

※ 音量は 0~7 の 8 段階で調整できます。初期値は 4 です。

※ [VOL 0]にした場合、音声による警報は行いません。



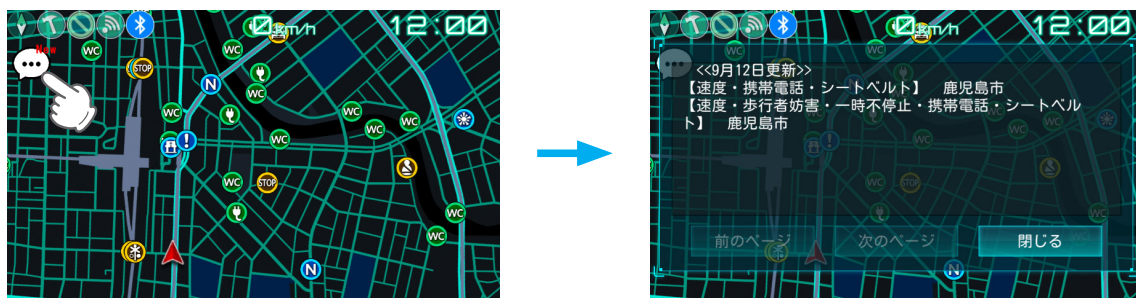
VOL▲: 音量が上がります。

VOL▼: 音量が下がります。

3. 公開取締情報の表示

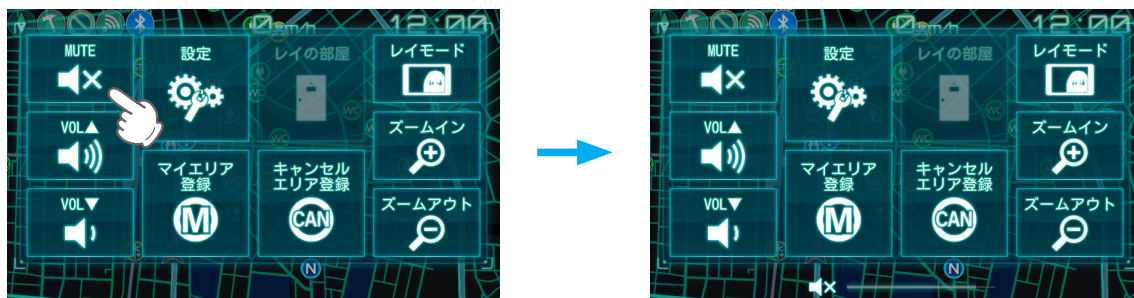
取締情報がある路線に侵入した時に待受画面の ☰ で表示されます。待受画面の ☰ にタッチすることで公開取締情報が表示されます。取締情報が更新されると ☰ に New が表示されます。初期値は [OFF] です。

※ 公開取締情報を更新していない場合は、正確な情報をお知らせすることができません。無料で公開していますので、更新することをお勧めします。



4. 警報音のミュートについて

[MUTE] をタッチするとミュートします。再度タッチするとミュート解除されます。



※ミュート中はレーダー／レーザーや、わき見・居眠り運転警報器、衝突警報システムの音声による警報は行いません。

登録について

任意の場所を登録することができます。

項目		説明
	マイエリア (登録 / 解除)	・移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録でき、2 回目以降通過時に警告させることができます。 ・手前約 1km に近づくとマイエリアを解除 (削除) できます。自車近辺に複数のマイエリアが登録されている場合は、自車に一番近いマイエリアが解除されます。 ※登録数は、マイエリア、アイキャンセル、キャンセルエリアの合計で 10,000 箇所まで可能です。10,000 箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。
	キャンセル エリア (登録 / 解除)	・自動ドアなど、取締機が設置されていないにもかかわらずレーダー波の受信警報がよく鳴る地点を登録することができ、通過時にレーダー波の受信警報をキャンセルします。 ・手前約 200m に近づくとキャンセルエリアを解除 (削除) できます。自車近辺に複数のキャンセルエリアが登録されている場合は、自車に一番近いキャンセルエリアが解除されます。 ※登録数は、キャンセルエリア、マイエリア、アイキャンセルの合計で 10,000 箇所まで可能です。10,000 箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。 ※キャンセルエリアは、レーダー波の受信警報をキャンセルするもので、GPS55 識別の警報はキャンセルできません。

※マイエリア / キャンセルエリア一括削除は、[システム] ⇒ [消去] ( P.67) を参照してください。

※GPS を受信できていない場合、マイエリア / キャンセルエリアの登録 / 解除を行うことができません。

マイエリアについて

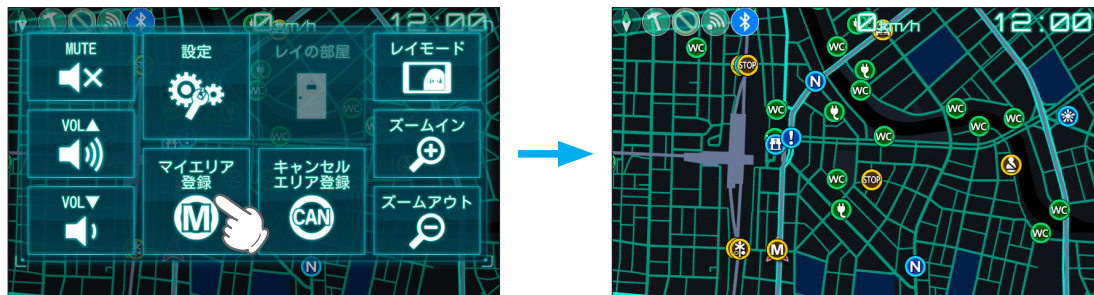
移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録でき、2回目以降通過時に警告させることができます。

※登録数は、マイエリア、アイキャンセル、キャンセルエリアの合計で10,000箇所まで可能です。
10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

1. マイエリアを登録する

1-1 登録したい地点でジャンプウィンドウを表示する (P.41)

1-2 [マイエリア登録]にタッチする

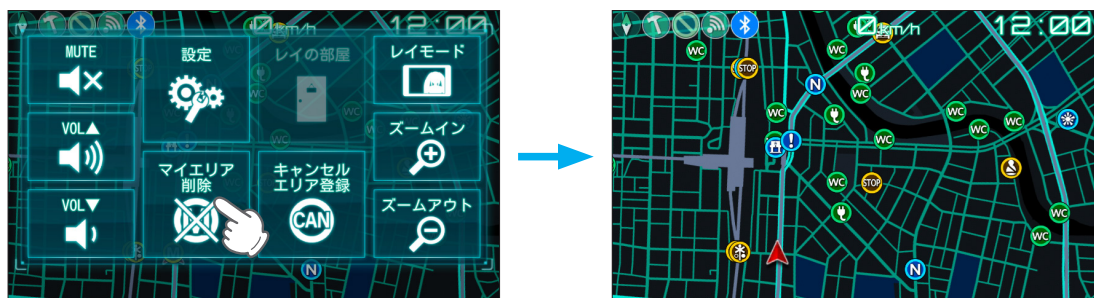


※GPS 非測位時、マイエリアは登録できません。

2. マイエリアを解除する

2-1 登録した地点でジャンプウィンドウを表示する (P.41)

2-2 [マイエリア削除]にタッチする



- ・登録後は地図上にアイコンを表示します。
- ・マイエリアに近づくと手前約 1km、または 500m で警告します。
※ 1km 手前でマイエリア警告を行った場合、500m 手前では警告を行いません。
- ・マイエリア手前約 1km に近づくとジャンプウィンドウのボタンが「マイエリア解除」に変わり、対象のマイエリアを解除(削除)できます。エリア内に複数のマイエリアが登録されている場合は、自車に一番近いマイエリアが解除されます。
- ・全てのマイエリアを消去する場合は、[消去]⇒[マイエリア](P.67) を参照してください。

キャンセルエリアについて

自動ドアなど、取締機が設置されていないにもかかわらずレーダー波の受信警報がよく鳴る地点を登録することができ、通過時にレーダー波の受信警報をキャンセルします。

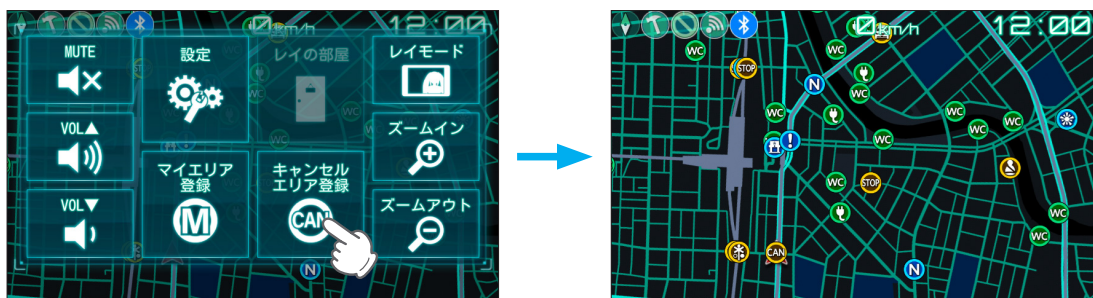
※登録数は、キャンセルエリア、マイエリア、アイキャンセルの合計で 10,000 箇所まで可能です。10,000 箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

※キャンセルエリアは、レーダー波の受信警報をキャンセルするもので、GPS55 識別 (P.58) や警報はキャンセルできません。

1. キャンセルエリアを登録する

1-1 登録したい地点でジャンプウィンドウを表示する (P.41)

1-2 [キャンセルエリア登録] にタッチする

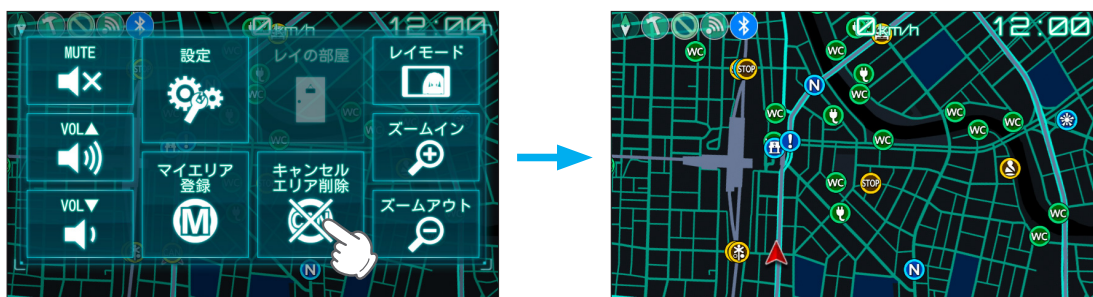


※ GPS 非測位時、キャンセルエリアは登録できません。

2. キャンセルエリアを解除する

2-1 登録した地点でジャンプウィンドウを表示する (P.41)

2-2 [キャンセルエリア削除] にタッチする



- 登録後は地図上にアイコンを表示します。
- キャンセルエリアに進入すると…
登録したキャンセルエリアのポイントから半径約 200m のエリアに進入し、レーダー波を受信するとレーダー警報をキャンセルします。
- マイキャンセルエリア手前約 200m に近づくとき登録画面のキャンセルエリア解除ボタンが有効になり、対象のマイキャンセルエリアを解除(削除)できます。エリア内に複数のマイキャンセルエリアが登録されている場合は、自車に一番近いキャンセルエリアが解除されます。
- 全てのキャンセルエリアを解除(消去)する場合は、[消去]⇒[キャンセルエリア](P.67) を参照してください。

待受画面について

警報やお知らせがない時に、運転に役立ついろいろな情報を表示するのが待受画面です。待受画面は、通常は MAP 画面固定ですが別売品の OBD II アダプターを接続することで表示できる待受画面が増えます。

OBD II アダプターを接続していない場合、待受画面の変更はできません。

1. 待受画面の変更方法

■ 例：OBD1 に変更する

1-1 ジャンプウィンドウを表示する (P.41)

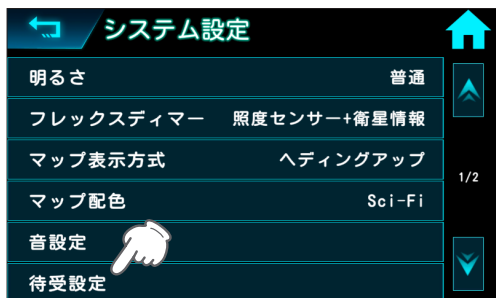
1-2 [設定] にタッチする



1-3 [システム] にタッチする



1-4 [待受設定] にタッチする。



1-5 [待受変更] にタッチし、[OBD1] にタッチする

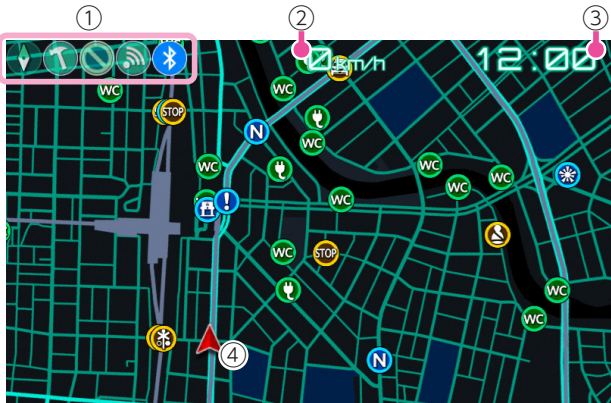


1-6 [ホーム] ボタンにタッチすると、待受画面に戻ります。

待受画面の種類について

1. マップ

全国版の地図上を自車アイコンが移動します。



No.	説 明
①	各種アイコン
②	走行速度
③	時計
④	自車アイコン

※ 警報モードによっては駐車禁止エリアアイコン / 車上狙い多発エリアアイコンは表示されません。(P.84)

■ アイコンについて

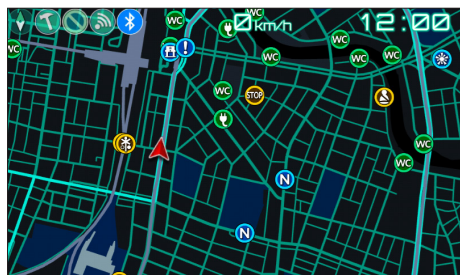
画面上部に以下のアイコンを表示します。

アイコン		説明
	コンパス	マップ上の方位を示します。
	車上狙い多発エリアアイコン	車上狙い多発エリアで表示します。
	駐車禁止エリアアイコン	駐車禁止エリアで表示します。
	WLAN アイコン	無線 LAN を ON にすると表示します。 半透明：無線 LAN 接続していません。 点灯 ：無線 LAN 接続しています。
	Bluetooth アイコン	音声出力先に Bluetooth スピーカーを選択すると表示します。
	OP-ADP02 アイコン	OP-ADP02 を接続すると表示します。 半透明：音声出力先に OP-ADP02 を選択していません。 点灯 ：音声出力先に OP-ADP02 を選択しています。

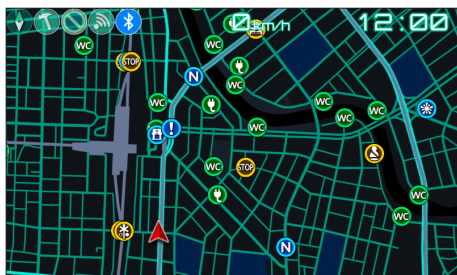
■ マップ表示形式について

マップ表示を北が常に上の状態の「ノースアップ」、常に進行方向が上の状態の「ヘディングアップ」、3D表示の「3D」の3種類から選択できます。(P.67 [システム] ⇒ [マップ表示方式])

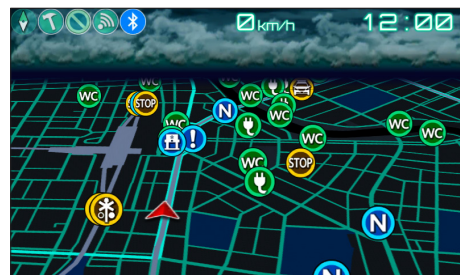
「3D」は時間帯で背景が変わります。



<ノースアップ>



<ヘディングアップ>



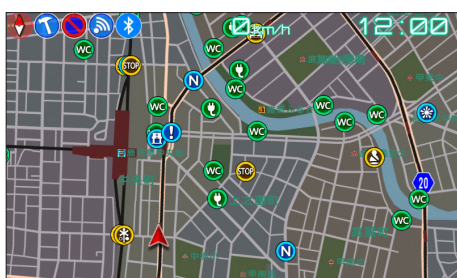
<3D>

■ マップ配色について

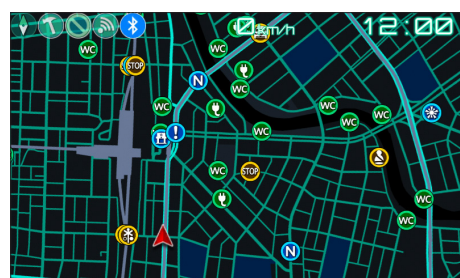
マップ配色には、[AUTO][昼配色][夜配色][Sci-Fi]があります。[AUTO]の場合、衛星情報により夜と判断された場合や、照度センサーにより暗いと判断された場合には[夜配色]に切り替わります。(P.67 [システム] ⇒ [マップ配色])



<昼配色>(白基調)



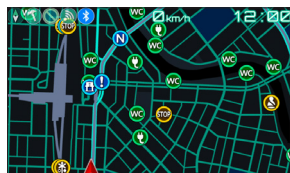
<夜配色>(黒基調)



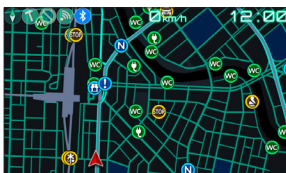
<Sci-Fi>

■ マップズームについて

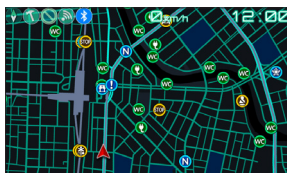
地図縮尺を5種類から選択できます。



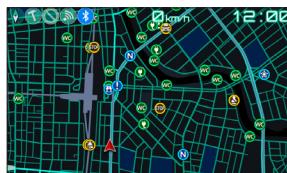
<ZOOM 1>



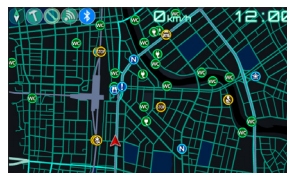
<ZOOM 2>



<ZOOM 3>

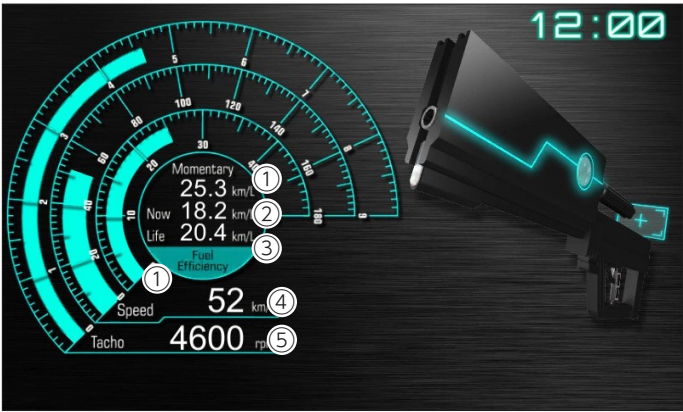


<ZOOM 4>



<ZOOM 5>

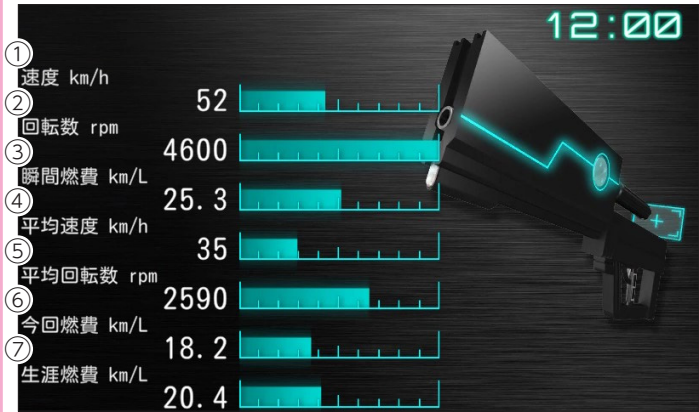
2. OBD1※



No.	表 示	説 明
①	Momentary	瞬間燃費 (km/L)
②	Now	今回燃費 (km/L)
③	Life	生涯燃費 (km/L)
④	Speed	車速 (km/h)
⑤	Tacho	エンジン回転数 (rpm)

※ 項目 / 配置を変更できません。

3. OBD2※



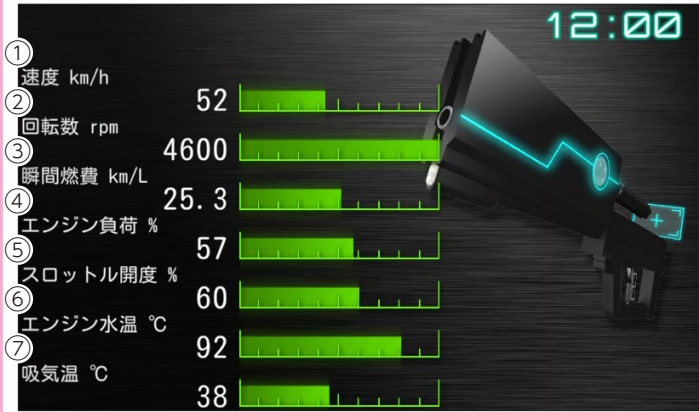
No.	説 明
①	車速 (km/h)
②	エンジン回転数 (rpm)
③	瞬間燃費 (km/L)
④	★平均車速 (km/h)
⑤	★平均エンジン回転数 (rpm)
⑥	★今回燃費 (km/L)
⑦	★生涯燃費 (km/L)

※ ①～③：項目 / 配置を変更できません。

★：初期値

※ ④～⑦：項目 / 配置を変更できます。

4. OBD3※



No.	説 明
①	車速 (km/h)
②	エンジン回転数 (rpm)
③	瞬間燃費 (km/L)
④	★エンジン負荷 (%)
⑤	★スロットル開度 (%)
⑥	★冷却水温度 (°C)
⑦	★吸気温度 (°C)

※ ①～③：項目 / 配置を変更できません。

★：初期値

※ ④～⑦：項目 / 配置を変更できます。

※ OBD II アダプターを接続しても各表示の数値が取得できない車両の場合、数値が「—」と表示されます。あらかじめご了承ください。対応車種については店頭もしくは弊社ホームページより最新の OBD 適応表をご確認ください。

※ 画面上部の駐車禁止エリアアイコン、車上狙い多発エリアアイコン、コンパスはマップ画面でのみ表示されます。OBD 画面には表示されません。

項目 / 配置変更のしかた

待受画面の [OBD2/OBD3] は表示項目と配置を変更することができます。変更できる項目の詳細は P.52 を参照してください。

OBD II アダプターを接続しない場合、表示項目の変更や配置変更はできません。



<OBD2>



<OBD3>

1. 表示項目を変更する

■ 例：OBD2 の生涯燃費をエンジン水温に変更する

※ あらかじめ、待受画面を [OBD 2] に変更しておいてください。

1-1 ジャンプウィンドウを表示する (P.41)

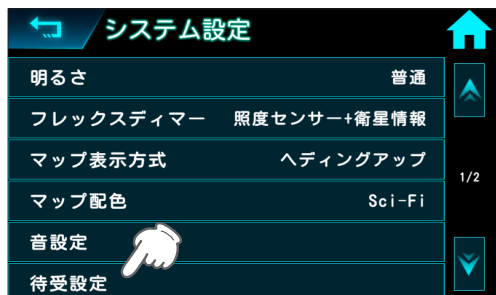
1-2 [設定] にタッチする



1-3 [システム] にタッチする



1-4 [待受設定] にタッチする



1-5 [項目変更] にタッチする



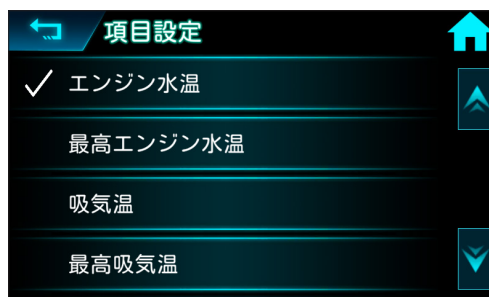
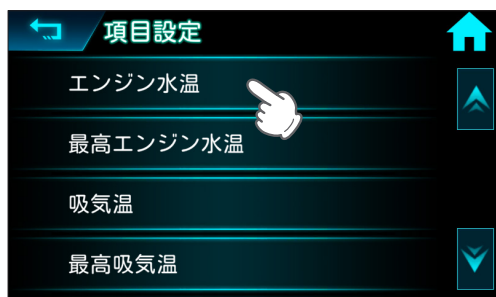
1-6 生涯燃費の [変更] にタッチする



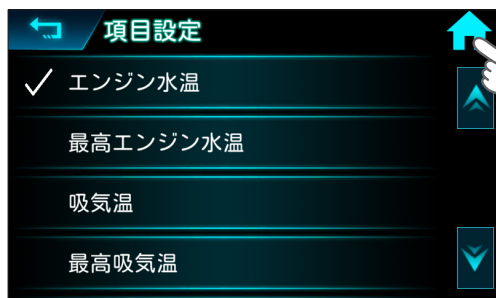
1-7 [温度] にタッチする



1-8 [エンジン水温] にタッチする



1-9 [ホーム] にタッチする



2. 項目設定一覧

※ OBD II アダプターを接続しないと、表示項目の変更や配置変更はできません。

●：[OBD 設定]⇒[平均クリア]でリセットされます。

▲：[OBD 設定]⇒[オールクリア]でのみリセットされます。[平均クリア]ではリセットされません。

カテゴリ	項目	説明
速度	速度	速度を表示します。
	平均速度(●)	今回の速度の平均値を表示します。
	一般道平均速度(●)	今回の一般道の速度の平均値を表示します。
	高速道平均速度(●)	今回の高速道の速度の平均値を表示します。
	5 秒速度	発車から 5 秒後の速度を表示します。
	平均 5 秒速度	発車から 5 秒後の速度の平均値を表示します。
	最高 5 秒速度	発車から 5 秒後の速度の最高値を表示します。
走行時間	走行時間	今回の停車していない時間を表示します。
	1-20km/h 走行時間	各範囲速度での走行時間を表示します。
	20-40km/h 走行時間	
	40-60km/h 走行時間	
	60-80km/h 走行時間	
	80-100km/h 走行時間	
	100km/h 以上走行時間	
	運転時間	今回の運転時間を表示します。
	停車時間	今回の停車時間を表示します。
	1000m ラップ	電源 ON から各走行距離ごとにかかった時間を表示します。
	5000m ラップ	
	10000m ラップ	
	0-400m 時間	発車から各走行距離にかかった時間 / 平均時間 / 最短時間を表示します。
	0-400m 平均時間	
	0-400m 最短時間	
	0-1000m 時間	
	0-1000m 平均時間	
	0-1000m 最短時間	
走行比率	走行比率	運転時間に対して走行している時間の比率を表示します。
	1-20km/h 走行比率	各範囲の速度で走行している比率を表示します。
	20-40km/h 走行比率	
	40-60km/h 走行比率	
	60-80km/h 走行比率	
	80-100km/h 走行比率	
	100km/h 以上走行比率	
	停車比率	運転時間に対して停車している時間の比率を表示します。
	今回エンジン走行比率(●)	今回走行した距離に対して今回エンジンで走行した比率を表示します。
	生涯エンジン走行比率(▲)	生涯走行した距離に対して生涯エンジンで走行した比率を表示します。

カテゴリ	項目	説明
エコドライブ	今回アイドリングストップ時間 / エンジン停止時間	今回アイドリングストップ / エンジン停止した時間の累積値を表示します。
	最小アイドリングストップ時間 / 最小エンジン停止時間	アイドリングストップ / エンジン停止した時間の最小値を表示します。
	最大アイドリングストップ時間 / 最大エンジン停止時間	アイドリングストップ / エンジン停止した時間の最大値を表示します。
	今回アイドリング時間 / アイドリング時間	車速 0 でエンジンが掛かっていた時間を表示します。
	今回エンジン始動回数 / エンジン始動回数	今回エンジンを始動した回数を表示します。
	今回アイドリングストップ回数 / エンジン停止回数	今回アイドリングストップ / エンジン停止した回数を表示します。
	0-10 秒アイドリングストップ回数 / 0-10 秒停止回数	
	10-20 秒アイドリングストップ回数 / 10-20 秒停止回数	
	20-30 秒アイドリングストップ回数 / 20-30 秒停止回数	
	30 秒以上アイドリングストップ回数 / 30 秒以上停止回数	
	0-10 秒アイドリングストップ比率 / 0-10 秒停止比率	アイドリングストップ / エンジン停止時間の各範囲の比率を表示します。
	10-20 秒アイドリングストップ比率 / 10-20 秒停止比率	
	20-30 秒アイドリングストップ比率 / 20-30 秒停止比率	
	30 秒以上アイドリングストップ比率 / 30 秒以上停止比率	
加速時間	0-20km/h 加速時間	発車から各速度に達するまでにかかった時間を表示します。
	0-40km/h 加速時間	
	0-60km/h 加速時間	
	0-80km/h 加速時間	
	0-100km/h 加速時間	
	0-20km/h 平均加速	発車から各速度に達するまでにかかった時間の平均時間を表示します。
	0-40km/h 平均加速	
	0-60km/h 平均加速	
	0-80km/h 平均加速	
	0-100km/h 平均加速	
	0-20km/h 最短加速	発車から各速度に達するまでにかかった時間の最短時間を表示します。
	0-40km/h 最短加速	
	0-60km/h 最短加速	
	0-80km/h 最短加速	
	0-100km/h 最短加速	

カテゴリ	項目	説明
圧力※ ¹	相対インマニ圧	インテークマニホールド内の圧力を表示します。(相対圧)
	最大相対インマニ圧	インテークマニホールド内の最大圧力を表示します。(相対圧)
	絶対インマニ圧	インテークマニホールド内の圧力を表示します。(絶対圧)
	最大絶対インマニ圧	インテークマニホールド内の最大圧力を表示します。(絶対圧)
	ブースト圧	ブースト圧を表示します。(相対圧)
	最大ブースト圧	最大ブースト圧を表示します。(相対圧)
燃費※ ²	瞬間燃費	瞬間の燃費を表示します。
	今回燃費(●)	今回走行での燃費の平均値を表示します。 ※ 電源 ON ごとにリセットされます。
	最大今回燃費(●)	今回走行時の燃費の最大値を表示します。
	平均燃費(●)	燃費の平均値を表示します。
	一般道平均燃費(●)	一般道での燃費の平均値を表示します。
	高速道平均燃費(●)	高速道での燃費の平均値を表示します。
	生涯燃費(▲)	OBD 情報オールクリアするまでの燃費の平均値を表示します。
	移動平均燃費(●)	直近 16km 区間での燃費を表示します。
	最大移動平均燃費(●)	16km 区間での移動平均燃費の最大値を表示します。
燃料	燃料流量	燃料の流量を表示します。
	平均燃料流量	今回走行時での燃料流量の平均値を表示します。
	最大燃料流量	今回走行時での燃料流量の最大値を表示します。
	残燃料	残りの燃料を表示します。
	残料レベル	残りの燃料レベル(割合)を表示します。
	今回消費燃料(●)	今回走行時の消費燃料を表示します。
	消費燃料(●)	消費燃料を表示します。
	生涯消費燃料(▲)	OBD 情報オールクリアするまでの消費燃料を表示します。
距離	今回走行距離(●)	今回走行時での走行距離を表示します。
	走行距離(●)	走行距離を表示します。
	生涯走行距離(▲)	OBD 情報オールクリアするまでの走行距離を表示します。
	今回I/V走行距離(●)	今回走行時でのエンジンで走行した距離を表示します。
	生涯I/V走行距離(▲)	OBD 情報オールクリアするまでのエンジンで走行した距離を表示します。
温度	エンジン水温	エンジン冷却水の温度を表示します。
	最高エンジン水温	エンジン冷却水の最高温度を表示します。
	吸気温	吸気温度を表示します。
	最高 吸気温	最高吸気温度を表示します。
	外気温※ ³	外気温度を表示します。
	最高外気温※ ³	最高外気温度を表示します。
	エンジン油温	エンジンオイルの温度を表示します。
	最高エンジン油温	エンジンオイルの最高温度を表示します。

カテゴリ	項目	説明
エンジン	スロットル開度 ^{※4}	スロットルバルブの開度を表示します。
	平均スロットル開度	今回走行時のスロットル開度の平均値を表示します。
	最大スロットル開度	今回走行時のスロットル開度の最大値を表示します。
	エンジン負荷 ^{※4}	エンジンにかかる負荷を表示します。
	平均エンジン負荷	今回走行時のエンジン負荷の平均値を表示します。
	最大エンジン負荷	今回走行時のエンジン負荷の最大値を表示します。
	MAF	エンジンに吸気される空気量を表示します。
	INJ	インジェクション噴射時間を表示します。
	点火時期	エンジン点火プラグの点火時期を表示します。
	回転数	エンジンの回転数を表示します。
	平均回転数	今回走行時の回転数の平均値を表示します。
	最高回転数	今回走行時の回転数の最高値を表示します。
その他	バッテリー電圧	バッテリーの電圧値を表示します。
	バッテリー電流	バッテリーの電流値を表示します。
HV	HV システムパワー ^{※5}	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	HVFr モータパワー ^{※5}	フロントモーターの出力を表示します。
	HVRr モータパワー ^{※5}	リヤモーターの出力を表示します。
	HVRr トルク配分比 ^{※5}	リヤモーターへのトルク配分比を表示します。
	HV バッテリー電圧 ^{※5}	HV バッテリーの電圧値を表示します。
	HV バッテリー電流 ^{※5}	HV バッテリーの充放電の電流値を表示します。
	HV 補機バッテリー電圧 ^{※5}	HV 補機バッテリーの電圧値を表示します。
	HV 補機バッテリー電流 ^{※5}	HV 補機バッテリーの電流値を表示します。
	HV 全電池容量 ^{※5}	バッテリーの充電率を表示します。
	HV エンジンパワー ^{※5}	エンジンの出力を表示します。
	HV 昇圧後電圧 ^{※5}	HV バッテリーの昇圧された電圧値を表示します。
	HV アクセル開度 ^{※5 ※6}	アクセルの踏みこみ量を表示します。
	HV エアコン消費電力 ^{※5}	現在のエアコン消費電力を表示します。
	HV ジェネレータ発電量 ^{※5}	充電用発電機の発電量を表示します。
	HV 滑空 ^{※5}	モーター / エンジンで駆動している時は「+」、電力を回生している時は「-」を表示します。

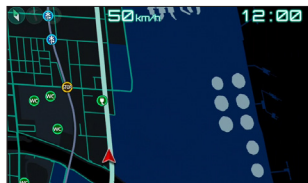
- ※1 この数値は 1 気圧に対しての相対値です。過給機を持たない車両では、圧力は 0 を超えません。
- ※2 消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費と一致しない場合があります。数値の補正はできません。
- ※3 車両によっては、センサーの位置により車外の気温と異なる場合があります。
- ※4 アイドリング中でも 0% にならない場合があります。
- ※5 トヨタハイブリッド車に別売品の OBD II アダプター (OBD12-FPL Ⅲ) を装着時のみ選択できます。
- ※6 アクセルペダルを踏み込んでいなくても 0% にならない場合があります。

警報画面について

1. 警報画面の説明

取締レーダー波 / レーザー光を探知したり、注意度の高いオービスや取締エリアなどの GPS ターゲットに近づくと、各種待受画面から警報画面に切り替わり警報します。

■ GPS ターゲット警報時



待受画面 (マップ)



警報画面 (例: ループコイル)

※ GPS ターゲットが登録されていない場合は、警報画面に表示されません。

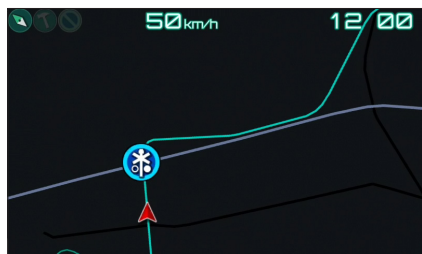
警報画面



ループコイルなど「厳重注意」ターゲットを赤色のアイコンで警報。ターゲット名とターゲットまでの距離をカウントダウン表示します。ステルス波やレーダー波は電波受信をレベル表示します。



取締エリアなど「要注意」ターゲットを黄色のアイコンで警告。ターゲット名とターゲットまでの距離をカウントダウン表示します。



踏切など「少し注意」ターゲットを青色のアイコンで告知します。



パーキングエリアなど「安全運転のための情報」を緑色のアイコンでお知らせします。

2. メッセージウィンドウについて

画面下に各種警報を表示し、必要な情報を確認できます。

■ メッセージウィンドウ (取締レーダー波)



- ① ターゲットのアイコン
- ② 取締レーダー波の種類
- ③ 受信レベル 1(低)～5(高)

■ メッセージウィンドウ (GPS ターゲット)



- ① ターゲットのアイコン
- ② ターゲットの速度制限*
- ③ ターゲット名
- ④ 自車から見たターゲットの方向
- ⑤ ターゲットまでの距離

■ メッセージウィンドウ (ステルス)



- ① 受信レベル 1(低)～5(高)

■ メッセージウィンドウ (取締レーザー光)



- ① 受信レベル 1(低)～5(高)

■ メッセージウィンドウ (MSSS)



- ① 受信レベル 1(低)～5(高)

※ 制限速度表示は、オービス(ループコイル／LHシステム／新Hシステム／レーダー式オービス／レーザー式オービス)と一部の取締エリア警報時に表示します。

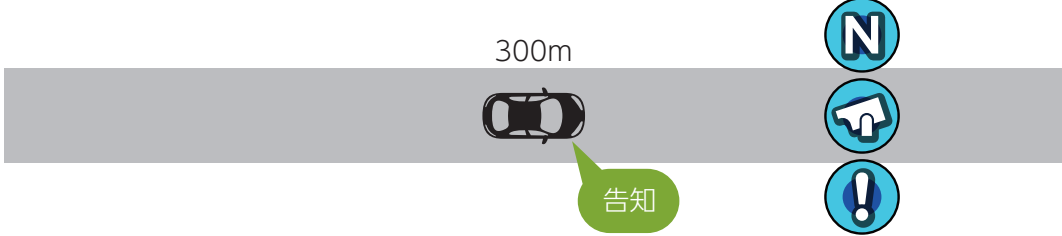
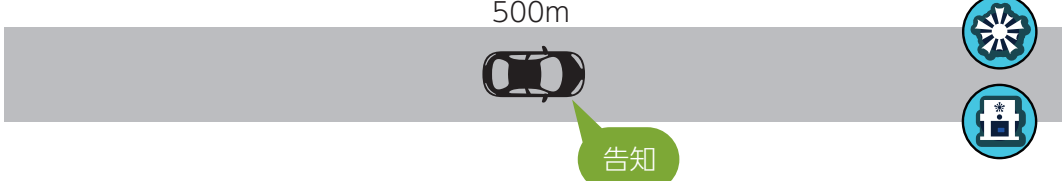
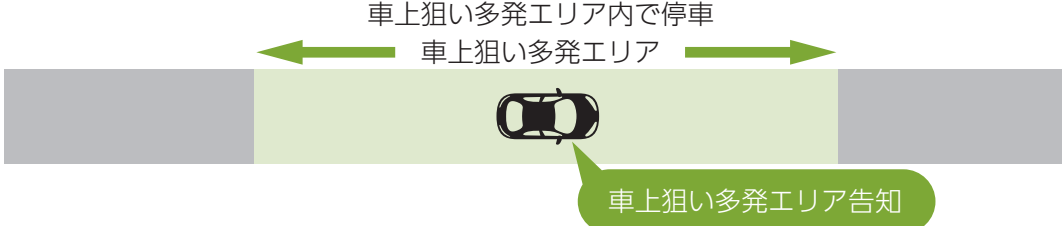
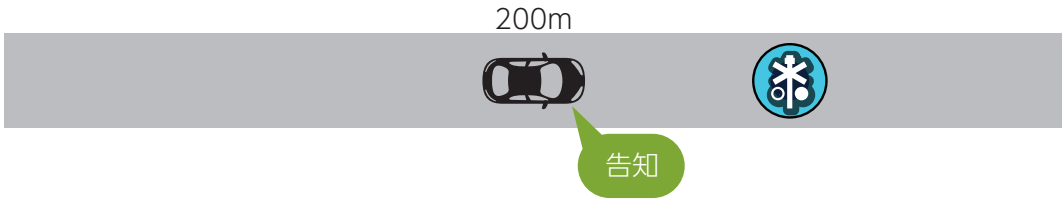
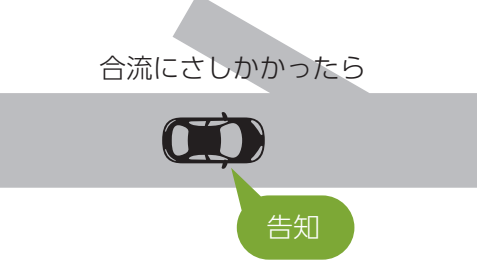
警報ボイスについて

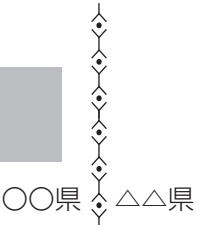
1. GPS ターゲット 55 識別

※ GPS の受信状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。

ターゲットの種類	お知らせするタイミング (距離の目安)
LC ループコイル	対象 GPS ターゲット 2km(高速のみ) 1km 500m 直前 通過 2km 先警報 1km 先警報 制限速度告知 500m 先警報 直前走行速度告知 速度超過告知 通過告知 制限速度切替告知※1 ※ 1：制限速度切替告知は、高速道路の制限速度切替ポイントをメッセージウィンドウでお知らせします。
H 新Hシステム	
LH LH システム	
RD レーダー式オービス (小型オービス含む)	
La レーザー式オービス	
移動オービスエリア	1km 500m 取締エリア警告 制限速度告知 取締エリア警告 レベル 1 2 3 4 5 取締頻度 低 高 ※ 1km 手前で取締エリア警告を行った場合、500m 手前では制限速度告知のみになります。
速度取締エリア	
追尾式取締エリア	
交差点取締エリア	
その他取締エリア	
一時停止取締エリア	
シートベルト検問	1km 500m 検問エリア警告 検問エリア警告 レベル 1 2 3 4 5 取締頻度 低 高 ※ 1km 手前で検問エリア警告を行った場合、500m 手前では警告を行いません。
携帯電話検問	
飲酒検問	
その他の検問	
交差点監視ポイント	300m お知らせ
信号無視抑止システム	

ターゲットの種類	お知らせするタイミング（距離の目安）
 高速交通警察隊	500m 
 駐禁最重点エリア / 駐禁重点エリア マップ上には表示されません	駐禁監視エリア内で停車 駐禁監視エリア 
 一時停止注意ポイント	100m  ※ 東京都 23 区内、名古屋市内、大阪市内の一時停止注意ポイントを登録しています。
 マイエリア	1km 500m  ※ 1km 手前でマイエリア警告を行った場合、500m 手前では警告を行いません。
 ゾーン 30 エリア マップ上には表示されません	
 ラウンドアバウト	300m 
要注意踏切 ・事故多発踏切 ・通学路注意踏切 ・歩道狭隘踏切 ・歩行者 ・ボトルネック踏切 ・自動車 ・ボトルネック踏切 ・開かずの踏切	500m 

ターゲットの種類	お知らせするタイミング (距離の目安)
 逆走注意ポイント マップ上には表示されません	過去に逆走が行われた場所の手前 
 N システム  交通監視システム  事故多发エリア	300m 
 警察署  交番	500m 
 車上狙い多发エリア マップ上には表示されません	車上狙い多发エリア内で停車 車上狙い多发エリア 
 踏切	200m 
 高速道 急カーブ / 連続カーブ マップ上には表示されません	カーブにさしかかったら 
 高速道 分岐 / 合流ポイント マップ上には表示されません	分岐にさしかかったら  合流にさしかかったら 

ターゲットの種類	お知らせするタイミング（距離の目安）
 ETC レーン マップ上には表示されません	ETC レーンにさしかかったら  ETC レーンお知らせ
 サービスエリア  パーキングエリア  ハイウェイオアシス	1km  お知らせ スマートインターチェンジお知らせ ガステーションお知らせ 
 高速道 長い / 連続トンネル	500m  お知らせ 
 道の駅  ビューポイント パーキング	1km  お知らせ 
 ハイウェイラジオ 受信エリア	 受信エリアお知らせ 
 県境告知 マップ上には表示されません	 県境お知らせ 
 消防署	ターゲットに近づくときメッセージウィンドウとマップ上でのアイコンで表示します。 ※ 音声ではお知らせしません。
 公衆トイレ	ターゲットに近づくときメッセージウィンドウとマップ上でのアイコンで表示します。 ※ 音声ではお知らせしません。

ターゲットの種類	お知らせするタイミング (距離の目安)
 充電ステーション	100m  お知らせ
 (駐車禁止エリア付近) 駐車場	ターゲットに近づくとメッセージウィンドウとマップ上でのアイコンで表示します。 ※ 音声ではお知らせしません。

※ 普通自動車の制限速度でお知らせします。

※ トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスは直前走行速度告知を行いません。

※ トンネル出口ターゲットと制限速度が登録されていない場合は制限速度告知を行いません。

※ 事故や天候、時間帯などによって変更される制限速度には対応しておりません。

※ 本機に登録されている検問エリア / 取締エリアは過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。

レーザー式取締について

1. レーザー光受光機能について

本機は背面にあるレーザー受光部に、レーザー光を受光すると警報します。

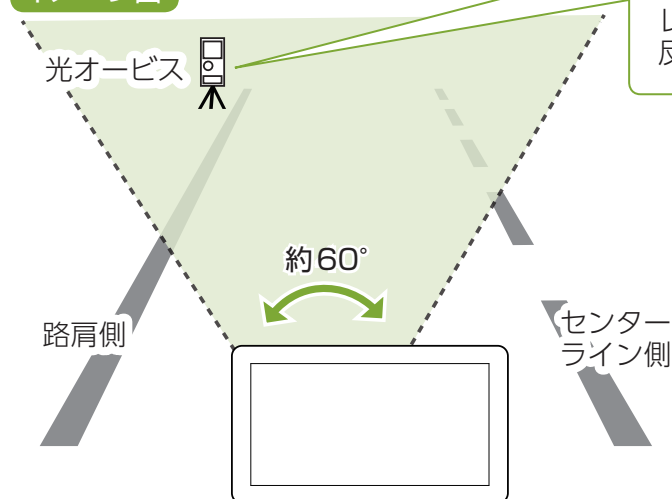
※ レーザー受光部に受光しないと警報しません。取り付け位置や環境などによって受光できない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

⚠ 注意

- 一部の車種に採用されている UV、IR カットガラスのなかに、レーザー光の透過率が低く取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受光できない場合があります。
- レーザー式車両検知器 / 自動車用先進運転支援システムの周辺では取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受光できない場合があります。
- 取締レーザー光以外でも以下の周辺では反応する場合がありますが、これは誤動作ではありませんのでご了承ください。(レーザー式車両検知器 / 自動車用先進運転支援システムの一部)
- 本体の背面は進行方向に向けてください。進行方向以外に向けた場合、誤警報や警報しないことがあります。

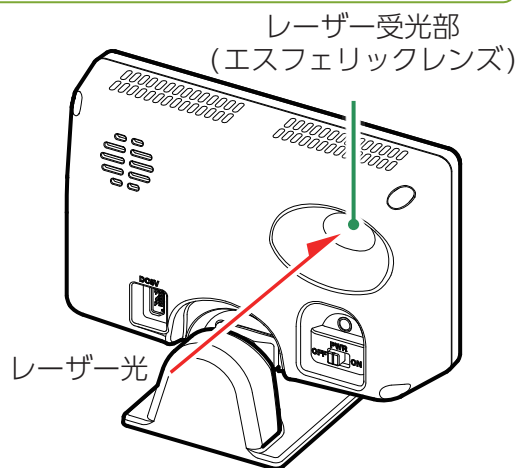
■ 探知範囲：水平約60°

イメージ図



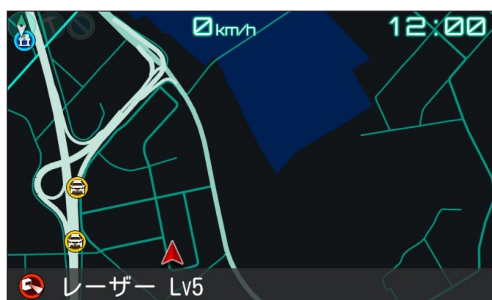
光オービス(新型レーザー式移動オービス)

レーザー光を対象の車両に向けて発射し、その反射光で速度を算出します。



レーザー光発信源の位置を表示することはできません。

レーザー光の受光を警報する画面は、レーザー光を受光したことを表示しています。発信源の位置や距離については表示されません。本機の近くで取締に關係するレーザー光が発光されていることを警報します。



< レーザー光受光時警報 >

取締レーダー波について

1. レーダー波5識別(iDSP)について

本機は、iDSP/ 統合的デジタル信号処理技術 (integrated Digital Signal Processing Technology) により、通常レーダー波、新型レーダー波、可搬式オービス MSSS を区別し、音声でお知らせします。また、ステルス型取締機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別してお知らせします。さらに、アイキャンセル (● P.89) により取締波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

※ 新 H システムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

2. 後方受信について

スーパーエクストラの超高感度受信により、後方からの取締レーダー波も受信が可能です。

3. 反対車線オービスキャンセル機能

[新 H システム] [レーダー式オービス] の反対車線で、レーダー波の受信機能をキャンセルします。

設定変更のしかた

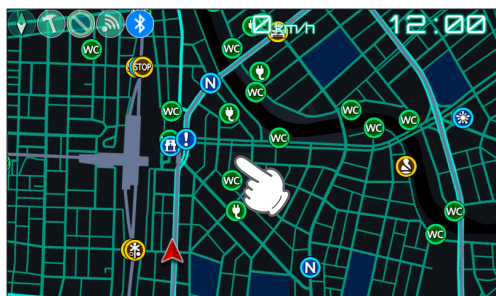
本機は、大きく分けて4つの設定を行うことができます。

画面の明るさなど本機に関わる設定を行う「システム」、警報に関わる機能に関する設定を行う「警報」、OBDIIアダプターなどオプション品(別売品)の設定を行う「オプション」、レイに関わる設定を行う「レイの部屋」があります。

1. 設定を変更する

例：明るさを変更する

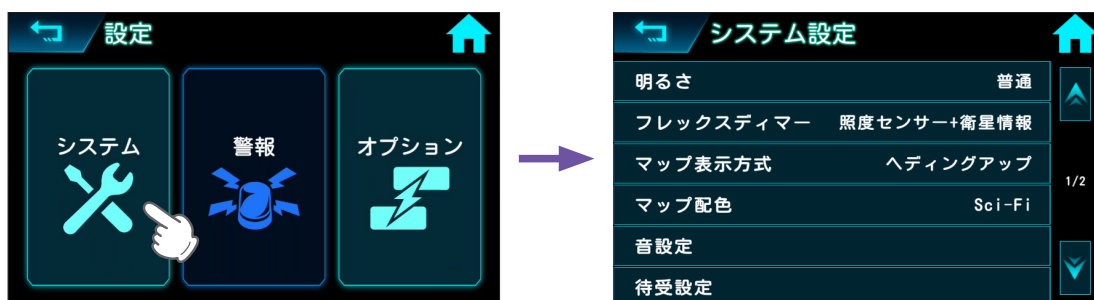
1-1 待受画面にタッチする



1-2 [設定]にタッチする

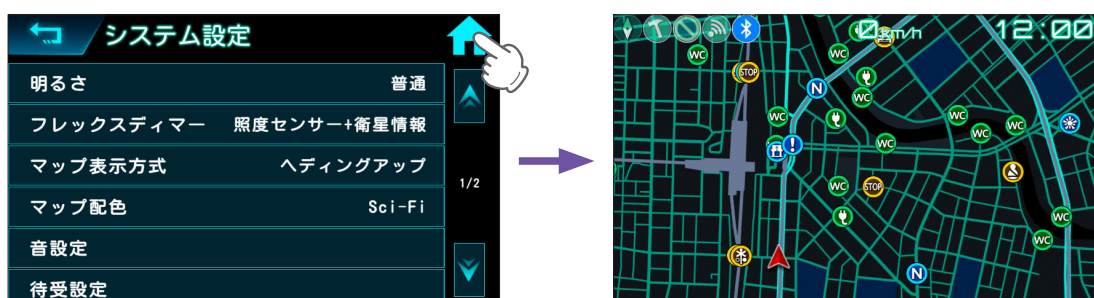


1-3 [システム]にタッチする



システム設定メニューを表示します。
変更したい項目にタッチして変更してください。

設定時、または設定完了後に[ホーム]ボタンにタッチすると待受画面に戻ります。



設定項目について

1. システム設定について

■ システム設定

★: 初期値

設 定	設定値	説 明
明るさ	暗い ★ 普通 明るい	画面の明るさを調整します。
フレックスディマー	衛星情報 ★ 照度センサー + 衛星情報 OBD イルミ連動	画面の明るさの切り替えを選択します。
マップ表示方式	ノースアップ ★ ヘディングアップ 3D	マップ表示を選択します。
マップ配色	AUTO 昼配色 夜配色 ★ Sci-Fi	地図表示の配色を選択します。
音設定	音声出力先 (★ 本体スピーカー)	音声出力先を選択します。
	操作音 (★ ON)	ON にすると操作時に音が出ます。
	時報 (★ ON)	ON にすると毎正時に時刻をお知らせします。
	リラックスチャイム (★ 2 時間)	休憩を促すアナウンス時間を選択します。
待受設定	待受変更 ★ マップ OBD1 OBD2 OBD3	待受画面を選択します。
	項目変更	OBD2 と OBD3 での表示項目を変更します。
WLAN	WLAN (★ OFF)	WLAN の ON/OFF を切り替えます。
	WLAN 接続先設定	WLAN 接続先を設定します。(P.71) ※ 一度設定しておけば以降は自動で接続します。
	WLAN 接続先情報	WLAN の接続先の情報を確認できます。(P.67)
	My Yupiteru 設定	登録してある My Yupiteru のアカウントの情報を本機に記憶させます。(P.75) ※ あらかじめパソコンなどで My Yupiteru のアカウント登録が必要です。
	手動ダウンロード	各データを手動でダウンロードします。(P.78)
	自動ダウンロード	各データを自動でダウンロードします。(P.77)
	スマホとペアリング(★) / スマホとのペアリング解除	スマホアプリ連携で使用するスマートフォンとのペアリング/ペアリング解除を行います。(P.96)
Bluetooth	Bluetooth (★ OFF)	Bluetooth の ON/OFF を切り替えます。
	ペア設定済みデバイス	本機とペアリング済みの Bluetooth スピーカーを表示します。
	新規ペアリング	新しい Bluetooth スピーカーとペアリングします。(P.79)
	本体情報	本機の Bluetooth デバイス名等の情報を表示します。

設 定	設定値	説 明
初期化*	—	各設定項目をお買い上げ時の状態にリセットします。 親密度などのレイモードのセーブデータもお買い上げ時の状態にリセットします。(P.83)
消去*	マイエリア キャンセルエリア	各データを消去します。マイエリア／キャンセルエリア(マイキャンセルエリア)を個別に消去できます。
認証とライセンス情報	—	本機の認証情報やライセンス情報を表示します。(P.10)
バージョン情報	—	本機データのバージョンを表示します。 ※ 公開取締情報のデータが入っていない場合空白になります。

※ 一度実行すると元に戻せませんのでご注意ください。

フレックスディマー (P.19)

衛星情報	衛星情報により画面明るさを切り替えます。
照度センサー＋衛星情報	照度センサーと衛星情報により画面明るさを切り替えます。
OBD イルミ連動	イルミ信号により明るさを切り替えます。 ※ [OBD イルミ連動] は OBD II アダプターによる接続でイルミの情報が取得できる車両にのみ有効です。

マップ表示方式 (P.48)

ノースアップ	常に北が上の状態で地図が表示されます。
ヘディングアップ	常に進行方向が上の状態で地図が表示されます。
3D	3D で地図が表示されます。

マップ配色 (P.48)

AUTO	日の出～日没までは [昼配色]、日没～日の出と照度センサーで暗いと判断された場合は [夜配色] になります。
昼配色	常に [昼配色] (白基調) の状態で地図が表示されます。
夜配色	常に [夜配色] (黒基調) の状態で地図が表示されます。
Sci-Fi	Sci-Fi 表示になります。

音声出力先

本体スピーカー	本体スピーカーより音声を出します。
Bluetooth スピーカー	Bluetooth 接続したスピーカーより音声を出します。
ADP02	OP-ADP02 で接続したスピーカーより音声を出します。

リラクスクスチャイム

30 分 / 1 時間 / 2 時間	設定時間おきに、休憩を促すアナウンスをします。
OFF	休憩を促すアナウンスを行いません。

WLAN 接続先情報

接続先	現在接続しているアクセスポイント名 (SSID) を表示します。
受信強度	現在の受信強度を表示します。
セキュリティ	現在の接続のセキュリティが有効か無効かを表示します。
サーバー接続	インターネット接続の成功 / 失敗を表示します。
IP アドレス	本機に割り当てられている IP アドレスを表示します。
MAC アドレス	本機無線 LAN の物理アドレスを表示します。 アクセスポイントで MAC アドレスによる接続制限を設定してある場合は、この値をアクセスポイント側で許可してください。

2. 警報設定について

■ 警報設定

★：初期値

設 定	設定値	説 明
警報モード (P.84)	ノーマル ミニマム スペシャル ★ オールオン カスタム	本機の警報モードを選択します。 ※ [カスタム] に設定すると個別に設定内容を変更できます。(P.86)
レーダー受信感度 (P.68)	OFF シティ エクストラ スーパーエクストラ ★ AAC/ASS AAC/SE AAC/CUSTOM	レーダーの受信感度を選択します。 ※ [AAC/CUSTOM] に設定すると個別に設定内容を変更できます。
レーダー受信 (P.69)	ON/AAC 有効 ★ ON/AAC 無効 OFF	レーダー受信時の警報条件を選択します。
道路選択 (P.69)	一般道 高速道 オール オート気圧なし ★ オート気圧あり	GPS 警報する道路を選択します。
公開取締情報	ON ★ OFF	公開取締情報の表示を切り替えます。 ※ [OFF] にした場合、公開取締情報は表示しません。

レーダー受信感度

※ 受信感度が高いほど遠くの電波を受信できますが、取締レーダー波と同じ他の電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて受信感度をお選びください。

OFF	レーダー受信警報を行いません。
シティ	市街地 (低感度)
エクストラ	郊外や高速道路 (中感度)
スーパーエクストラ	高速道路 (高感度)
AAC/ASS	走行速度によって受信感度が変化します。
	0km/h~29km/h …… 警報しません。
	30km/h~39km/h …… [シティ] になります。
	40km/h~79km/h …… [エクストラ] になります。
AAC/SE	80km/h~ …… [スーパーエクストラ] になります。
	※ 電源 ON 後、GPS 測位するまでの間はスーパーエクストラになります。
	※ 走行中に GPS 測位ができなくなると、常に「警報する」状態になり、時間経過でスーパーエクストラに変化します。(別売品の OBD II アダプター (P.12) で接続されている場合を除く。)
	※ ゾーン 30 エリア内では、走行速度に関係なくスーパーエクストラになります。
AAC/SE	走行速度によって受信感度が変化します。
	0km/h~29km/h …… 警報しません。
	30km/h~ …… [スーパーエクストラ] になります。
	※ GPS 測位できない状態では、走行速度に関係なくスーパーエクストラに固定されます。(別売品の OBD II アダプター (P.12) で接続されている場合を除く。)
	※ ゾーン 30 エリア内では、走行速度に関係なくスーパーエクストラになります。

AAC/CUSTOM	警報する走行速度、受信レベルをそれぞれ設定できます。
	警報速度：レーダー受信警報を行う速度を設定します。 0km/h 以上、10km/h 以上、20km/h 以上、30km/h 以上、40km/h 以上、50km/h 以上、60km/h 以上、70km/h 以上、80km/h 以上、90km/h 以上、100km/h 以上から設定します。 警報レベル：レーダー受信警報を行う受信レベルを設定します。 ALL …………… レベル 1 以上 (全て) で警報します。 レベル 2 以上 … レベル 2~5 で警報します。 レベル 3 以上 … レベル 3~5 で警報します。 レベル 4 以上 … レベル 4~5 で警報します。 レベル 5 のみ … レベル 5 のみで警報します。 ※ GPS 測位できない状態では、走行速度に関係なく設定した受信レベル以上になると警報します。 (別売品の OBDII アダプター (P.12) で接続されている場合を除く。) ※ 受信感度はスーパーエクストラになります。

AAC/ 不要警報カット

走行速度が 30km/h 未満はレーダー波の受信警報をカットします。停車中や低速走行中に自動ドアなどの電波を受信しても誤警報することはありません。

ASS/ 最適感度選択

走行速度に合わせて最適な受信感度を自動的に選択します。

※ GPS 測位機能 (別売品の OBDII アダプター (P.12) で接続されている場合は、OBDII 車速検知) により AAC/ 不要警報カットや ASS/ 最適感度選択がはたります。

レーダー受信

ON/AAC 有効 ON/AAC 無効	ON/AAC 有効 … 時速 30km/h 以上の時に警報を行います。 ON/AAC 無効 … 全ての速度で警報を行います。 ※ 電源 ON 後、GPS 測位するまでの間は AAC 無効になります。 ※ 走行中に GPS 測位ができなくなると、常に「警報する」状態になります。(別売品の OBD II アダプター (P.12) で接続されている場合を除く。) ※ ゾーン 30 エリア内では走行速度に関係なく AAC 無効になります。
OFF	レーダー受信警報を行いません。

道路選択

一般道	一般道のターゲットのみ警報します。
高速道	高速道のターゲットのみ警報します。
オール	一般道および高速道のすべてのターゲットを警報します。
オート気圧なし	走行道路 (一般道か高速道) を GPS の位置情報と気圧の変化で自動的に識別します。一般道と識別できたときは一般道のターゲットのみ警報し、高速道と識別できたときは高速道のターゲットのみ警報します。
オート気圧あり	※ 一般道と高速道が並行していたり交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道/高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。 ※ GPS 測位が困難な状況では、正しく識別できない場合があります。 ※ 高速道を走行している時間が短い場合は、高速道に識別されないことがあります。 ※ 渋滞等により高速道で低速走行もしくは停車している場合は、高速道に識別されません。

3. オプション設定について

OBD 設定

設 定	説 明
満タンスタート (P.90)	実走行による走行距離、給油量により燃費数値の精度を高めます。
満タン補正 (P.92)	満タンスタート後の実走行による走行距離、給油量の入力により燃費数値の精度が上がり、本機内に補正係数が登録されます。
係数補正 (P.93)	オールクリアをした場合に、以前算出した係数を入力することにより、満タンスタート・満タン補正が不要になります。
平均クリア	画面内の平均燃費の値をリセットします。満タン補正の直後に行うと、これまでの平均燃費がクリアされ新たに計算を開始します。 ※ 平均クリアを行っても、補正係数はクリアされません。
オールクリア	OBD II アダプターで受け取った車両に関する本機内の数値をリセットします。燃費の補正係数もクリアされるので満タンスタート・満タン補正を行わないと正確な燃費が表示されません。

■ DMS 設定

※ 別売品のわき見・居眠り運転警報器 (OP-EWS4) 接続時のみ表示されます。

★ : 初期値

設 定	設定値	説 明
居眠り検知 (P.36)	★ ON OFF	時速 10km/h 以上で目を閉じている状態を検知して警報を行います。
わき見検知 (P.36)	★ ON OFF	時速 10km/h 以上でわき見を検知したときに警報します。

WLAN 設定 (無線 LAN) について

本機は無線 LAN を内蔵しています。無線 LAN 接続にはあらかじめ WLAN 接続先設定と My Yupiteru 設定 (☞ P.75) の設定が必要になります。本機に WLAN 機器 (接続先) を登録するには、「新規登録 (☞ P.71)」と「手動登録 (☞ P.73)」の 2 種類があります。いずれかの方法で登録してください。

※ 本機を廃棄や譲渡する際は初期化を行い、WLAN 接続先情報と MyYupiteru 設定を削除してください。設定が残っていると悪用されるおそれがあります。(☞ P.83)

※ 接続先は 6 件まで登録できます。

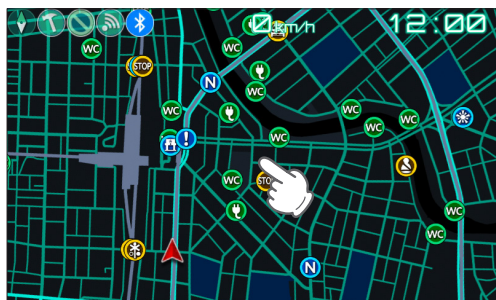
※ 本機は公衆無線 LAN (Free Wi-Fi 等) に接続はできますが、サービスを利用する際に必要なログイン画面の表示ができません。接続はできてもデータ通信ができないため、公開取締情報等のダウンロードはできません。

※ アクセスポイントの SSID 名に「ひらがな」が含まれていると、接続できない場合があります。

※ テザリングを有効にしたスマートフォンと接続することもできます。

1. 新規登録(検索)

1-1 待受画面にタッチする



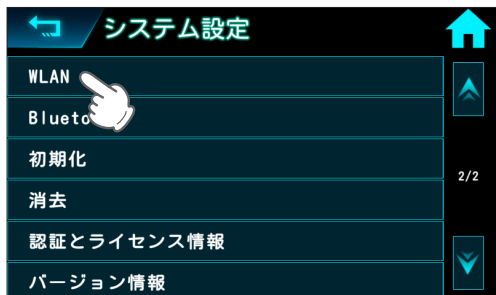
1-2 [設定] にタッチする



1-3 [システム] にタッチする



1-4 [WLAN] にタッチする



1-5 WLAN を ON にする



トグルボタンにタッチすると WLAN 機能が ON します。

1-6 [WLAN 接続先設定] にタッチする



1-7 [新規登録] にタッチする

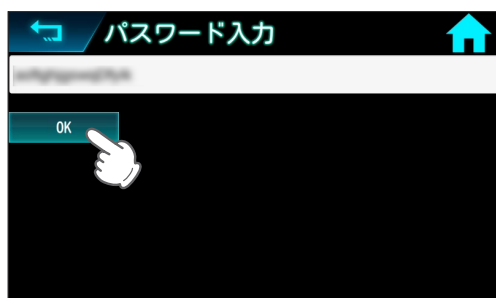


1-8 接続したい SSID にタッチする

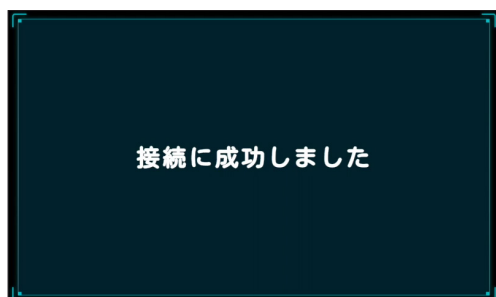


アクセスポイントが SSID 非公開の場合は前の画面に戻り、[手動登録] にタッチして SSID を入力してください。

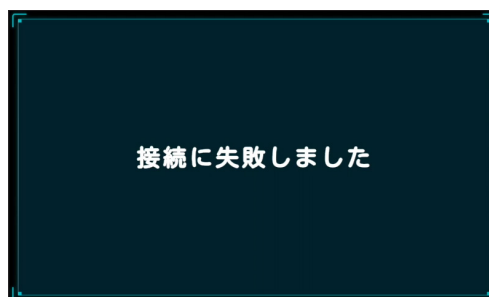
1-9 パスワードを入力し、[OK] にタッチする



接続結果が表示されます。



< 成功した場合 >



< 失敗した場合 >

※ 失敗した場合は再度、新規登録を行ってください。

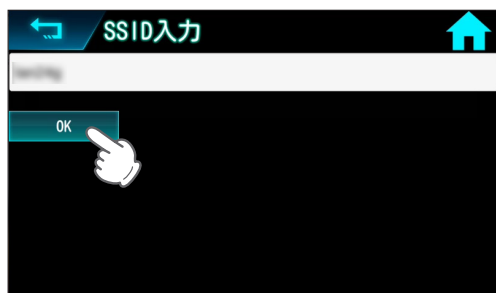
2. 手動登録

2-1 [WLAN 接続先設定] を表示する(☞ P.71 手順 [1-1 ~ 1-6])

2-2 [手動登録] にタッチする



2-3 SSID を入力し、[OK] にタッチする



2-4 パスワードを入力し、セキュリティの種類を選択後、[OK] にタッチする



3. 削除

3-1 [WLAN 接続先設定] を表示する(☞ P.71 手順 [1-1 ~ 1-6])

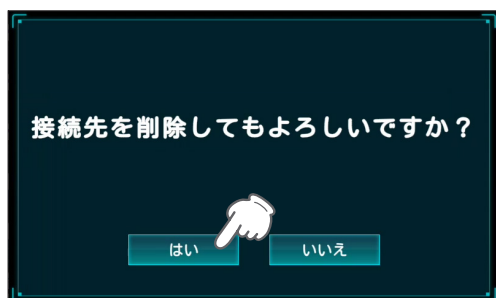
3-2 [削除] にタッチする



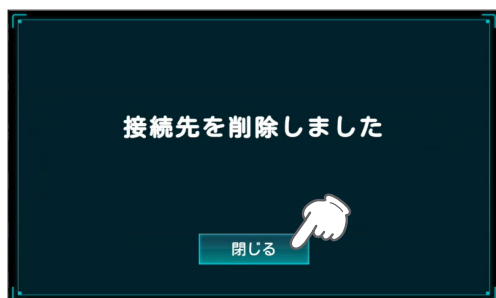
3-3 削除したいアクセスポイントにタッチする



3-4 [はい] にタッチする



3-5 [閉じる] にタッチする



4. My Yupiteru 設定

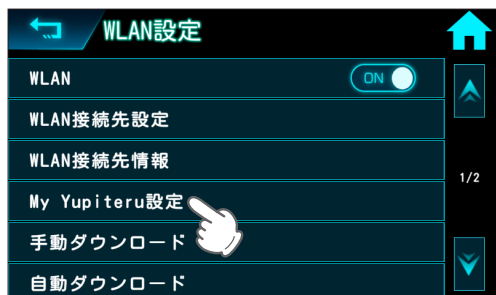
ID パスワードを入力して、My Yupiteru にログインします。

※ My Yupiteru のアカウント登録は、あらかじめパソコンなどを使用して行っておく必要があります。本機での登録は行えません。

※ 機種登録があっても無料会員の場合は、「データ更新プラン：無効」と表示されますのでご注意ください。

4-1 [WLAN 設定] を表示する(☛ P.71 手順 [1-1 ~ 1-5])

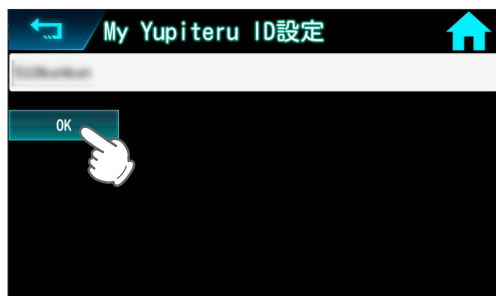
4-2 [My Yupiteru 設定] にタッチする



4-3 [ID 設定] にタッチする



4-4 My Yupiteru の ID を入力し [OK] にタッチする



4-5 [パスワード設定] にタッチする



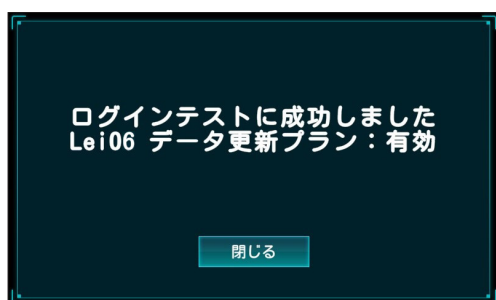
4-6 My Yupiteru のパスワードを入力し [OK] にタッチする



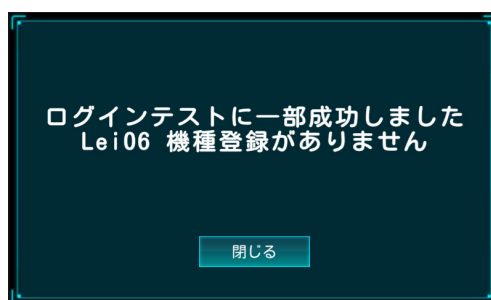
4-7 [ログインテスト] にタッチする



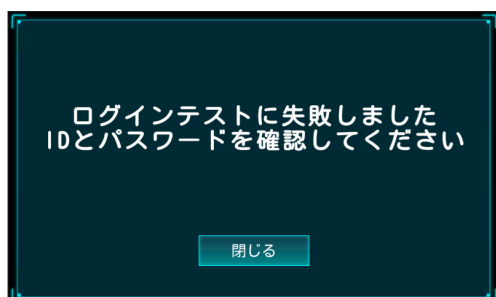
4-8 接続結果を確認する



<My Yupiteru 有料会員の場合>



<My Yupiteru 有料会員ではない場合>



<ログインテスト失敗の場合>

※ 失敗した場合は、My Yupiteru の ID とパスワードを確認し、再度ログインテストを行ってください。

データのダウンロードについて

※ あらかじめ無線 LAN(WLAN) 接続の準備を行ってください。(☛ P.71)

1. 自動ダウンロード

あらかじめダウンロードする項目を設定しておくことで、WLAN 接続が確立されていれば電源 ON のたびに、ダウンロードサーバーに最新のデータの有無を確認し、最新のデータがあればダウンロードを行います。

1-1 [WLAN 設定] を表示する(☛ P.71 手順 [1-1 ~ 1-5])

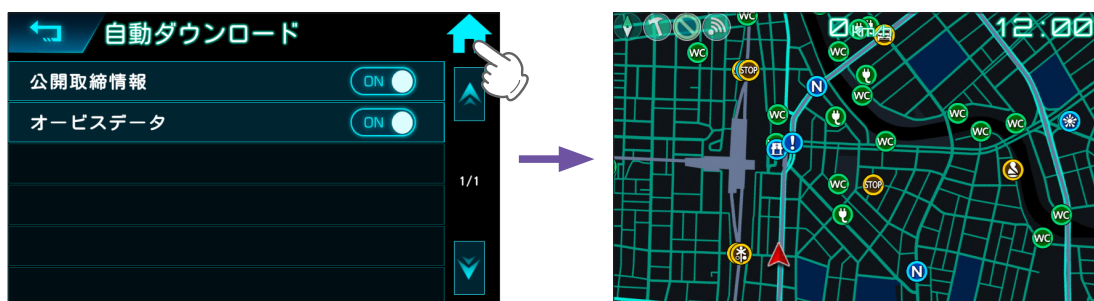
1-2 [自動ダウンロード] にタッチする



1-3 自動でダウンロードしたい項目のトグルボタンを ON にする



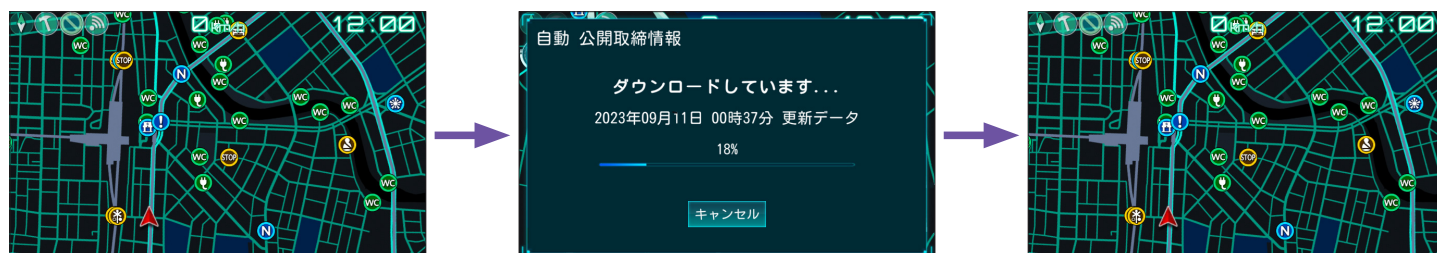
1-4 ホームボタンにタッチする



待受画面を表示します。

■ データの更新

最新のデータがある場合、自動でダウンロードを開始します。終了後は自動で元の画面に戻ります。



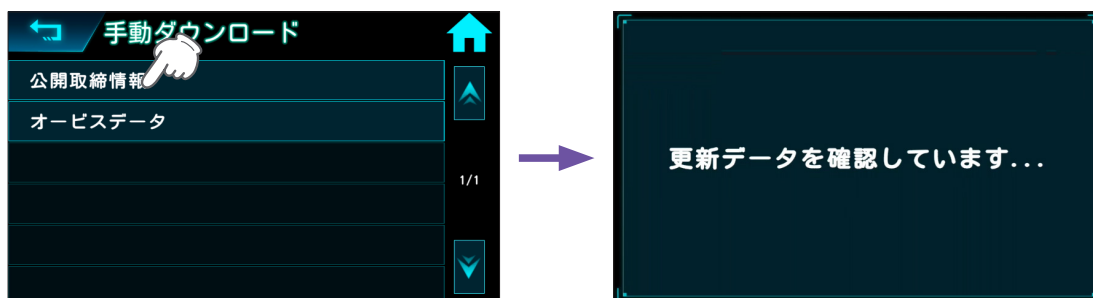
2. 手動ダウンロード

2-1 [WLAN 設定] を表示する (☛ P.71 手順 [1-1 ~ 1-5])

2-2 [手動ダウンロード] にタッチする



2-3 ダウンロードしたい項目にタッチする



最新のデータがある場合、自動でダウンロード画面に移行します。

■ ダウンロード項目

項 目	ダウンロード制限	手動 (☛ P.78)	自動 (☛ P.77)
公開取締役情報	制限なし	○	○
オービスデータ※	My Yupiteru 有料会員のみ (ご利用機種での ity クラブの加入も必要です)	○	○

※ My Yupiteru ID とパスワードが設定されていない場合は、オービスデータはダウンロードできません。

Bluetooth[®] について

本機は Bluetooth を内蔵しています。市販の Bluetooth スピーカー等と接続することで、本機の音声を外部スピーカーで聞くことができます。ペアリング後は本機と自動接続されます。

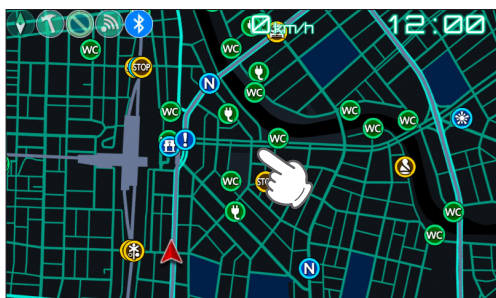
※ Bluetooth スピーカーは、最大 2 台まで登録できます。

※ ヘッドセットやヘッドホンには対応していません。

1. Bluetooth スピーカーとペアリングする

新しい Bluetooth スピーカーを本機に登録します。一度ペアリングを行えば、次回起動時にペアリングの必要はありません。

1-1 待受画面にタッチする



1-2 [設定] にタッチする



1-3 [システム] にタッチする



1-4 [Bluetooth] にタッチする



1-5 Bluetooth を ON にする



トグルボタンにタッチすると Bluetooth 機能が ON します。

1-6 [新規ペアリング] にタッチする

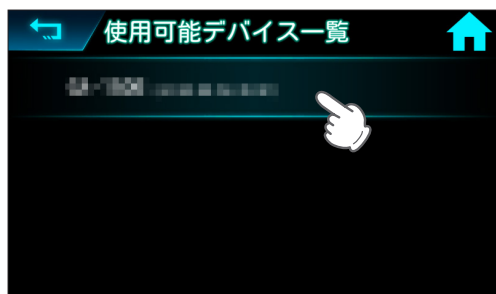


「ペア設定済みデバイスが一杯です」と表示された場合は、ペアリング済みの Bluetooth スピーカーの接続を削除してから (P.82)、再度ペアリングを行ってください。

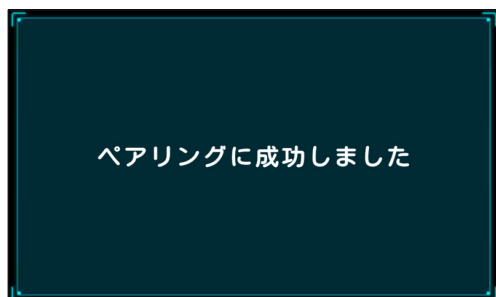
1-7 接続先の機器をペアリング待機状態にする

ご使用の機器の取扱説明書をご確認ください。

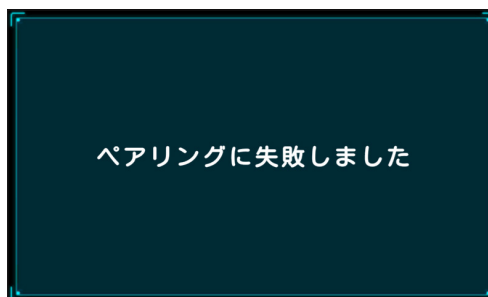
1-8 接続先の機器をタッチする



ペアリングの結果が表示されます。



< 成功した場合 >



< 失敗した場合 >

ペアリング成功後、音声出力先は自動で [Bluetooth スピーカー] に切り替わり、接続した Bluetooth スピーカーから音声が出力されます。

2. 接続先 Bluetooth スピーカーを切り替える

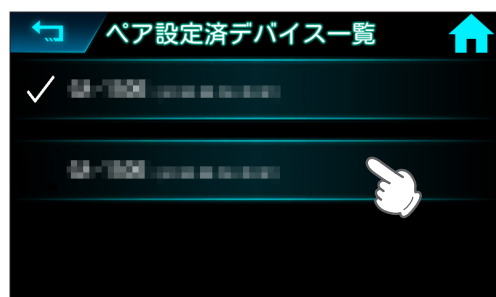
複数の Bluetooth スピーカーをペア設定しているときに接続先を切り替えます。

2-1 [Bluetooth] を表示する(☛ P.79 手順 [1-1 ~ 1-4])

2-2 [ペア設定済みデバイス] にタッチする



2-3 切換先の Bluetooth スピーカーにタッチする

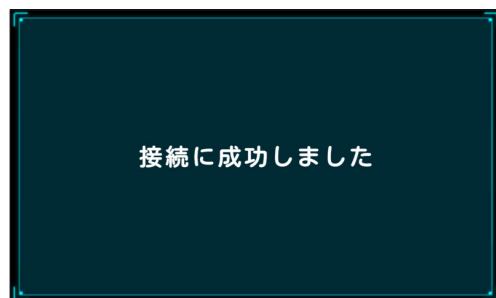


現在接続している Bluetooth スピーカーには✓が付いています。

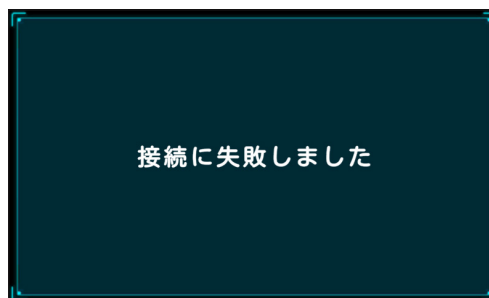
2-4 [接続] にタッチする



接続結果が表示されます。



< 成功した場合 >



< 失敗した場合 >

接続成功後、音声出力先は自動で [Bluetooth スピーカー] に切り替わり、接続した Bluetooth スピーカーから音声が出力されます。

3. Bluetooth スピーカーとの接続を解除 / 削除する

接続済み Bluetooth スピーカーとの接続を解除、または削除を行います。

接続解除：一時的に切断します。接続情報は残りますので、ペアリング操作なしで再度接続できます。

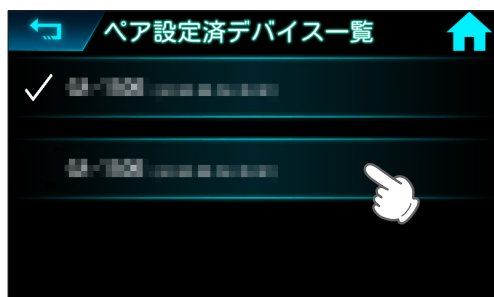
接続削除：接続情報を削除します。再度接続する場合は、ペアリング操作が必要です。

3-1 [Bluetooth] を表示する(☛ P.79 手順 [1-1 ~ 1-4])

3-2 [ペア設定済みデバイス] にタッチする



3-3 接続を解除、または削除する Bluetooth スピーカーにタッチする



現在接続している Bluetooth スピーカーには✓が付いています。

3-4 [接続解除]、または[削除]にタッチする

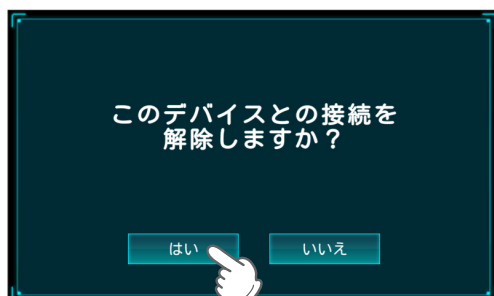


< 接続解除の場合 >

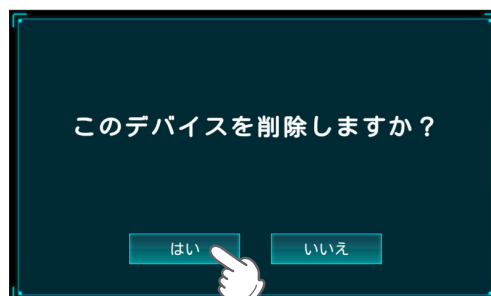


< 接続削除の場合 >

3-5 [はい] にタッチする



< 接続解除の場合 >



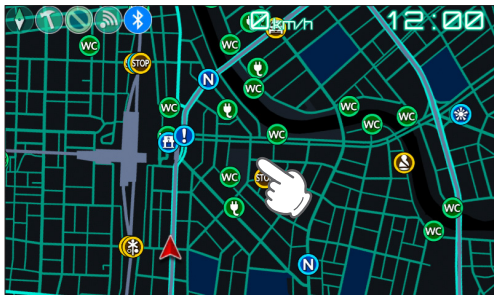
< 接続削除の場合 >

初期化する

各設定項目とレイモードの親密度などのセーブデータをお買い上げ時の状態にリセットします。

1. 初期化する

1-1 待受画面にタッチする



1-2 [設定] にタッチする



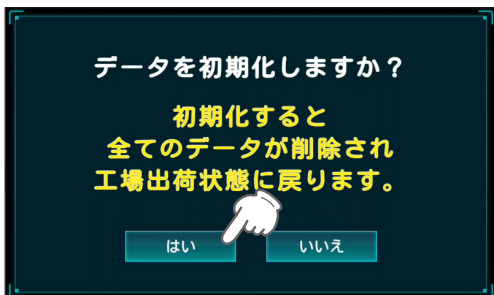
1-3 [システム] にタッチする



1-4 [初期化] にタッチする



1-5 [はい] にタッチする



初期化が完了すると自動的に本機が再起動します。

警報モードについて

本機には、プリセットが 4 種類（「ノーマル」、「ミニマム」、「スペシャル」、「オールオン」）と、お好みにより機能を個別に設定できる「カスタム」が用意されています。

★：初期値

種 類	説 明
ノーマル	機能同士のバランスを重視したモードです。
ミニマム	レーダー、GPS すべてにおいて最低限の項目だけを ON に設定しています。
スペシャル	取締に関する項目を重視した内容に設定されています。
★ オールオン	すべての機能を ON に設定しています。
カスタム	項目別に ON/OFF を設定できます。

■ 項目一覧

項 目		ノーマル	ミニマム	スペシャル	オールオン (初期値)	カスタム	ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。				設定内容を変更できます。	
オービス	レーダー	ON	ON	ON	ON	ON	58
	ループコイル	ON	ON	ON	ON	ON	
	H システム	ON	ON	ON	ON	ON	
	LH システム	ON	ON	ON	ON	ON	
	レーザー	ON	ON	ON	ON	ON	
取締 エリア	速度取締エリア	レベル 3 以上	OFF	ALL	ALL	OFF	
	移動オービス取締 エリア	レベル 3 以上	OFF	ALL	ALL	OFF	
	追尾式取締エリア	レベル 3 以上	OFF	ALL	ALL	OFF	
	一時停止取締エリア	レベル 3 以上	OFF	ALL	ALL	レベル 3 以上	
	交差点取締エリア	レベル 3 以上	OFF	ALL	ALL	OFF	
	その他エリア	レベル 3 以上	OFF	ALL	ALL	OFF	
検問 エリア	シートベルト検問	レベル 3 以上	OFF	ALL	ALL	OFF	
	携帯電話検問	レベル 3 以上	OFF	ALL	ALL	OFF	
	飲酒検問	レベル 3 以上	OFF	ALL	ALL	OFF	
	その他検問	レベル 3 以上	OFF	ALL	ALL	OFF	
直前速度告知		ON	ON	ON	ON	ON ^{※1}	
通過告知		ON	ON	ON	ON	ON ^{※1}	
制限速度告知		ON	ON	ON	ON	ON ^{※1}	
制限速度切替告知		ON	ON	ON	ON	ON ^{※1}	
速度超過告知		ON	ON	ON	ON	ON ^{※1}	
要注意 ポイント	交差点監視ポイント	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	信号無視抑止 システム	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	高速交通警察隊	ON	OFF	ON	ON	OFF	
	駐禁最重点・ 重点エリア	ON	OFF	ON	ON	OFF	
	一時停止注意 ポイント	OFF	OFF	OFF	ON	ON	
	ゾーン 30	ON	OFF	ON	ON	OFF	
	ラウンドアバウト	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	要注意踏切	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	逆走注意ポイント	ON	OFF	ON	ON	OFF	

項 目		ノーマル	ミニマム	スペシャル	オールオン (初期値)	カスタム	ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。				設定内容を変更できます。	
告知・ 情報	N システム	OFF	OFF	ON	ON	OFF	58
	交通監視システム	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	事故多発エリア	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	警察署	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	交番	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	車上狙いエリア	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	踏切	OFF	OFF	OFF	ON	ON	
	高速道 急カーブ / 連続カーブ	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	高速道 分岐 / 合流ポイント	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	ETC レーン	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	高速道 長い / 連続トンネル	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ビューポイント パーキング	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ハイウェイラジオ 受信エリア	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	県境	ON	ON	ON	ON	ON	
	駐車禁止エリア付近 駐車場	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	消防署	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	公衆トイレ	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	充電ステーション	OFF	OFF	OFF	ON※ ²	OFF	
	SA	OFF	OFF	OFF	ON	ON※ ¹	
	PA	OFF	OFF	OFF	ON	ON※ ¹	
	ハイウェイオアシス	OFF	OFF	OFF	ON	ON※ ¹	
	道の駅	OFF	OFF	OFF	ON	ON※ ¹	
	ガソリンスタンド	OFF	OFF	OFF	ON	ON※ ¹	
	スマート IC	OFF	OFF	OFF	ON	ON※ ¹	
その他	マイエリア	ON	ON	ON	ON	OFF	44
	キャンセルエリア	ON	ON	ON	ON	OFF	45
	I キャンセル	ON	ON	OFF	ON	ON	89
	I キャンセルフレーズ	OFF	OFF	OFF	OFF※ ³	OFF	
	反対キャンセル	ON	ON	OFF	ON	ON※ ¹	64
	GPS 測位 / 非測位フレーズ	ON	ON	ON	ON	ON	17

※ 1: カスタムでは変更できないため、カスタム詳細設定画面で項目は表示されません。

※ 2: オールオンでは、アイコンのみ表示されます。

※ 3: オールオンでも、OFF になります。

カスタム詳細設定について

※ 警報モードの [カスタム] (P.68) 選択時に表示されます。

■ カスタム詳細設定

★: カスタムモード初期値

設 定	項 目	設定値	説 明
オービス	レーダー	★ ON OFF	設置式の速度取締装置 [ループコイル] [新 H システム] [LH システム] [レーダー式オービス] [レーザー式オービス] が接近したときに警報します。
	ループコイル	★ ON OFF	
	H システム	★ ON OFF	
	LH システム	★ ON OFF	
	レーザー	★ ON OFF	
取締エリア	速度取締エリア	ON ★ OFF	過去に取締が行われていた場所 [移動オービス] [速度取締] [交差点取締] [その他取締] に接近したときに警告します。
	移動オービス取締エリア	ON ★ OFF	
	追尾式取締エリア	ON ★ OFF	
	一時停止取締エリア	★ ON OFF	
	交差点取締エリア	ON ★ OFF	
	その他エリア	ON ★ OFF	
検問エリア	シートベルト検問	ON ★ OFF	過去に検問が行われていた場所 [シートベルト検問] [携帯電話検問] [飲酒検問] [その他の検問] に接近したときに警告します。
	携帯電話検問	ON ★ OFF	
	飲酒検問	ON ★ OFF	
	その他検問	ON ★ OFF	
要注意ポイント	交差点監視ポイント	ON ★ OFF	注意すべき交差点に接近したときにお知らせします。
	信号無視抑止システム	ON ★ OFF	信号無視抑止システムが設置されている交差点に接近したときにお知らせします。
	高速交通警察隊	ON ★ OFF	高速交通警察隊の待機所が接近したときにお知らせします。
	駐禁最重点・重点エリア	ON ★ OFF	本機に登録されている違法駐車取締ガイドラインの最重点地域・重点地域内で停車したときにお知らせします。
	一時停止注意ポイント	★ ON OFF	東京 23 区、名古屋市内、大阪市内の一時停止注意ポイントに接近したときにお知らせします。
	ゾーン 30	ON ★ OFF	ゾーン 30 エリアに入ったときにお知らせします。
	ラウンドアバウト	ON ★ OFF	ラウンドアバウトに接近したときにお知らせします。

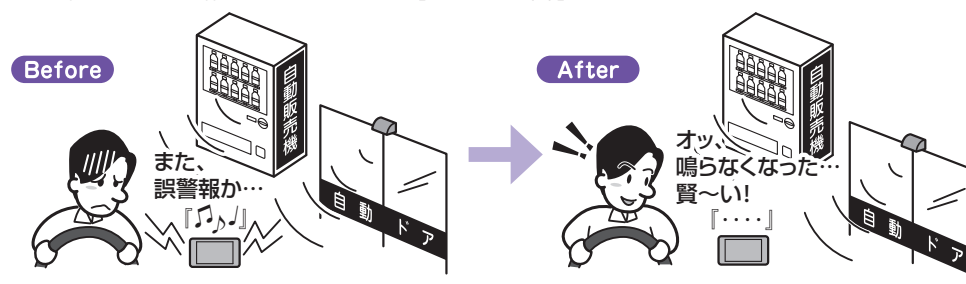
設 定	項 目	設定値	説 明
要注意 ポイント	要注意踏切	ON ★ OFF	開かずの踏切や事故多発踏切など改良すべき踏切に接近したときにお知らせします。
	逆走注意ポイント	ON ★ OFF	逆走注意ポイントに接近したときにお知らせします。(P.89)
告知・情報	N システム	ON ★ OFF	自動車ナンバー読み取り装置に接近したときにお知らせします。
	交通監視システム	ON ★ OFF	画像処理式交通流計測システムなどに接近したときにお知らせします。
	事故多発エリア	ON ★ OFF	本機に登録されている事故多発エリアに接近したときにお知らせします。
	警察署	ON ★ OFF	警察署に接近したときにお知らせします。
	交番	ON ★ OFF	交番に接近したときにお知らせします。
	車上狙いエリア	ON ★ OFF	本機に登録されている車上狙い多発エリア内で停車したときにお知らせします。
	踏切	★ ON OFF	踏切に接近したときにお知らせします。
	高速道 急カーブ / 連続カーブ	ON ★ OFF	高速道 急カーブ / 連続カーブに接近したときにお知らせします。
	高速道 分岐 / 合流ポイント	ON ★ OFF	高速道 分岐 / 合流ポイントに接近したときにお知らせします。
	ETC レーン	ON ★ OFF	ETC レーンに接近したときにお知らせします。
	高速道 長い / 連続トンネル	ON ★ OFF	高速道 長いトンネル / 連続トンネルに接近したときにお知らせします。
	ビューポイント パーキング	ON ★ OFF	ビューポイントパーキングに接近したときにお知らせします。
	ハイウェイラジオ 受信エリア	ON ★ OFF	ハイウェイラジオ受信エリアに接近したときにお知らせします。
	県境	★ ON OFF	県境に接近したときにお知らせします。
	駐車禁止エリア付近 駐車場	ON ★ OFF	駐車禁止エリア付近にある駐車場に接近したときにお知らせします。 画面のみでお知らせし、音声でのお知らせはありません。
	消防署	ON ★ OFF	消防署に接近したときにお知らせします。
	公衆トイレ	ON ★ OFF	公衆トイレに接近したときにお知らせします。
	充電ステーション	ON ★ OFF	充電ステーションに接近したときにお知らせします。

設 定	項 目	設定値	説 明
その他	マイエリア	ON ★ OFF	マイエリアに接近したときにお知らせします。 OFF の場合でも、アイコンは表示されたままになります。
	マイキャンセル	ON ★ OFF	マイキャンセルエリアに接近したときにお知らせします。 OFF の場合でも、アイコンは表示されたままになります。
	I キャンセル機能	★ ON OFF	I キャンセル機能の ON/OFF を設定します。
	I キャンセルフレーズ	ON ★ OFF	I キャンセルエリアに接近したときにお知らせします。
	GPS 測位 / 非測位フレーズ	★ ON OFF	GPS 測位、非測位時にお知らせします。

●Iキャンセル(アイキャンセル) [特許 第 3902553 号、第 4163158 号]

・Iキャンセルの仕組み

- ①取締レーダー波と同じ電波を受信すると警報。[1 回目]
- ②取締レーダー波かどうかを識別。
- ③誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
- ④同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。[2 回目以降]



登録数は、Iキャンセル、マイエリア、キャンセルエリアの合計で 10,000 箇所まで可能です。10,000 箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

※ GPS 測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。

※ Iキャンセルされないエリアでは、キャンセルエリアを合わせてご利用ください。

※ 自動登録したエリアは、Iキャンセルの設定や電源 OFF しても記憶されています。

※ 登録されたエリアをすべて消去したい場合は、[消去] ⇒ [キャンセルエリア] (P.67) を参照してください。

●逆走注意ポイント

過去に逆走が行われた場所の手前でお知らせします。



本機能は別売品の OBD II アダプターで接続することで、平均燃費の数値補正を行う事ができます。

※ 車種によっては OBD II アダプターで燃料の値を確認することができません。対応車種については店頭もしくは弊社ホームページより最新の OBD 適応表をご確認ください。

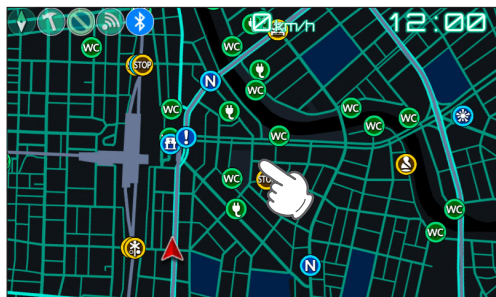
1. 満タンスタートをする

1-1 満タン給油する

油面の位置を覚えておいてください。

※ 燃料タンクの構造により給油停止後に油面が低下します。燃料の油面低下が止まった位置を覚えておいてください。
(車両によっては下がり方が遅く、また低下が大きい場合があります。)

1-2 待受画面にタッチする



1-3 [設定] にタッチする



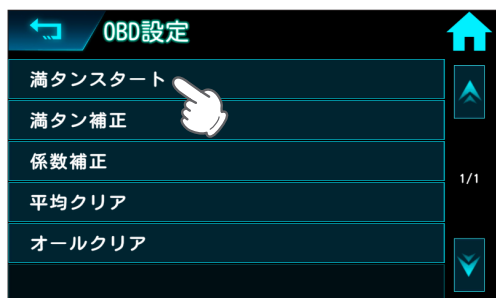
1-4 [オプション] にタッチする



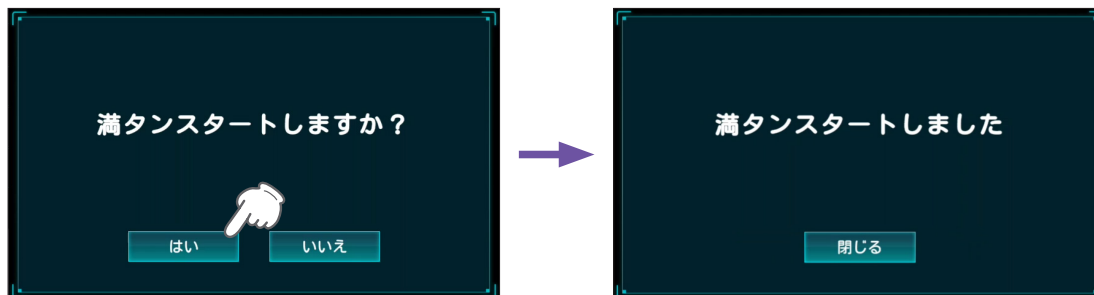
1-5 [OBD] にタッチする



1-6 [満タンスタート]にタッチする



1-7 [はい]にタッチする



※ [閉じる] にタッチしなくても数秒で画面を閉じます。

1-8 車両のトリップメーターをリセットし走行する

満タン補正進捗率が 100% になるまで走行してください。

※ 200 ～ 300km 程度の走行で 100% になります。

※ 満タンスタートは何度も行うことで補正精度は向上します。

※ 満タン補正進捗率が 100% になっても走行すれば、それだけ補正精度は向上します。

2. 満タン補正をする

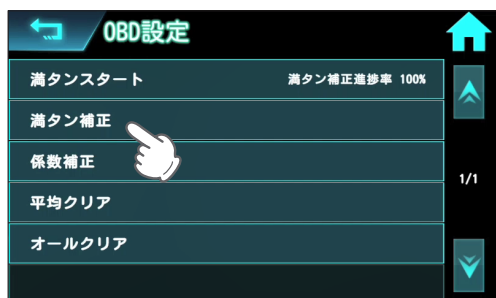
※ 満タン補正進捗率が 100%になってから満タン補正を行ってください。

2-1 満タン給油する

前回給油時の油面位置まで給油してください。

2-2 [OBD 設定] を表示する(P.90 手順 [1-2 ~ 1-5])

2-3 [満タン補正] にタッチする



2-4 [距離補正] にタッチする



トリップメーターの走行距離を入力し [OK] にタッチする。

2-5 [燃料補正] にタッチする

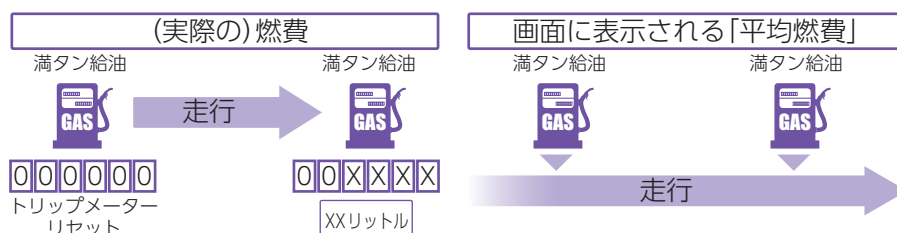


給油量を入力し [OK] にタッチする。

※ 給油量は給油伝票で確認してください。

※ 待受画面に戻る場合は、[OK] にタッチ後、[ホーム] ボタンにタッチしてください。

実際の燃料給油量と走行距離から計算した(実際の)燃費と画面の「平均燃費」は、計算を行う方法が異なりますので、必ず一致するということではありません。



3. 係数補正をする

OBD 情報オールクリア時や車両変更・機種変更時に行ってください。

燃費計算を行う上で本機内の係数となります。この画面に表示される「距離係数」と「燃料係数」をメモしておくことにより、これまでの燃料計算に戻すことができます。

※ 係数補正を行うことにより「満タンスタート」「満タン補正」が不要になります。(あらかじめ「満タンスタート」「満タン補正」を行って正確な補正係数を取得している場合に限る)

※ 他社製品に表示されていた、雑誌等に掲載されていた、ネットに掲載されていたなどの数値を入力した場合、正常な表示・演算がされないことがあります。

例：係数補正を行う場合

3-1 [OBD 設定] を表示する(☛ P.90 手順 [1-2 ~ 1-5])

3-2 [係数補正] にタッチする



距離補正、燃料補正にタッチし、それぞれの係数を入力してください。

完了するとより正確な数値に修正されます。

※ 燃料係数、距離係数はそれぞれ満タン補正画面の数値をメモし、入力してください。

※ 待受画面に戻る場合は、[OK] にタッチ後、[トップ] にタッチしてください。

本機能は Bluetooth スピーカー、または外部スピーカーから音声出力できます。
出力先の変更は下記の手順で行ってください。

※ 事前に各機器の接続、及び設定が必要です。Bluetooth スピーカーの接続、設定方法は P.79 を参照してください。
外部スピーカー (OP-ADP02 を使用) 接続方法は P.38 を参照してください。

選択している接続先の機器との接続が切れた場合、本体スピーカーからの出力に自動で切り替わります。別の機器が接続されている場合は、そちらに切り替わります。

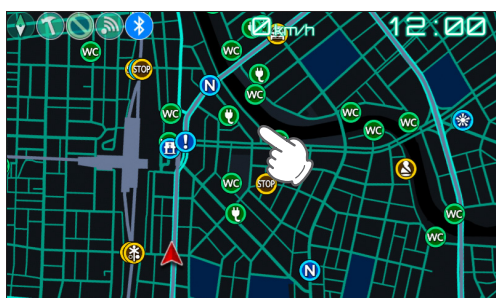
例：音声出力先が [Bluetooth スピーカー] で、Bluetooth スピーカーとの接続が切れた場合

OP-ADP02 接続有り：OP-ADP02 に接続されている外部スピーカーからの出力に切り替わる

OP-ADP02 接続無し：本体スピーカーからの出力に切り替わる

1. 音声出力先を変更する

1-1 待受画面にタッチする



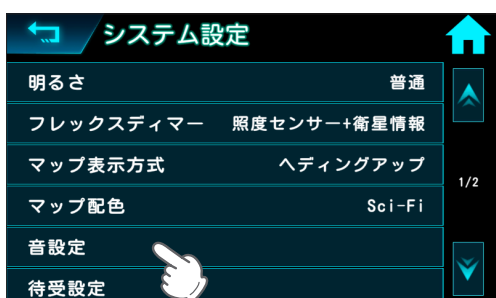
1-2 [設定] にタッチする



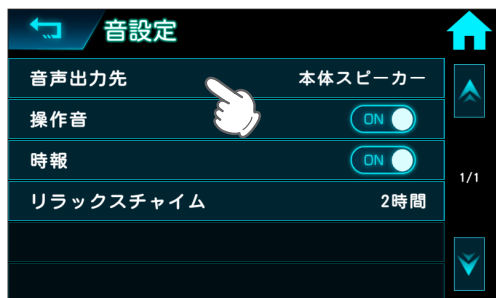
1-3 [システム] にタッチする



1-4 [音設定] にタッチする

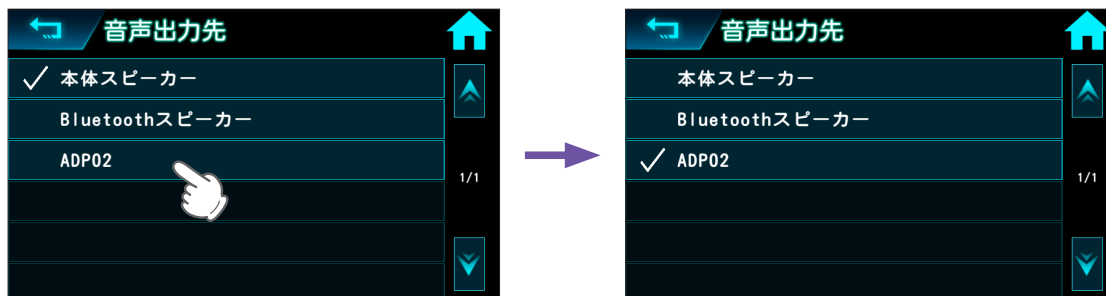


1-5 [音声出力先]にタッチする



※[音声出力先]は、Bluetooth スピーカー、または OP-ADP02 接続時のみ選択できます。

1-6 変更したい出力先にタッチする



※[Bluetooth スピーカー]、[ADP02]は、それぞれ Bluetooth スピーカー、OP-ADP02 接続時のみ選択できます。

スマホアプリ連携について

本機を専用アプリ「Lei06 Mobile」と連携すると、レイの部屋のギャラリー、クローゼットを、スマートフォンやタブレットで楽しむことができます。

※本書では、主に Android 端末で接続した場合の表示で記述しています。

※接続するスマートフォンの機種によっては、表示が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

※ペアリングや同期を行う際は、本機とスマートフォンを同一のネットワークに接続してください

※テザリングを有効にしたスマートフォンと接続することもできます。

※本機と同時にペアリングできるスマートフォンは1台のみです。

※モバイルルーターを使用する場合は、プライバシーセパレータ機能を OFF にしてください。

※専用アプリのご使用にはインターネット接続が必要です。専用アプリご使用時のパケット通信料はお客様のご負担となりますので、携帯電話会社が提供するパケット定額サービスへの加入を強くお勧めします。

※走行中は本機能を使用しないようにしてください。

※Bluetooth 接続で本機能を使用することはできません。

1. 専用アプリをインストールする

専用アプリ「Lei06 Mobile」をスマートフォンにインストールします。専用アプリのダウンロードは[こちら](#)から。



専用アプリのご使用には、各種権限を「許可 / ON」する必要があります。「許可しない / OFF」を選択した場合、スマートフォンの設定より権限を「許可 / ON」してください。

■ Android

- ・ ファイルとメディア
- ・ 付近のデバイス

■ iOS

- ・ 写真
- ・ ローカルネットワーク
- ・ 通知
- ・ モバイルデータ通信

2. 本機とスマートフォンを WLAN に接続する

本機とスマートフォンは同一のネットワークに接続してください。

2-1 本機を WLAN に接続する

「WLAN 設定 (無線 LAN) について」(P.71)を参照して、本機を WLAN に接続してください。

2-2 専用アプリをインストールしたスマートフォンを WLAN に接続する

本機を接続したネットワークにスマートフォンを接続してください。スマートフォンの操作方法については、ご使用の機器の取扱説明書をご参照ください。

3. ペアリング開始

専用アプリをインストールしたスマートフォンを本機に登録します。一度ペアリングを行えば、次回起動時にペアリングを行う必要はありません。

3-1 専用アプリを起動し、ペアリングを開始する



メニューにタッチする



[Lei06 と接続する]
にタッチする



[開始する] にタッチする

次に、本体側の操作を行ってください。専用アプリ側で案内が表示された場合は、内容に従って操作してください。

3-2 本体で [WLAN 設定] を表示する(☛ P.71 手順 [1-1 ~ 1-4])

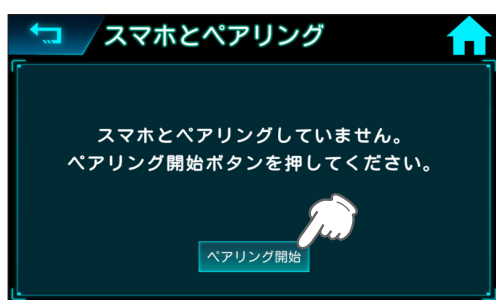
※ [WLAN] が OFF の場合は、ON にしてください。

※ アクセスポイントに接続していない場合は、手順 [1-6 ~ 1-9] を参照して、アクセスポイントに接続してください。

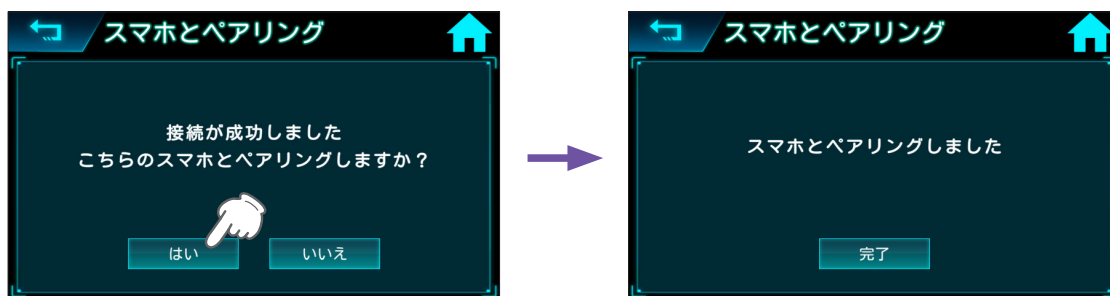
3-3 [スマホとペアリング] にタッチする



3-4 [ペアリング開始] にタッチする



3-5 [はい] にタッチする



次に、ギャラリーを表示するために、本体と専用アプリの同期を行ってください。

4. 本機と専用アプリを同期する

ギャラリーを表示するために、本機と専用アプリを同期します。

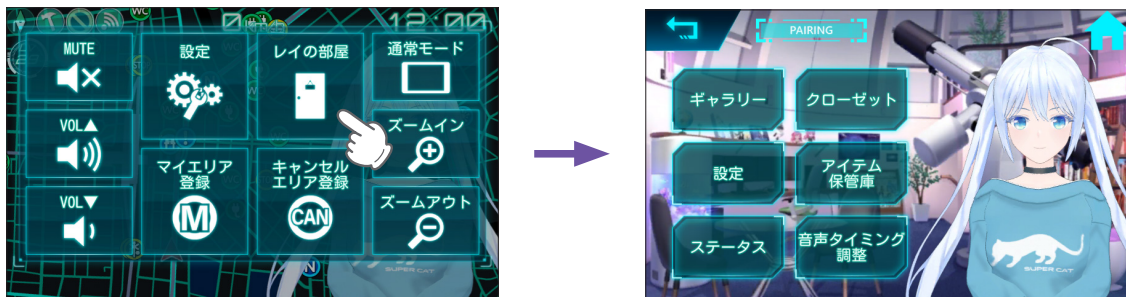
※ 本機でレイの部屋を表示していない場合、同期を行うことはできません。

※ 運転中の操作は行うことはできません。

4-1 本機の [WLAN] を ON にする(P.71 手順 [1-1 ~ 1-5])

※ アクセスポイントに接続していない場合は、手順 [1-6 ~ 1-9] を参照して、アクセスポイントに接続してください。

4-2 ジャンプウィンドウで [レイの部屋] にタッチして、レイの部屋を表示する



4-3 専用アプリを起動し、本体と同期する



5. ギャラリーを表示する

ギャラリーでフレーズやコスチュームを楽しむことができます。

※ ギャラリーを表示する際は、スマートフォンを本機と同一のネットワークに接続する必要はありません。

5-1 専用アプリでギャラリーを表示する



メニューにタッチする



[ギャラリー]にタッチする



ギャラリーを表示します

6. ペアリング解除

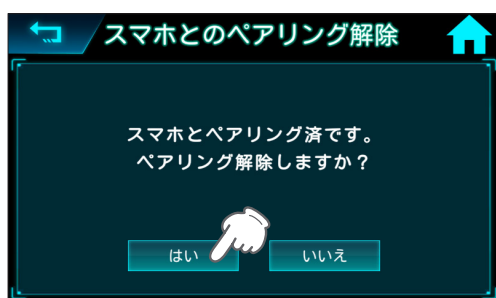
他のスマートフォンと接続する場合は、本機のペアリングの解除を行ってください。

6-1 本機で [WLAN 設定] を表示する (☛ P.71 手順 [1-1 ~ 1-4])

6-2 [スマホとのペアリング解除] にタッチする



6-3 [はい] にタッチする



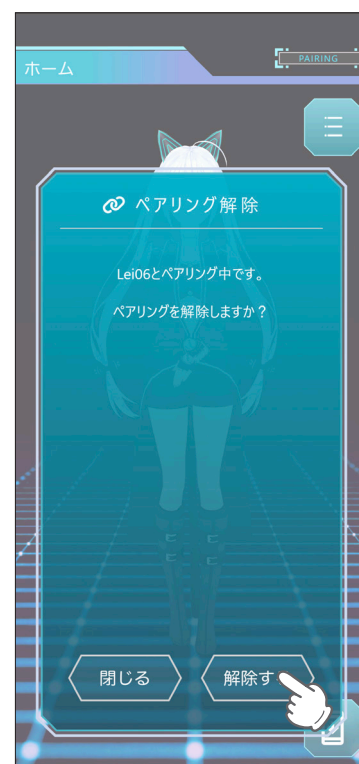
6-4 専用アプリを起動し、ペアリングを解除する



メニューにタッチする



[接続解除する] にタッチする



[解除する] にタッチする

レイの部屋について

起動画面やレイの表示の切り替え、Bluetooth 接続時の音声タイミング調整などを行うことができます。

※ レイの部屋には、レイモード時のみ入ることができます。

※ 音声タイミング調整は、Bluetooth ペアリング済みの場合のみ表示されます。

1. レイの部屋に入る

1-1 レイモードで待受画面にタッチする



1-2 [レイの部屋] にタッチする



項目	説 明
ギャラリー	レイがおしゃべりしたことのあるフレーズを聞くことができます。
クローゼット	レイをお好みの衣装に着替えることができます。
設定	起動画面やレイの表示の切り替え等を行います。
アイテム保管庫	獲得したアイテムを使うことができます。
ステータス	レベルなどのステータスを確認できます。
音声タイミング調整	Bluetooth 接続時の音声とアニメーションのタイミングのズレを調整します。

2. レイの設定を変更する

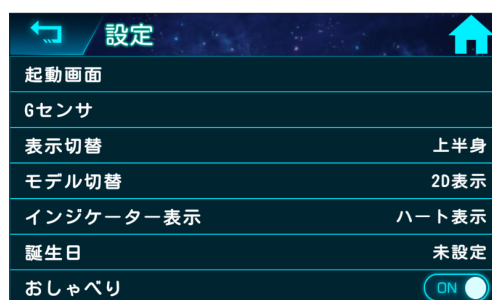
2-1 レイモードで待受画面にタッチする



2-2 [レイの部屋]にタッチする



2-3 [設定]にタッチする



■ 設定

★: 初期値

設 定	設定値	説 明
起動画面	—	本機起動時の画面を選択します。
G センサ	前／後／左／右	レイが転びやすい／転びにくい場合に調整してください。 HARD 側に設定すると転びやすくなります。
表示切替	★ 上半身 全身	レイの表示を切り替えます。
モデル切替	3D 表示 ★ 2D 表示	レイのモデリング表示を切り替えます。
インジケータ表示	★ ハート表示 バー表示	待受け画面のインジケータ表示を切り替えます。
誕生日	—	あなたの誕生日を入力してください。
おしゃべり	★ ON OFF	レイからの質問を止めたい場合は OFF にしてください。

3. Bluetooth の音声タイミングを調整する

Bluetooth 接続時に音声とアニメーションのタイミングのズレが気になる場合は、音声タイミングの調整を行ってください。

3-1 レイモードで待受画面にタッチする



3-2 [レイの部屋] にタッチする



3-3 [音声タイミング調整] にタッチする



3-4 + / - ボタンをタッチして、アニメーションと音のズレを調整する。



3-5 再生ボタンをタッチして、アニメーションと音のズレを確認する。



故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。

電源がONにならない

- ☐ 電源スイッチがONになっていますか。(➡ P.40)
- ☐ シガープラグコードが外れていませんか。
- ☐ シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良をおこしていませんか。
2～3回左右にひねりながらシガーライターソケットに挿し込み直してください。
- ☐ シガープラグコードのヒューズが切れていないか確認してください。
キャップを矢印の方向に回してヒューズを取り出します。
- ☐ 初めてOBDIIアダプターを車両に取り付けていませんか。
初めて起動する場合、起動に数分かかることがあります。



電源がOFFにならない

- ☐ シガーライターソケットの電源がイグニッションのON/OFFと連動してON/OFFしない車両があります。このような車両では、車両停止(ACC OFF)しても、シガーライターソケットに電源が供給されますので、本体の電源スイッチで電源OFFしてください。
- ☐ OBDIIアダプターを車両に取り付けていませんか。
車両停止(ACC OFF)してから本体が電源OFFするまで、数秒から数十秒かかります。OBDIIアダプターで接続した場合は、本体の電源スイッチで電源OFFしないでください。

起動時間が長い

- ☐ 本機は起動に1分程度要します。
- ☐ 車内が高温の場合、起動に時間がかかる場合があります。

映像がざこちなくなる

- ☐ 車内温度が高温の場合、本機の映像がざこちなくなる場合があります。
車内の温度が下がると通常の動きに戻ります。

OBDIIアダプターを接続中に突然電源OFFになった

- ☐ OBDIIアダプターのコネクタが外れていないか確認してください。
車両の振動等によってコネクタが緩むことがあります。

画面が常に暗い

- ☐ フレックスディマーの設定で[照度センサー+衛星情報]に設定すると、設置場所によっては常にフレックスディマーが動作する場合があります。その場合は、取り付け場所を変更するか設定を[衛星情報]にしてご使用ください。

GPS 警報しない

- ☐ GPS測位していましたか。
- ☐ 新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。

速度表示が車両の速度計と異なる

- ☐ 車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
※ OBDIIアダプター接続の場合でも車両の速度計とは一致しません。
※ 補正機能はありません。

レーダー警報しない

- ☐ 電源 ON になっていますか。
- ☐ 取締レーダー波が発射されていませんか。
計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型や、取締準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締レーダー波が発射されていないことがあります。
- ☐ キャンセルエリア登録した場所ではありませんか。
- ☐ アイキャンセルしていませんか。
- ☐ レーダー受信感度が[AAC/ASS]または[AAC/SE]の場合、時速30km/h未満のときは警報しません。

レーザー警報しない

- ☐ 本機の背面に障害物はありませんか。
本機背面のレーザー受光部が隠れていると、レーザー光を受けることができず警報できません。
- ☐ 本機の背面が進行方向を向いていますか。
進行方向以外に向けた場合、誤警報や警報しないことがあります。(☛ P.63)
- ☐ レーザー受信感度が[AAC有効]の場合、時速30km/h未満のときは警報しません。
- ☐ 一部の車種に採用されているUV、IRカットガラスのなかには、レーザー光の透過率が低く取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。
- ☐ レーザー式車両検知器/自動車用先進運転支援システムの周辺では取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。

ひんぱんにレーザー警報する

- ☐ 本機の背面が進行方向を向いていますか。
進行方向以外に向けた場合、誤警報や警報しないことがあります。(☛ P.63)
- ☐ レーザー受信を[ON/AAC有効]にしてください。(☛ P.68)
時速30km/h未満のときは警報しません。
- ☐ レーザー式車両検知器/自動車用先進運転支援システムの周辺では受信する場合があります。

地図がズレる

- ☐ GPS測位していましたか。障害物や遮へい物の無い、視界の良い場所へ移動してみてください。
- ☐ マーク・名称が重なって表示されることがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。

取締もしていないのに警報機能がはたらく

- ☐ 取締レーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能がはたらくことがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。

取締レーダー波と同じ電波を使用している主な機器

マイクロ波のドップラー式自動ドア/防犯センサー/自動販売機の人感センサー/自動車用先進運転支援システム/信号機の近くに設置されている車両通過計測器/NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部/気象用レーダー/航空レーダーの一部/他のレーダー探知機の一部/まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。

一般道を走行中に高速道路のターゲットをGPS警報する

- ☐ 道路選択の設定を[オール]でご使用の場合は、一般道と高速道の両方のターゲットを警報します。(☛ P.68)
- ☐ 一般道と高速道が並行していたり、交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道/高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。
- ☐ ハイウェイアシスは、[一般道]に設定された場合もGPS告知されます。

誤警報がキャンセルされない

- ☐ GPS測位していましたか。
- ☐ 新Hシステムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。
- ☐ 取締エリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。

音が出ない

- ☐ 音量 [0] もしくは MUTE ではありませんか。
待受画面にタッチ後、[VOL ▲] にタッチして音量を調整、もしくは MUTE を解除してください。

OBDIIアダプター接続時に表示される待受画面の一部が表示されない

- ☐ 車種によって、待受画面の一部の項目が表示されない場合があります。(車種別の適応については、販売店または弊社ホームページでご確認ください。)

OBDIIアダプター接続時にスロットル開度が、アイドリング中でも0%にならない

- ☐ 車種によって、「スロットル開度」はエンジンがアイドリング状態でも表示が0%にならないことがあります。

OBDIIアダプター接続時に待受画面の項目の内容が、車両のメーターと異なる

- ☐ 車種によって、表示する内容は純正メーターの数値やタイミングと異なる場合があります。

衝突警報システム、わき見・居眠り運転警報器が警告しない

- ☐ 衝突警報システムの設定、またはわき見・居眠り運転警報器の顔検出はしていますか。それぞれの取扱説明書をご確認ください。
- ☐ 衝突警報システム、またはわき見・居眠り運転警報器のケーブルが外れていませんか。

わき見・居眠り運転警報器が警告しない

- ☐ 運転者が顔検知範囲内にいますか。
- ☐ キャリブレーションをしましたか。
キャリブレーションを行っていない場合警報しません。
- ☐ 片目だけ閉じていませんか。(P.117)
居眠り警報は両目を約 1 秒以上閉じている状態を検知します。
- ☐ メガネやサングラスをかけていませんか。
近赤外線カットが強いメガネをかけている場合や、特殊なコーティングのメガネやサングラスをかけている場合は正しく警報しない場合があります。
- ☐ マスク、眼帯などをしていませんか。
目、鼻、口のいずれかが常に隠れていると正しく警報しない場合があります。
- ☐ 本体のカメラに結露はありませんか。
本体のカメラに結露があるとキャリブレーションできない場合があります。水滴が付いた場合は拭き取ってください。
- ☐ 1 台の車両を複数人で使用していませんか。
運転者が代わる場合はその都度本体の向きを調整し、キャリブレーションを行ってください。(P.116)
- ☐ 駐停車中、または約 10km/h 以下で走行中ではありませんか。
駐停車中、または約 10km/h 以下での走行中は、本機のフィルタリング機能がはたらき警告を行いません。
- ☐ 音量 [0] もしくは MUTE ではありませんか。
音量 [0] もしくは MUTE の状態だと警告音は鳴りません。待受画面にタッチ後、[VOL ▲] にタッチして音量を調整、もしくは MUTE を解除してください。

わき見・居眠り運転警報器の誤報が多い

- ☐ キャリブレーション範囲内に本体を取り付けていますか。
- ☐ 本体のカメラに結露はありませんか。
本体のカメラに結露があるとキャリブレーションできない場合があります。水滴が付いた場合は拭き取ってください。
- ☐ あくびをしていませんか。または笑っていませんか。
あくびをしたときや笑っているときなど、目が小さくなっているのを検知してしまう場合があります。
- ☐ 右左折時や駐車時による顔の動きを検知し、警告する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ☐ メガネやサングラスをかけていませんか。
近赤外線カットが強いメガネをかけている場合や、特殊なコーティングのメガネやサングラスをかけている場合は誤報の原因となる場合があります。
- ☐ 1台の車両を複数人で使用していませんか。
運転者が代わる場合はその都度本体の向きを調整し、キャリブレーションを行ってください。(P.116)
- ☐ マスクや眼帯、髪の毛などで目、鼻、口のいずれかが隠れていませんか。
目、鼻、口のいずれかが常に隠れていると正しく警報しない場合があります。

音声外部出力付き電源ユニット接続時に出力先から音が出ない

- ☐ カーオーディオやカーナビゲーションなど、AUX端子入力に対応した機器と接続していますか。
音声外部出力付き電源ユニットから音声はでません。
- ☐ 本機の音量が[0]もしくはMUTEではありませんか。
待受画面にタッチ後、[VOL ▲] にタッチして音量を調整、もしくはMUTEを解除してください。
- ☐ 接続する外部オーディオ機器の音量をご確認ください。
- ☐ 音声出力先にOP-ADP02を設定していますか。
[音設定]⇒[音声出力先]で、[ADP02]を設定してください。(P.67)

無線LAN接続に失敗する

- ☐ アクセスポイントのSSID名に「ひらがな」が含まれていませんか。
SSID名に「ひらがな」が含まれていると、本機では接続できない場合があります。アクセスポイントのSSID名を「半角英数字記号」を使用した名称に変更してください。
- ☐ アクセスポイントの設定で、SSIDステルスが有効ではありませんか。
SSID名を確認し、手動登録(P.73)からSSID名を入力してください。

スマホアプリ連携で専用アプリとペアリングできない

- ☐ 本機、またはスマートフォンがアクセスポイントから離れていませんか。
本機、またはスマートフォンをアクセスポイントに近づけてください。
- ☐ 本機とスマートフォンを異なるルーターに接続していませんか。
本機とスマートフォンを同一のルーターに接続されるようにしてください。
- ☐ モバイルルータ経由で接続している場合、モバイルルータのプライバシーセパレータはOFFですか。
プライバシーセパレータをOFFにしないと、本機と専用アプリ間で通信ができません。
- ☐ 本機とスマートフォンをWLANに接続していますか。
Bluetooth接続ではスマホアプリ連携はできません。

スマホアプリ連携で同期できない

- ☐ 本機でレイの部屋を表示していますか
レイの部屋以外を表示している場合、本機と専用アプリを同期することができません。
- ☐ 車両は停止中ですか
走行中は同期することができません。

Bluetoothスピーカーとペアリングできない

- ☐ 接続先のBluetoothスピーカーはペアリング待機状態になっていますか。
接続先のBluetoothスピーカーの取扱説明書を参照して、ペアリング待機状態にしてください。
- ☐ 接続先のBluetoothスピーカーのBluetoothのバージョンと対応プロファイルを確認してください。
本機はBluetooth4.0以降のBluetoothスピーカーと接続できます。また、プロファイルはA2DPに対応している必要があります。
- ☐ 本機とペアリングできるBluetoothスピーカーは2台までです。
新しいBluetoothスピーカーとペアリングする場合は、ペアリング済みのBluetoothスピーカーとの接続を削除してください。

ペア設定済みBluetoothスピーカーに接続できない

- ☐ 接続先のBluetoothスピーカーが別のデバイスと接続していませんか。
接続先のデバイスの取扱説明書を参照して、Bluetooth接続を切断してください。
- ☐ お手持ちのスマートフォンとBluetoothスピーカーが接続していませんか。
本機の起動には時間がかかるため、お手持ちのスマートフォンや他の機器が先にBluetoothスピーカーに接続した場合、本機と接続できない場合があります。
- ☐ エラーメッセージが表示されていませんか
エラーメッセージの内容と対処方法を確認してください。

エラーメッセージ	対処方法
Bluetoothスピーカーを再ペアリングしてください	Bluetoothスピーカーの電源を入れなおし、ペアリングを行ってください。(P.79)
Bluetoothスピーカーとの自動接続ができませんでした 再度接続してください	本機とBluetoothスピーカーを近づけてください。また、Bluetoothスピーカーの電源がONになっているか確認してください。 既にONの場合は、本機からBluetoothスピーカーを接続してください。 [Bluetooth] ⇒ [ペア設定済みデバイス] で、接続するBluetoothスピーカーにタッチして [接続] にタッチ。
Bluetoothスピーカーの電源を確認してください	Bluetoothスピーカーの電源がONになっているか確認してください。

Bluetooth接続先から音が出ない

- ☐ 本機の音量が[0]もしくはMUTEではありませんか。
待受画面にタッチ後、[VOL ▲] にタッチして音量を調整、もしくはMUTEを解除してください。
- ☐ 接続先のBluetoothスピーカーの音量を確認してください。
接続先のBluetoothスピーカーの取扱説明書を参照し、音量を調整してください。
- ☐ 音声出力先に[Bluetoothスピーカー]を設定していますか。
[音設定] ⇒ [音声出力先] で、[Bluetoothスピーカー]を設定してください。(P.67)
- ☐ 接続先のBluetoothスピーカーが選択されていますか。
[Bluetooth] ⇒ [ペア設定済みデバイス] で、接続先のBluetoothスピーカーを選択しているか確認してください。(P.81)
- ☐ 接続先のBluetoothスピーカーの対応コーデックを確認してください。
コーデックはSBCに対応している必要があります。

レイの動きとBluetoothスピーカーからの音声のタイミングがずれている

- ☐ 音声タイミング調整を行ってください。
レイモードで待受画面をタッチ→[レイの部屋]→[音声タイミング調整]

地図データ

背景地図(Top,Middle,Base)

- ・この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。©2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会 (測量法第 44 条に基づく成果使用承認) [2022 年 3 月発行データ使用]
- ・ ©2022 GeoTechnologies, Inc.

詳細背景地図(City)

- ・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。(承認番号 国地企調第 180 号 平成 22 年 9 月 28 日)
- ・測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 4JHs 164-55 号)
- ・ ©2022 GeoTechnologies, Inc.

道路ネットワーク

- ・この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。©2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会 (測量法第 44 条に基づく成果使用承認) [2022 年 3 月発行データ使用]
- ・ ©2022 GeoTechnologies, Inc.

電源電圧	DC12V(マイナスアース車専用)	
消費電流	本機	待機時：800mA 以下 最大：1.5A 以下
	FCW-L1(別売品)併用時	最大：1.6A 以下
	OP-EWS4(別売品)併用時	最大：1.7A 以下
	OP-ADP02(別売品)併用時	最大：1.5A 以下
受信方式	GPS 部：32 チャンネル / パラレル受信方式	
	レーダー部：スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式	
測位更新時間	最短 0.5 秒	
表示部	4 インチタッチパネル液晶	
無線 LAN	使用周波数帯：2.4GHz 帯 IEEE802.11 b/g/n 準拠	
Bluetooth	使用周波数帯：2.4GHz 帯 通信規格：Bluetooth 標準規格 Ver.5.0+EDR プロファイル：A2DP コーデック：SBC	
受信周波数	GPS 部：1.6GHz 帯	
	レーダー部：X バンド / K バンド	
動作温度範囲	- 20℃ ~ + 85℃	
外形寸法	本機：104(幅) × 68(高さ) × 29.3(奥行) mm(突起部除く)	
	FCW-L1(別売品)：74(幅) × 45(高さ) × 35(奥行) mm(突起部除く)	
	※取り付けブラケット(テープ貼付)装着時 77(高さ)mm(窓ガラス 25° 想定の場合)	
	OP-EWS4(別売品)：51(幅) × 68(高さ) × 32(奥行)mm(突起部除く)	
重量	OP-ADP02(別売品)：70(幅) × 16.2(高さ) × 40(奥行)mm(突起部除く)	
	本機：約 170g	
	FCW-L1(別売品)：約 47g	
	OP-EWS4(別売品)：約 45g	
	OP-ADP02(別売品)：約 25g	

※この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM や ® などの記号を記載しない場合があります。

※QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

※Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。株式会社ユピテルは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。



ゾーン 30 のデータについて

本機で使用している交通規制データは、公益財団法人 日本道路交通情報センター (JARTIC) の交通規制情報を使用しています。

本機で使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人 日本道路交通情報センター (JARTIC) の交通規制情報を、株式会社トヨタマップマスターが加工して作成したものを使用しています。

アフターサービスについて

● 保証書(別紙)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げの日から 3 年間です。

● 対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

● 修理をご依頼される時

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○ 保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○ 保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※ 点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※ 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認ください。

・ 下記窓口の名称、メールアドレスは、都合により変更することがありますのでご了承ください。

・ 紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

■ 故障や取扱方法に関する問い合わせ

羽衣 6 CLUB 専用メールアドレス webmaster@hagoromo6.jp

本機のアップデート情報、取扱説明書は随時更新されます。最新情報は当社ホームページにてご確認ください。

<https://lei-kirishima.jp/support/lei06/>

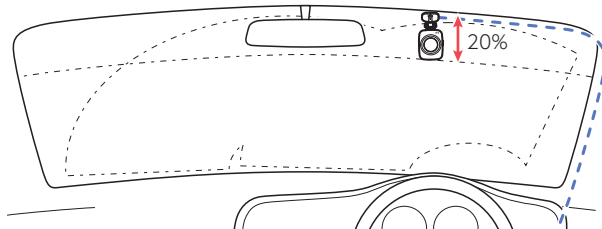


安全上のご注意

● 本機の取り付けについて

⚠ 警告

- ❗ 取り付けはフロントガラスの上部 20% の範囲に取り付けてください。



● 本機のお手入れについて

⚠ 注意

- ⚠ カメラが汚れている場合は、柔らかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。乾いた布などで拭くと傷の原因となります。

使用上のご注意

■ 取扱いに関する注意

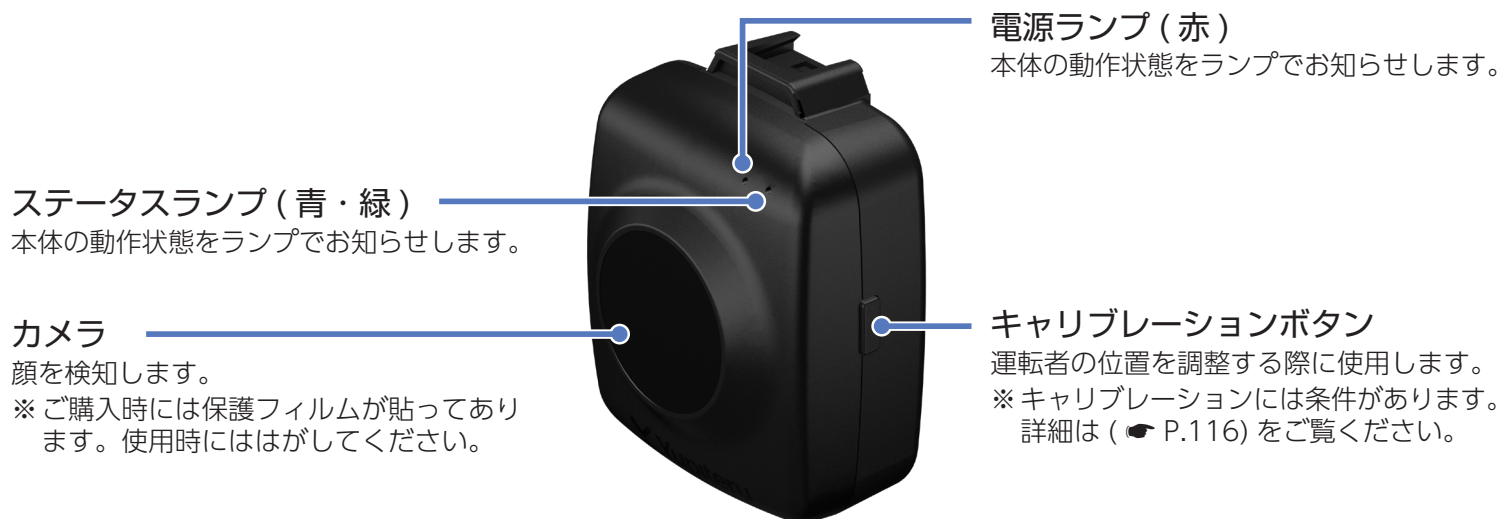
- ・ 本機は運転者の顔の向きと、まぶたの開閉を検知し警告を行う装置です。
- ・ 装置に頼った運転は行わないでください。
- ・ 疲れや眠気を感じたら休憩を取るようにしてください。
- ・ 周辺状況、個人差によりキャリブレーション範囲が低下する場合があります。
- ・ 安全運転のために、走行中は本機の位置調整を行わないでください。
- ・ 本機は精密電子機器のため、分解や改造は絶対に行わないでください。
- ・ 右左折時や駐車時の顔の動きを検知して、警告を行う場合があります。あらかじめご了承ください。

■ フィルタリングに関する注意

- ・ 本機は GPS で車速を測定し、車速が約 10km/h 未満の場合、警告しないようにフィルタリングする機能を搭載しております。車速が約 10km/h 以上になるとフィルタリングを解除します。
- ・ ただし、本機の電源 ON 後 GPS が補足されるまでの間や、GPS を受信できない場所ではフィルタリング機能は働かないため、車速に関わらず警告を行う場合があります。

各部名称と働き

■ 正面



■ 背面



1. 付属品のご確認

ご使用前に付属品をお確かめください。

■ フロントガラス取り付け用ブラケット	1	■ 通信ケーブル	1
■ ルームミラー取り付け用ブラケット	1	■ 六角レンチ	1
■ アダプター	1	■ 両面テープ	1
■ シガープラグコード	1	■ 結束バンド	4
■ 接続ケーブル	1		

ドライバーモニタリングについて

本機はドライバーモニタリング中（ステータスランプ：緑）に、フロントガラスなどに設置した本体（カメラ）で撮影した映像を画像処理し、顔の向きとまぶたの開閉を検知し警告します。

※レーダー探知機本体より警告を行います。自車の動作（自動ブレーキなど）とは連動しません。

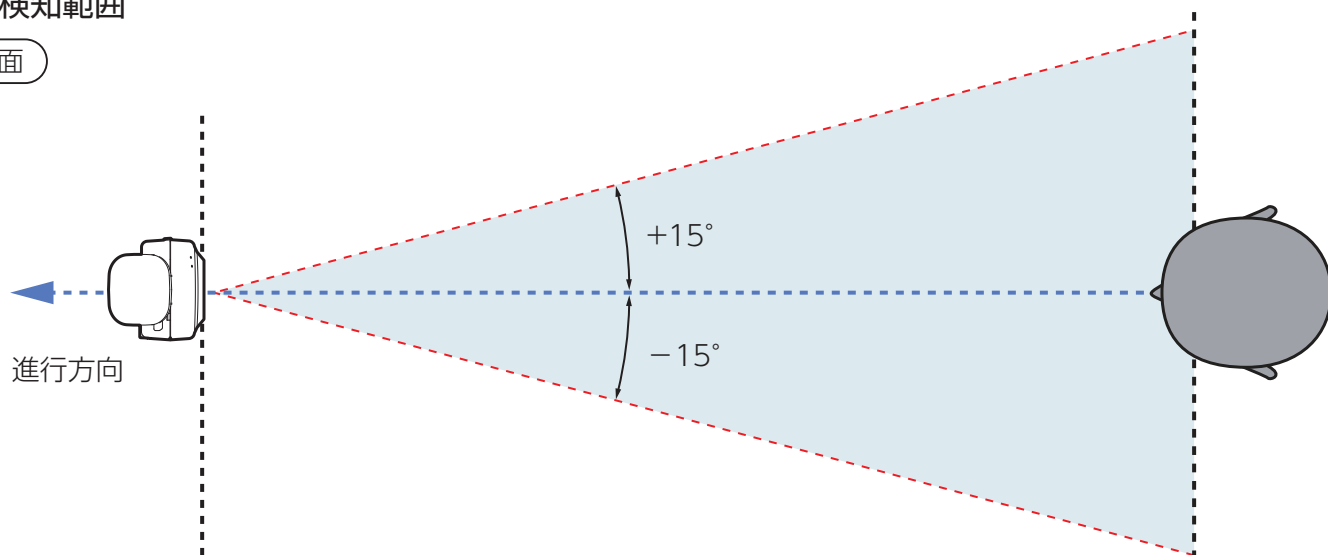
※検知感度の設定はできません。あらかじめご了承ください。

⚠ 注意

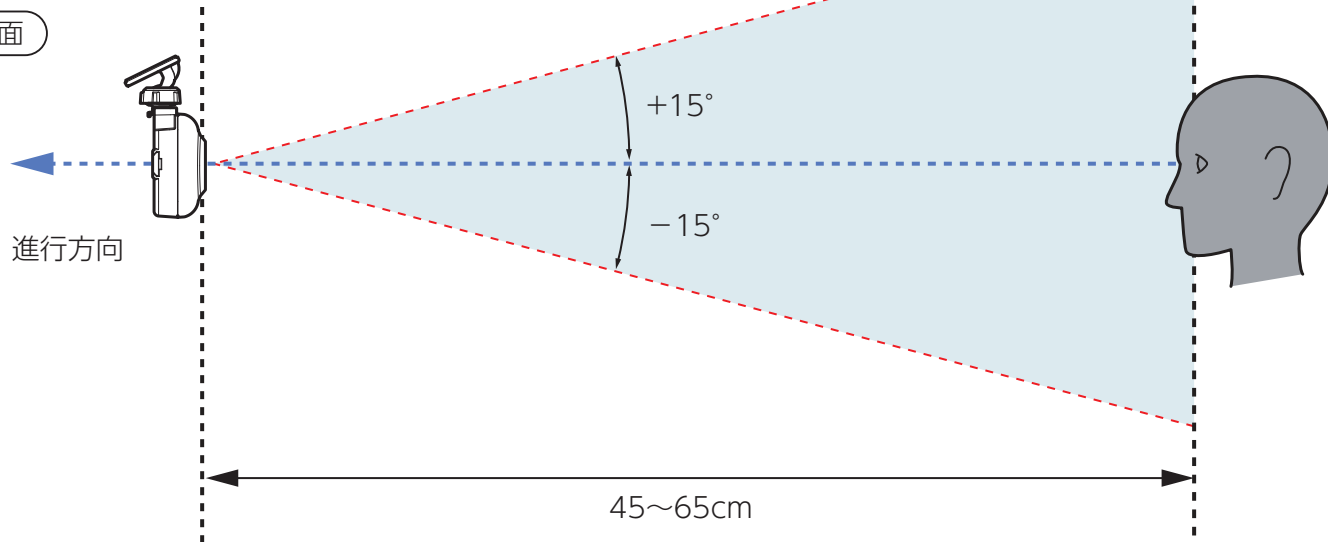
- ・ 本機の機能を過信しないでください。すべての条件において検知、警告を保証するものではありません。
- ・ 疲れや眠気を感じたら休憩を取るようになしてください。

■ 顔検知範囲

上面



側面



以下の場合、正しく警報しない場合があります。

- ・ 日の出や日没前後や顔が外光に照らされている場合。
- ・ 目を細めている場合。
- ・ あくびをしたときや笑っているときなど、目が小さくなっている場合。
- ・ 近赤外線カットが強いメガネ、特殊なコーティングのメガネやサングラスをしている場合。
- ・ カメラに結露がある場合。
- ・ マスクや眼帯、髪の毛などで目、鼻、口のいずれかが常に隠れている場合。

1. キャリブレーション

キャリブレーションとは、表情の変化を正しく認識できるよう顔までの距離や目の位置などを調整する機能になります。一度キャリブレーションを行えば毎回行う必要はありません。

⚠ 注意

下記の条件が発生した場合はキャリブレーションを行ってください。

- ・ 本機を初めて取り付けた場合。
- ・ 本機の向きや取り付け位置を変えた場合。
- ・ 運転席のシートの位置を変えた場合。
- ・ 運転者が変わった場合。

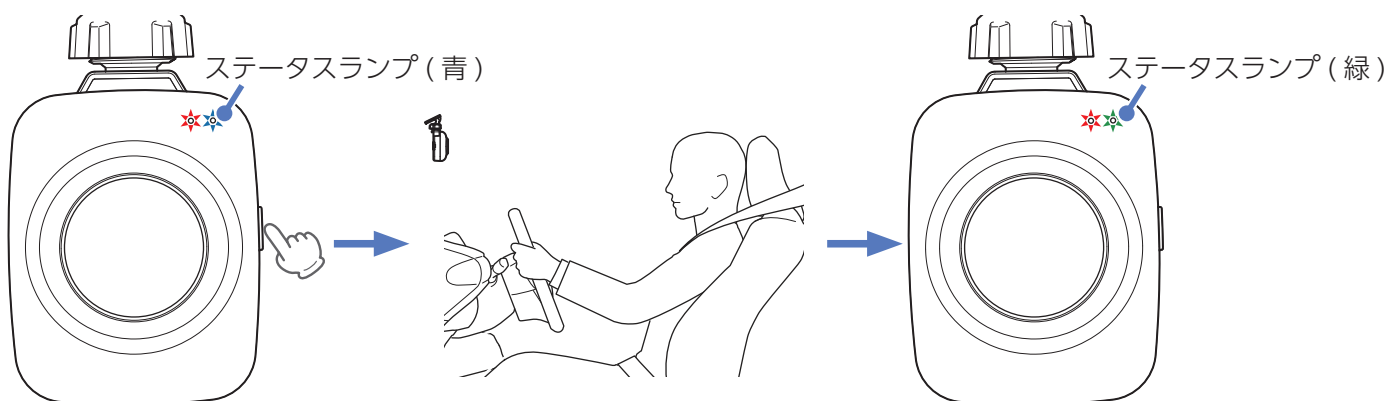
※キャリブレーションを行う際は、必ず車両を停車させてから行ってください。

※マスクを着用しているとキャリブレーションに失敗します。マスクを外してキャリブレーションを行ってください。

1-1 車両のエンジンを ON する

車両のエンジンを ON にすると連動して電源 ON します。

1-2 キャリブレーションボタンを押し、運転姿勢をとる



キャリブレーションが完了するとステータスランプが緑になります。

※キャリブレーション中はステータスランプが青色に点灯し、完了するとステータスランプが緑色に点灯します。

※キャリブレーションに失敗した場合、ステータスランプが青色の点灯のまま再度キャリブレーションを行います。

※運転姿勢を保ち、本体(カメラ)ではなく進行方向を向いてください。

※本体(カメラ)に近づくと正しくキャリブレーションできない場合があります。

※キャリブレーションが完了しない場合は、本体の角度があっていない可能性があるため、角度の調整を行い、再度キャリブレーションを行ってください。

1-3 車両のエンジンを OFF する

車両のエンジンを OFF すると連動して電源 OFF します。

2. わき見警告

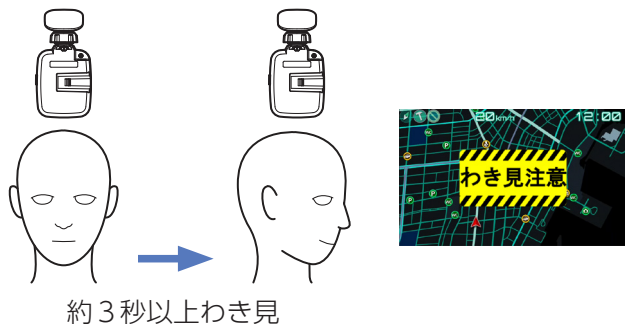
ドライバーモニタリング中（ステータスランプ：緑）に、約 3 秒以上わき見を検知した場合に警告を行います。

※ 時速 10km/h 以下では警告しません。

※ 正面を向くと警告は止まります。

※ 誤動作が多いと感じた場合は本体の向きを調整し、再度キャリブレーションを行ってください。（🔊 P.116）

■ わき見をした場合



3. 居眠り警告

ドライバーモニタリング中（ステータスランプ：緑）に、まぶたを閉じていること（両目を 1 秒以上閉じる、目線を下に落とす）を検知した場合に警告を行います。

※ 時速 10km/h 以下では警告しません。

※ まぶたを開く（両目を 1 秒以上開ける）と警告は止まります。

※ 片目だけ閉じた状態では警告しません。

※ 誤動作が多いと感じた場合は本体の向きを調整し、再度キャリブレーションを行ってください。（🔊 P.116）

■ 居眠りをした場合

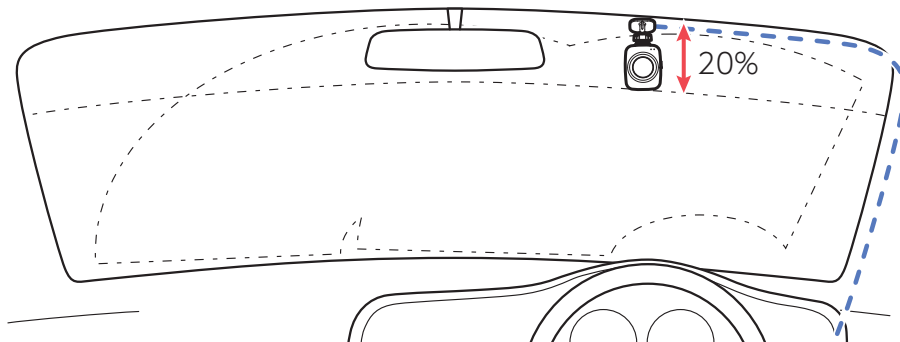


取り付けについて

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

- ① フロントガラス取り付け用ブラケットで取り付ける場合は、フロントガラスの上部 20% の範囲内に取り付けてください。



- ② 本機は運転者の顔に対して正面に取り付けてください。

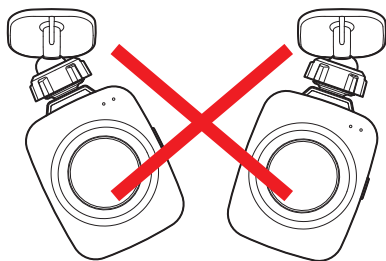
※ 運転者の顔に対して正面に取り付けない場合は正しく警告しない場合があります。

- ③ 運転者の顔と本機の距離が顔検知範囲内 (45 ~ 65cm) になるように取り付けてください。

- ④ 運転者の顔と本機の距離が 65cm を超える場合は付属のルームミラー取り付け用ブラケットを使用してください。

※ ルームミラー取り付け用ブラケットを使用した場合、運転者から見て左側へのわき見が警告されにくくなり、右側へのわき見が警告されやすくなります。

- ⑤ 取り付け角度が水平であること。(下図参照)

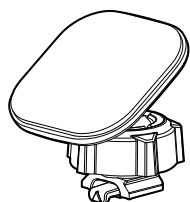


- ・両面テープは所定の位置にしっかりと取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- ・本機の周囲に物を配置しないでください。動作に影響を受ける場合があります。
- ・ルームミラーに取り付けるとサンバイザーが使用できない場合があります。
- ・ルームミラーに取り付ける際は、しっかりと装着されていることを確認のうえ、走行してください。
- ・本機を純正ルームミラーに取り付けた場合、振動によりミラーが振れてしまうことやミラー自体が傾いてしまう場合があります。
- ・取り付け前に、取り付け位置で接続ケーブルが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してください。
- ・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両の取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。

下記の 2 通りの取り付け方法があります。いずれかの方法で取り付けてください。
※ あらかじめ取り付け位置のホコリ、汚れをよく落とし、慎重に取り付けてください。

A. フロントガラスに取り付ける (P.119)

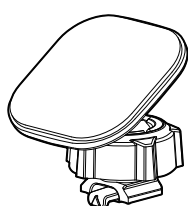
付属品



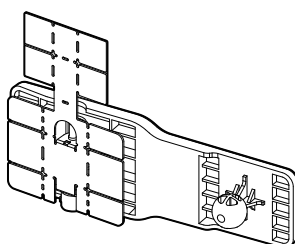
フロントガラス
取り付け用ブラケット

B. 純正ルームミラーに取り付ける (P.121)

付属品



フロントガラス
取り付け用ブラケット
※ ボールジョイントと
ナットのみ使用します。



ルームミラー取り付け用ブラケット



六角レンチ

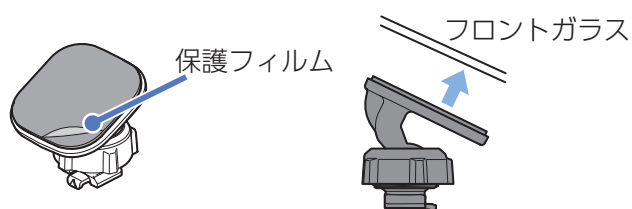
電源コード接続後にキャリブレーションを行ってください。(P.116)

■ はがれの原因となるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・ フロントガラス、ルームミラーの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナーなどは絶対に使用しないでください。
- ・ サンシェードなどの日よけを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因になります。
- ・ 極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を温めてから貼り付けをしてください。
- ・ 固定力を強くするために本体を取り付けず、24 時間以上放置してください。
- ・ 貼り直しはテープの粘着力を弱め、脱落するおそれがあります。
- ・ 両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープが接着面に貼り付いていないとはがれることがあります。

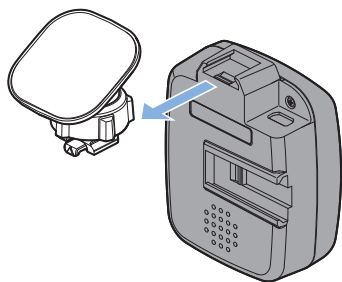
A. フロントガラスに取り付ける

A-1 フロントガラスにブラケットを貼り付ける



両面テープの保護フィルムをはがし、フロントガラスに貼り付けます。

A-2 ブラケットに本体を取り付ける

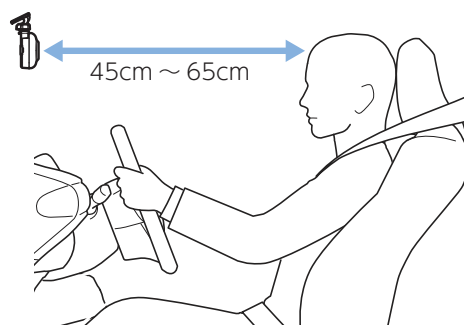


フロントガラス取り付け用ジョイントレールをスライドさせ取り付けます。

※奥までスライドさせ、軽く引っ張り本体が外れないことを確認してください。走行中に落下するおそれがあります。

※カメラに触れないように取り付けてください。カメラに触れるとカメラが曇りキャリブレーションできなくなるがあります。

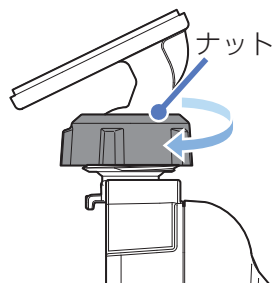
A-3 本体の向きを調整する



運転姿勢で、本体（カメラ）が運転者の顔（両目）の中心を向くように本体の向きを調整します。

※向きの調整は本体ではなくブラケットで行ってください。本体で調整すると、両面テープのはがれや、本体が破損することがあります。

A-4 ナットを締めて固定する



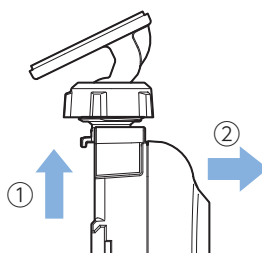
※確実にナットで固定してください。走行中に落下するおそれがあります。

※ナットを締める場合は、本体を回さずにナットを締めてください。ブラケットのジョイント部に無理な力が掛かり破損するおそれがあります。

A-5 各ケーブルを接続する (☛ P.123)

■ 取り外し方法

- ① ブラケットのロック解除レバーを持ち上げる
- ② 本体を矢印の方向へスライドさせる

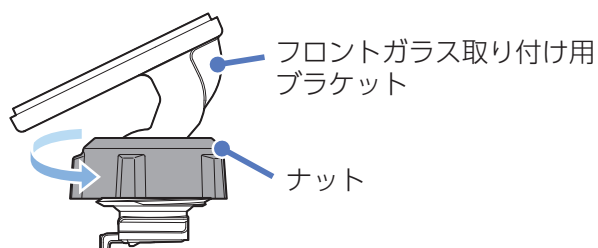


B. ルームミラーに取り付ける

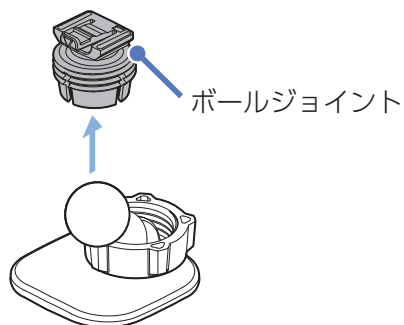
⚠ 注意

- ・ルームミラー取り付け用ブラケットを貼り付けた場所からはがす場合は、無理にはがさず慎重に行ってください。本機や車両の破損の原因となります。
- ・ステーを曲げるときなど、突起部分などでけがをしないよう、細心の注意をはらってゆっくりと折り曲げてください。
- ・折れてしまうことがあるので、ステーは繰り返し折り曲げないでください。
- ・本取り付け方法は、純正ルームミラーに直接取り付けるため、振動によりミラーが振れてしまうことや、ルームミラー自体が傾いてしまう場合があります。
- ・ルームミラー取り付け用ブラケットがしっかりと貼り付けられていることを確認のうえ、ご使用ください。
- ・ルームミラーに取り付けることにより、サンバイザーが使用できない場合があります。
- ・ルームミラーへの取り付けは右ハンドル車のみに対応しています。あらかじめご了承ください。

B-1 ブラケットのナットを完全に緩める

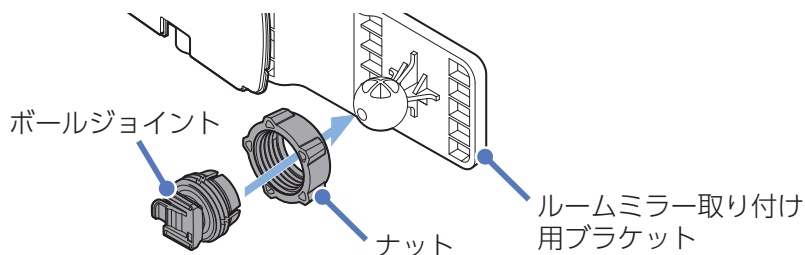


B-2 ボールジョイントを外す

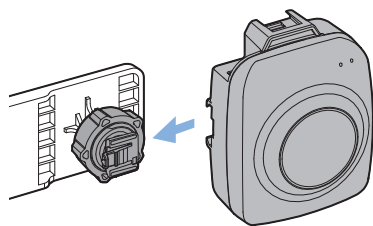


※ ボールジョイントを外す際、突起部に注意して取り外してください。

B-3 ブラケットにナットとボールジョイントを取り付ける



B-4 ボールジョイントに本体を取り付ける

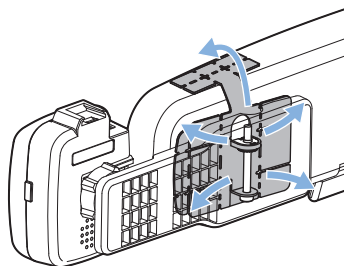


ルームミラー取り付け用ジョイントレールをスライドさせ取り付ける。

※ 奥までスライドさせ、軽く引っ張り本体が外れないことを確認してください。走行中に落下するおそれがあります。

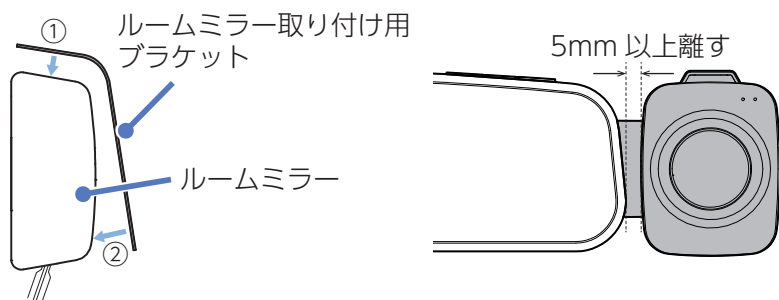
※ カメラに触れないように取り付けてください。カメラに触れるとカメラが曇りキャリブレーションできなくなるおそれがあります。

B-5 ルームミラー取り付け用ステーをミラー背面形状に合わせる



※ 保護フィルムをはがさないでミラー背面の形状に合わせてください。

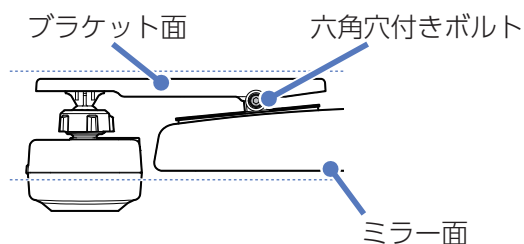
B-6 両面テープの保護フィルムをはがしミラーに貼り付ける



ルームミラー取り付け用ブラケットは上面 (①) から貼り付けてください。

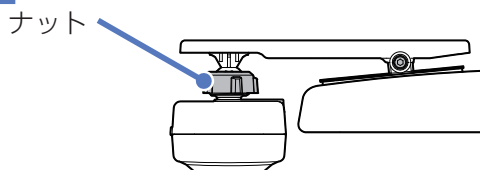
※ 本体とルームミラーの干渉を避けるため、必ず 5mm 以上離して取り付けてください。

B-7 ブラケットを六角レンチで締めて固定する



ルームミラーのミラー面と、ブラケットの面が平行になるように調整し、付属の六角レンチで六角穴付きボルトを締めて固定します。

B-8 本機の向きを調整し、ナットを締めて固定する



ナットを緩め、本機の向きを調整し、ナットを締めて固定します。

※ 確実にナットを締めて固定してください。走行中に落下するおそれがあります。

※ ナットを締める場合は、本体を回さずにナットを締めてください。ブラケットのジョイント部に無理な力が加わり破損するおそれがあります。

B-9 各ケーブルを接続する (P.123)

■ 取り外し方法

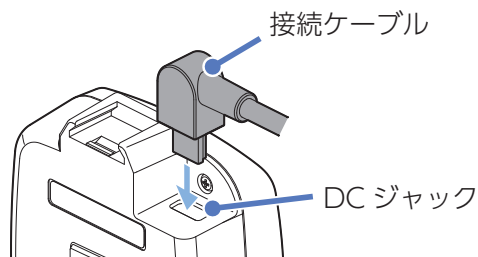
- ① ナットを緩め、本体とルームミラー取り付け用ブラケットを分解する。
- ② ボールジョイントをジョイントレール方向に強く押すと外れます。



電源コードの接続

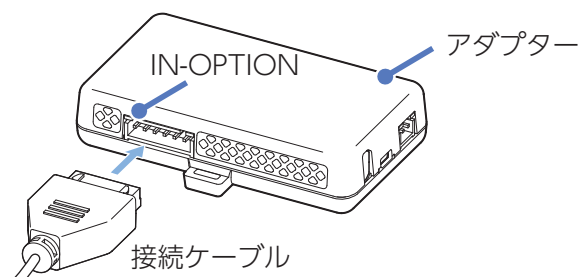
1. 各ケーブルを接続する

1-1 接続ケーブルを接続する



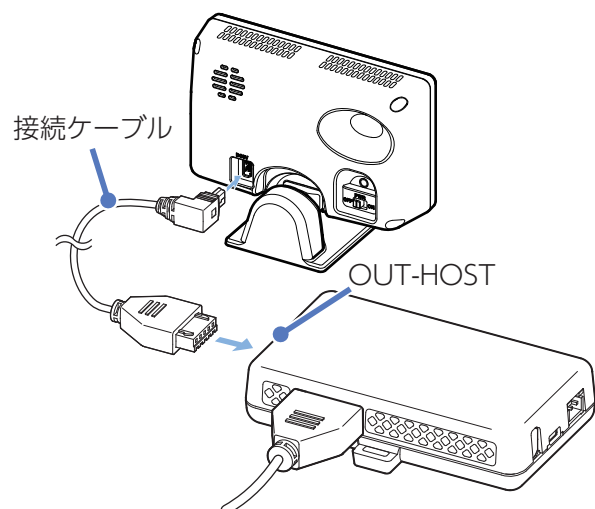
本機の DC ジャックに接続ケーブルを接続します。

1-2 アダプターに接続する



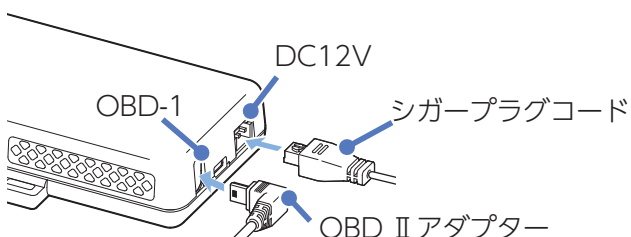
アダプターの [IN-OPTION] に接続ケーブルを接続します。

1-3 レーダー探知機とケーブルを接続する



接続ケーブルをアダプターの [OUT-HOST] コネクターと、レーダー探知機の DC ジャックに接続します。

1-4 電源を接続する



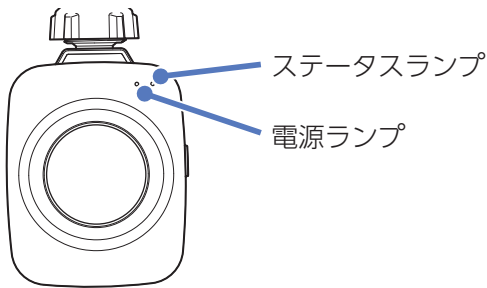
アダプターの [DC12V] に OP-EWS4 に付属のシガープラグコードを接続します。

※ OBD II アダプターを [OBD-1] に接続する場合もシガープラグコードは接続してください。

1-5 キャリブレーションを行う (P.116)

動作一覧

1. ランプについて



動作状態	ランプの状態
キャリブレーション中	電源ランプ(赤) ステータスランプ(青)
ドライバー モニタリング中	電源ランプ(赤) ステータスランプ(緑)
電源 OFF	電源ランプ(消灯) ステータスランプ(消灯)

2. 警告について

警告音・表示については「わき見・居眠り運転警報器 (OP-EWS4)」(P.36) をご覧ください。

仕様

電源電圧	DC12V(マイナスアース車専用)
消費電力	2.5W
キャリブレーション範囲 (本体(カメラ)から見て)	上下：± 15° 左右：± 15°
動作温度範囲	-10℃～ +60℃
外形寸法	本体：51(幅) × 68(高さ) × 32(奥行)mm(突起部除く)
	アダプター：70(幅) × 40(高さ) × 16(奥行)mm(突起部除く)
重量	本体：約 45g